

翼賛議員銘鑑(きノ部)

一三八

群馬縣第一區選出
農業

木村寅太郎

群馬縣新田郡笠懸村大字鹿
三九電岩宿二一
神田區鎌倉町千代田ホテル
電神田八二四



略歴 明治三十五年群馬縣新田郡笠懸村ニ生ル、東京帝國大
學農學部實科卒業○縣農會技師、大日本青年團組織課長、縣會
議員、滿洲及ヒ南洋方面ヲ視察ス、大政翼賛會群馬縣支部常務
委員、同臨時中央協力會議員、縣青少年團副團長、大政翼賛會
縣支部鍊成本部長、縣翼賛壯年團副團長、文部省委員被仰付、
翼政會事務局參與、政調内閣委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 支那事變は既に大東亞戰爭へと飛躍した。之即ち歴史
の必然であります。八紘一宇の大理想顯現は即ち世界に於ける
米英の制覇による舊秩序を打倒し道義的新秩序を建設せんとす
る一大革新運動であります。第一線將兵はこの革新運動に血み
どろになり挺身いたし有史以來の戰果を擴張しており、國內體
制も軍官民相協力、相切琢磨磨し、逐次國防國家建設に邁進し
つゝあります。吾々國民は第一線將兵の勞苦を思へばこそ、こ
の經濟再編成に當り孜々黙々として涙ぐましき職域奉公いたし
て居るのであります。然し第一線の戰果に比較し國內の政治、思想、經濟、文化の各分野に新體制確
立の遅々たりとせば、それは國民の下部組織にあらずして頑迷なる一部上層、指導層にあらずやと思考
さるゝ點なきにしもあらずと思ふ。政治的謀略、舊體制觀念を除去するは即ち翼賛議會の確立であり
幾多の弊害ある議會を革新し、國防國家建設の推進力たらしむることは現下の急務であります。

熊本縣第一區選出
從四位勳三等辯護士

木村正義

豊島區目白四ノ四三
電大塚三四九四



略歴 明治二十三年一月熊本縣鹿本郡川邊村ニ生ル、東京帝
國大學法科大學卒業○文部書記官、文部大臣秘書官、同參事官
營繕管財局事務官兼任、文部省實業學務局長、大禮典儀官被仰
付、内務參與官、大藏政務次官、第一回國際勞動會議ニ出席、
歐米教育制度ヲ視察ス、稅制調査會等各種委員會委員被仰付、
「公民教育」等ノ著アリ翼政會政調大藏委員、連絡委員(事務
局參與)ニ指命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 今次大東亞戰爭で飛行機、戰車、潜水艦等の目覺しき
活躍があり大戰果を擧げたのであるが敵米英は今や飛躍的に軍
備の大擴充を計畫してゐるのであるから、日本も彼等に敗けず
どんな強敵と戰爭するも絶對不敗の準備を整へなければならぬ
我等は此處に觀點を置いて政治、經濟、産業、思想、教育、國
民組織も高度國防國家建設を目標として爲されなければならぬ
國內問題として政治建設が極めて重大な意義を持つてゐる、新政治の建設は一切の派閥的對立を一掃
した清新にして強力なるものでなければならぬ。政治は只上から命令するだけでは十のものが三つも
行はれない政治の要諦は三、又は五を命じて十のものが行はれる處に在ると思ふ、今日は生産も商賣
も一切計畫的に行はれてゐるが、政府は支障の生ぜざる限り時間や政治の見透しを國民に知らせ政府
と國民は心から協力し國家總力を發揮すべきである。

翼賛議員銘鑑(きノ部)

一三九

翼賛議員銘鑑(き)ノ部)

一四〇

山口縣第一區選出
從六位農業

紀 藤 常 亮

宇部市川上南側八六九
電字部六一
麴町區丸ノ内一ノ一九ノ
内ホテル
電丸ノ内二二六一



略歴 明治三十二年八月山口縣宇部市川上ニ生ル、東京農業
大學卒業○宇部農業實踐學校兼教諭トナル、縣會議員ニ當選
宇部市農會長、同信用購買販賣利用組合長、同畜産組合長、縣
畜産組合聯合會評議員、縣農會長、大政翼賛會山口縣支部常務
委員、各會社重役、農林省委員被仰付、翼政會政調農林、商工
兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 支那事變は六年目となり大東亞戦争も開始されてゐる
が日本があれだけの大戦果を挙げ得たのは要するに日本の食糧
が豊富であつたからである、若し銃後にあれだけの食糧の確保
が無かつたなら、斯くの如き大戦果は得られなかつたであらう
今度の戦争で一番早く参つて了ふ事は英國で自國では十三パー
セントしか食糧が自給出来ないのしきりに米國に泣きついて
ゐるがドイツ潜水艦で多數の船をやられてゐるので最早どうす
ることも出来ない、重慶が五年も頑張つてゐるのはあの附近に
は砂糖も鹽も取れるなど食糧は割合に持つてゐるので抗日戦を
續けてゐるのである、吾々の部落で主人の出征したあとで、細君が五、六人の子供を抱へて一町五六
反歩の田地を一人で護つてゐるが朝夕會ふたびに感謝の涙が出る程で實に此處に日本の偉大さと銃後
の赤誠があることを感ずるのである。

石川縣第二區選出
正五位

喜 多 壯 一 郎

淀橋區戸塚町一ノ三五〇
電牛込六九二〇



略歴 明治二十七年二月石川縣羽咋郡北大海村ニ生ル、早稲
田大學法學部卒業○數度歐米ニ留學、早稻田大學教授、商工參
與官、大政翼賛會生活指導部長、商業報國會中央本部長兼指導
部長及全國推進隊長、内閣遞信省委員被仰付、翼政會政調理事、
事務局參與タリ○當選三回(19 20 21)

政見 翼賛政治の根本理念は、まさに皇道にもとづく道義日
本政治の世界宣布を、その大磐石といたします、されば政治方
途は、總力戰態勢を整へ、大戦を完遂し、高度國防國家を建設
するにあります、どんなに長期戦となつても、いかなる強敵が
あらはれても、大東亞戦争は必ず勝つといふ信念を昂揚せねば
なりません、戦争力を培養する國策を實行し、戦争力の擴充
強化をして、戦争に従事する戦士各位をして、まったく後顧の
憂ひなからしむることのほかに何ものもあり得ないのでありま
す。それには第一に國民のすべてが誰彼の差別なく無駄と贅澤
とを止めるどころか、もつと切り詰めたくらしを石に噛りついてもやり續ける即ち「國民生活の切り
下げ」の實踐が肝要であります。さうして、人力も財力も物資も、あげて戦争力の擴充強化に結集す
ることが翼賛政治のもとでは缺くべからざることでありませぬ。

翼賛議員銘鑑(き)ノ部)

一四一

翼賛議員銘鑑(きノ部)

宮城縣第一區選出
辯護士

菊地養之輔

仙臺市東七番町
電話二四三八
仙臺區千駄谷一ノ三五三
滋谷區千駄谷一ノ三五三
竹田方 電青山三六七〇



一四二

略歴 明治二十二年九月宮城縣名取郡玉浦村ニ生ル、中央大學法科卒業○辯護士試験ニ合格ス、嘗テ小學校代用教員、準訓導、小學校教員、中央大學編輯部員、郡山專賣支局長タリ、後辯護士ヲ開業其ノ業務ニ従事ス、宮城縣會議員ニ舉ケラル、仙臺辯護士會副會長タリ、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲國へ派遣セラル翼政會政調幹事、大藏、農林兼務委員ニ指命サル○當選二回(20 21)

政見 大東亞共榮圈建設といふ大東亞戰爭の目的は確立されてゐるのであります。われわれはこの大目的を最適の方法を以て達成せしむべき使命を負つてゐるのであります。しかしてこの目的達成のためには

- 一、國防國家體制の確立
- 二、共榮圈計畫經濟の建設
- 三、大東亞民族政策の確立

四、戰時國民生活の確保

五、人及び食糧基地としての農村政策の確立がなされなければなりません。

さらに右の五大基本方策の遂行のためにはそれぞれの分野を國家的に再編成し大東亞戰爭完遂を期すべきことまた當然であります。

香川縣第二區選出
鐵山業

岸井壽郎

滋谷區大向通一五
電話滋谷二〇八四



略歴 明治二十四年石川縣三豐郡常盤村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○兵役完了後大阪毎日新聞社入社、東京日日新聞社勤務トナル、滿洲事變當時同政治部長トシテ活躍、五・一五事件、國際聯盟脫退問題、二・二六事件等政界大小事件ノ表裏ニ觸レ活躍ス、大藏省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、内閣、外務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 米英多年の壓迫から東亞十億の民族を解放する此の聖戰を勝ち抜き大東亞を建設することは一億國民の偉大なる使命でありますから國民は國內の摩擦を克服して一丸となつて進まねばなりません、又議會を積極的に國策遂行に參畫する強力なるものにする必要があります、大東亞建設の達成に國民は如何なる困難にも耐えて行く注意はありますか爲政者は速かに萬般の政策を整理して國民の不必要な苦痛を除かねばなりません。

十年前に滿洲五百萬移民論を發表し當時は痴人の夢なりしと言はれたが、現在を着々これが實施されてゐるのであります。南方に對しても同様であります、大東亞の建設を唱へても我々大和民族がその土地に根を張らなければすべての計畫は砂上の樓閣に等しいものでありますから今日國民の南方に對する意氣と希望を生かしてどしどし南方に人を送ることが急務であると信じます、さすれば國內にも餘裕が出來て大東亞建設の緒につくことが出来るのであります。

翼賛議員銘鑑(きノ部)

一四三

翼賛議員銘鑑(き)ノ部)

廣島縣第一區選出
正五位勳三等 百貨店經營

岸 田 正 記

本郷區駒込富士前町五五
電大塚二八五〇



略歴 明治二十八年十二月廣島縣賀茂郡西志和村ニ生ル、長崎高等商業、京都帝國大學法學部卒業○文官高等試驗合格、滿洲國ニテ土地家屋經營ニ従事ス、岸田不動産商事社、大連幾久屋百貨店ヲ經營、海軍參與官、大政翼賛會議會局審査部主査同調査委員ニ就任、大藏省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調大藏、商工兼務委員ニ指命サル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 言ふまでもなく今次大戦は國家總力戦である言ひ換へれば前戦將兵の戦闘のみでなく銃後國民の戦費の調達、軍需物資の生産勞力の供出、この金と物と人との持久力、底力の勝負である、されば帝國が最後の勝利を占めるためには左に掲ぐる諸政策を實行し長期戦を勝ち抜かねばならぬ

第一 軍備充實、戦争完遂に要する資金の調達に萬全を期すること 第二 物資確保に萬全を期すること即ち共榮圈に對する

大産業計畫を樹立し、生産、交易、消費の全面に綜合的政策を確立すべし、農業及び食糧政策に萬全を期すること 第三 人的資源擴充に萬全を盡すべきこと、人口増加策を徹底し、兵力量、勞働力擴充を期すべきこと、東亞十億の民族に對し興亞協力教育を實施しその力を最高度に共榮圈建設のため發揮活用することを期せねばならぬ、
右の諸政策を實行せんためには國內體制の強化確立が先決問題であると考へる。

北海道第四區選出
從七位 農業

北 勝 太郎

中野區野方町二ノ一二三〇
北海道空知郡砂川町
電砂川四七



略歴 明治二十二年九月石川縣能美郡御幸村ニ生ル、○陸軍歩兵少尉ニ被任中尉ニ進ム、再度砂川町會議員、三度北海道會議員ニ選ハル、奈井江信用販賣購買利用組合長、砂川町農會長北海道信用購買販賣組合理事、空知郡農會長、北海道製酪組合聯合會理事タリ、農林省委員被仰付、翼政會政調農林、商工兼務委員ニ指命サル○當選三回(19 20 21)

政見 最早革新は論議の時代でない、否でも應でも舊來の思想や仕事でやつて行ける者でない事が明にされた。一日も早く國家の總力を結集して打てば響く組織に之を整備する事が急務となつたのだ。國民は此際國家なければ個人なしとの理念の下に斷然自由主義個人主義の舊秩序から公益優先主義の新秩序に凡てを切り替へることが必要である即ち革新の斷行である。處がこの大事業は一人の名將や大政治家の力のみでは出来るものでなく國民各自が的確な認識の下に一大發憤をして之を實行に移

すに非ざればその目的は達せられぬ。
然し今日最も大なる通弊は上から下まで自己の利害や便宜主義にのみ動いて居るものが多く眞の良心により行動せざる傾向があるのは國家の爲め誠に困つた者で私は寧ろ眞の憂國の士は草莽の臣の中にあるを痛感してゐる。

翼賛議員銘鑑(き)ノ部)

新潟縣第一區選出
著述業

北 吟 吉

杉並區井荻三ノ一
電致三三六二



を條件として官吏数を減員し、之を大東亞共榮圈その他の方面に於ける生産方面に向はしむべきものと考へます。更に生産を阻害する事務の繁多を除き、事務簡素を講すべきことを要望します。翼賛會殊に翼賛壯年團も勤勞精神に徹し、増産第一主義を堅持せねばならぬと信じます。農山漁村を通ずる食料品、生活必需品の増産は大東亞勝敗の分るところなるを思ひ官民一致の大努力を注ぐべきことはいふを待ちません、一にも増産二にも増産であります。

略歴 明治十八年七月新潟縣佐渡郡西津町ニ生ル、早稻田大學文學部哲學科卒業後米國ハーバート大學、獨逸國ベルリン大學、ハイデルベルヒ大學ニ學ブ「哲學より政治へ」「光は東方より」「哲學概論」其他數種ノ著書及翻譯アリ○土浦中學校教諭東京府立第三中學校教諭ヲ被命、又早稻田大學講師、大東文化學院教授、日本新聞編輯監督兼論說記者、多摩帝國美術學校名譽校長、大正大學講師、雜誌「祖國」主宰ス、國際聯盟會議參列帝國全權隨員、歐米各國ヲ視察ス○當選三回(1920 21)

政見 私は銃後國民の一人として總力戦に携はる一戦士として、思想戦に於ては日本精神の昂揚に努め、經濟戦に於ては生産力の擴充を計りたいと思ふ。中小商工業者の轉業も生産力擴充の觀點からなさねばなりません。失業は本人の不幸は素より國家の大損失であり、更に生産力擴充の爲めには、官吏の増俸

奈良縣選出
林業

北村 又左衛門

奈良縣吉野郡上市町大字
上市二二一 電上市四
芝區新橋一ノ三二第一ホ
テル 電銀座七六六一



略歴

明治三十五年奈良縣ニ生ル、法政大學卒業○奈良縣木材株式會社、北村林業株式會社各社長、林業中央協力會、日本木材株式會社、全國森林組合、全國山林會聯合會、大日本山林會、奈良縣木材聯合會各理事、帝國森林會評議員、奈良地方森林會議員、奈良縣森林組合聯合會會長、林業懇話會理事、川上村森林組合會長、上市町信用購買販賣利用組合長、中央及地方木材統制委員會委員、林產物價格形成專門委員會委員、防空協會、奈良縣支部副部長、大日本國防衛生協會奈良縣支部長、大政翼賛會奈良縣支部常務委員、農林省委員被仰付、翼政會政調農林委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 衆議院議員たるものは、克く時局の要請するところを把握し、眞に聖業完遂の大目的に副ふ政策に關しては、これをあくまで支持し、その實現に率先努力を傾け、これを阻む障害は、斷乎として排撃しなければなりません。特に部分的利害に

提はれることなく、いはゆる富貴も淫すること能はず、威武も屈すること能はざる底の信條を必要とすることは、申すまでもありません。ただ問題は、この倫理を實踐するや否やにあります。私と致しましては、自らの倫理の自覺に徹し、時局の要請に應へ、毫も各位の信頼に背かざる固き覺悟と決意とを有してゐる次第であります。

翼賛議員銘鑑(きノ部)

一四八

岐阜縣第一區選出
勳三等 會社重役

清

寬

魏町區飯田町二ノ一三
電九段三三三〇
岐阜市山川町二〇



略歴 明治二十年三月静岡縣富士郡富士村ニ生ル○實業界ニ入り、名古屋製紙、中央紙業、中外商事、太陽製紙、中央紙製品、帝國製紙ノ諸會社ヲ創立ス、名古屋市會議員當選二回、後岐阜新聞社長トナル、萬國議員會議ニ出席、支那滿洲ロシヤ各地視察、平湯ホテル、平場溫泉土地、岐阜印刷、進行車製造ノ各會社社長、大藏省委員被仰付、翼政會政調大藏委員ニ指命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 政治家の使命について——國家が飛躍發展する時は總ての機構が大改革せられ、ためにその轉換期の一時期には、すべてに、大きな不公平と、犠牲を免るゝことは出来ないのである、その不公平と、犠牲を限少限度に止めて、又短期に調整せしめると共に、その間國民に希望と感激を與へる、飛躍發展の一大奮起精神力を發揮せしめるやう、身をもつて國民を指導し上意下達、下情上通の徹底に努力することは政治家の任務である

兵庫縣第四區選出
勳三等 法學博士辯護士

清

瀬

一

郎

魏町區紀尾井町三
電九段五五〇



略歴 明治十七年七月兵庫縣飾磨郡置鹽村ニ生ル、京都帝國大學法科大學卒業英、獨、佛國ニ留學○司法官試補ヲ命セラレ辯護士ノ業務ニ従事ス、衆議院議員選舉革正審議會、法制審議會臨時、議員制度調査會、土木會議々員、國民貯蓄獎勵委員會、議會制度審議會、國家總動員審議會、司法制度調査會各委員被仰付、曩ニ衆議院副議長タリ、翼政會總務、政調司法、外務兼務委員ニ指命サル○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 この大戦争を戦ひ抜くには、軍隊の力の大切な事は今更論する迄もありません、しかし、武力と表裏し、併行して重大なのは、國民の政治力の發揮であります、日本政治には凡そ三つの責務があります、第一には内政問題であります、國防資材の増強を要するは、言ふを俟ちませぬ、これと同時に、食糧の補給は十分にせねばならぬ、國內に思想の動搖を起させてはならぬ、第二には占領地の開發と統治であります、占領地資源の調整並に占領地住民の自覺を喚起し統治を完くするを要します。第三は戦争末期に於ける外交であります、大東亞戰が、何時終了するかは判らぬが、その終末期には、敵國、中立國、友邦との間に歴史的な重大外交が展開せられるこの外交戦に不覺を取つては相成らぬ、即ち内政問題、占領地の開發統治並に戦争終末時の外交の三事は日本政治の重大責務であります。

翼賛議員銘鑑(きノ部)

一四九

翼賛議員銘鑑（くノ部）

三重縣第一區選出
會社重役

九 鬼 紋 七

赤坂區青山南町二ノ八
電青山一三〇七
四日市市中納屋町三二六
○電四日市一六一六



略歴 明治二十八年十月三重縣四日市市ニ生ル、慶應義塾大
學理財科ヲ卒業○英國ニ留學シ歐米各地ヲ視察ス、東洋紡績監
査役、四日市土地會社相談役、日本無線電信電話會社取締役、
三重銀行頭取他各會社重役等トシテ關係ス、四日市市商工會議
所副會頭、同警防團長、商工省委員被仰付、翼政會政調商工委
員ニ指命サル當選一回（21）

政見 大東亞戰爭を是が非でも實行するためには、先づ國內
體制を強化してかゝらねばなりませぬ、その道標として何より
も大切なことは、明朗純正なる政治力を昂揚してこれと併行し
て清新にして潑刺たる帝國議會を確立することであると信じま
す、翼賛議會の中核たるべき衆議院議員にその人を得るか否か
は戰爭の遂行上に極めて重大な關係を持つてゐるもので眞に國
家の要請に應じ得る人材が動員されなければならぬ次第であり

外に赫々たる戦果に應へ、内に銃後國民の重責を考へます時大東亞建設の聖業を貫徹する帝國不動
の皇道政治を根幹としてその上に新しい經濟文化を打ち立てて行くことは吾人の義務なりと痛感致し
ます。

岡山縣第一區選出
正五位勳三等

久 山 知 之

目黒區自由ヶ丘八二
電荏原三四五〇



略歴 明治二十二年四月岡山縣久米郡大井西村ニ生ル、早稲

田大學ニ學フ○高信銀行支配人、美治電化工業會社專務取締役
久山工業所長、中國民報社長、岡山縣會議員、同參事會員、土
地收用審査委員、岡山縣交通互助會會長、司法政務次官、資源審
査會選舉制度調査會、議會制度審議會ノ各委員被仰付、滿洲支
那ノ皇軍ヲ慰問ス、翼政會事務局參與、政調司法、連絡委員ニ
指命サル○當選六回（16 17 18 19 20 21）

政見 議會より自由主義を一掃せよ 日本の議會はその範を
イギリスにとつたものであつて過去數十年間に亘る英國流の議
會觀とそして議會の運営とから蟬脱して眞の日本の議會即ち翼
賛議會を建設することは容易ではない抑も翼賛議會とは如何な
るものか、政府に對して唯々諾々として追従これ事とする因循
姑息なるものにあらずして清新潑刺たる中にも眞摯なる態度を
もつて諸政策を検討し且國運發展の正しき線に沿つて民意を暢達すると共に眞に政府と協力して大政
を翼賛し奉るものでなければならぬ、従つて舊時代の對立的意識や有害無益にして意義なき政治的抗
争を一擲して苟くも自我功利の自由主義的思想に基く一切の政治行動は一掃さるべきである。この至
純なる政治力の結集こそ大東亞建設の聖業達成のため不可缺の要諦である。

翼賛議員銘鑑（くノ部）

翼賛議員銘鑑(くノ部)

一五二

青森縣第二區選出

楠 美 省 吾

牛込區矢來町五一
青森縣北津輕郡七和村大
字高野北原二三三
電七和五



略歴 明治三十八年九月青森縣北津輕郡七和村高野ニ生ル、東北帝國大學法文學部卒業、滿洲國大同學院卒業○奉天省鐵嶺縣副參事官、奉天省東豐縣參事官、同省開拓科長、三江省開拓科長、新京開拓總局理事、滿洲拓植委員會事務局勤務、拓務委員タリ大東亞省委員被仰付、翼政會政調大東亞、農林兼務委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 昨日迄の帝國議會は、全く翼賛體制を裝ふ柏手機關であつたと言はれても過言ではありませんまい。かかる構成議員でどうしてこの戦を勝ち抜くことが出来ませう。私は先日迄滿洲に居た爲め海外より眺めて切實にこの感を深くするのであります。ここで最近大陸で唱へられてゐる「北人南物主義」を御紹介したいと思ひます。即ち北方には人を送り南方からは物資を調達すると云ふ大方策で、この點に付ては過般の議會でも政府は南方へは大量の人は送らぬ、人はあくまで滿洲開拓に振り向けると既定方針を強調してゐるのを以て知ります。今後南方經營と共に先に苦闘救援の友邦滿洲國開拓の主要性は今更ら贅言を要しない所であります。

國防の上から見ても、人口政策の立場からしても重大問題であり、然もそれが氣候、風土、強健なる素質等の點から推して東北人の適格性とを結ぶ重大政策であります

山口縣第二區選出
正五位勳三等辯護士

窪 井 義 道

品川區北品川四ノ七一八
電大崎二八五〇



略歴 明治二十五年一月山口縣熊毛郡三丘村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業、獨逸伯林ニ留學ス○歐米ニ外遊スルコト四回、松岡外相ノ顧問トシテ獨伊ニ使ス、海軍參與官タリ、國際工船漁業會社其外數社ノ重役、大政翼賛會中央協力會議員、獨逸第一級勳功勞章伊國コンメンダトール・サン・モリツツ勳章ヲ贈ラル、皇軍慰問ノ爲支那、滿洲ニ派遣サル、内務省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、海軍、外務兼務委員ニ任命サル○當選五回(14 18 19 20 21)

政見 申すまでもなく大東亞戦争は大東亞十億の民族を英米百年の桎梏から解放して兆民をしてその塔に安んぜしめんとする崇高なる我建國の大理想を顯現する御戦である、まつろはぬもの共は安けく平けてたゞよへる國々を修理固成する神命である、暗黒より光明への天の岩戸の開らきで、日本民族を中心とする世界の維新である、世界人類の創造よりこのかた、かゝる永遠にして雄大なる民族運動は神國日本民族のみに課せられたる天業と申す外ないのである、緒戦の大戦果は振古未曾有の世界驚嘆の的となつてゐるが戦ひはこれからである、執念深いアングロサクソン族に城下の盟をさすためには國民の一人一人が聖戦に骨を埋める覺悟が必要なのである、世界維新の鴻基を造らんとして働くことは國民の光榮ではないか。

翼賛議員銘鑑(くノ部)

一五三

翼賛議員銘鑑（くノ部）

一五四

熊本縣第二區選出
正五位勳三等

藏原敏捷

淀橋區上落合一ノ二〇六
電大塚四七七〇



略歴 明治二十一年八月熊本縣下益城郡小川町ニ生ル、東京帝國大學政治科卒業○文官高等試験合格、大阪府警部、同警視東京府理事官、千葉縣、秋田縣、神奈川縣、大阪府各警察部長和歌山縣知事、社會事業調査委員、中央社會事業委員會被仰付歐米ヲ視察ス、鐵道省委員被仰付、翼政會政調鐵道委員ニ指命サル○當選三回（192021）

政見 大東亞戰爭が皇國の運命を賭けた大事業であり、且つ長期戦を覺悟せねばならぬ、此の戦争の必勝を期するには、一、志氣の昂揚、二、軍備の擴充、三、戦時必要資材設備の獲得、並に擴充、四、國民生活の確保を期することは最少限度の必要事項である、更らに凡そ大事業を遂行するに當りては之を運営する組織と適當なる人を用意しなければならぬ、大東亞戰爭が日本民族の運命を賭した大事業である以上各部門に亘つて戦争完遂に併行し重點的に出來上つた組織との組織を運用する人々が眞に國家的に自覺し全力を傾注して始めて成功するのである。日本は政治經濟文化の各方面に長期戦即應の一糸紊れざる組織と運営が必要であるに拘らず用意の足らぬ間に戦争に入つた觀がある、政府民間共に鋭意施設經營に當つてゐるのであるが必ずしも完全とは云へない、後れ馳せながら官民百般の組織と運営に就いて適當なる是正を爲すべきことを希求する。

北海道第五區選出
農業

黒澤西藏

札幌市苗穂町三六
電札幌二三七一
神田區旭町一四草野舜
助方 電神田一三五〇



略歴 明治十八年三月東京府ニ生ル、東京京北中學校卒業○

北海道信用販賣購買組合聯合會、北海道酪農販賣利用聯合會會長、全國購買販賣組合聯合會理事、農林省委員被仰付、翼政會政調農林、大東亞兼務委員ニ指命サル○當選一回（2）

政見 北方農業の確立は、獨り北海道だけの農業を確立するだけではなく、實に日本全般の農業に對し重大なる反省を促すと共に府縣に於ける農業の立直しをなす尺度なりと信じます、更に進んで高原の開發に於ても、滿洲北支の農業に於ても、結局北方農業の原理原則に従ひ、之を範とするに非ざれば、斷じて成功し能はざるは、今や世上の公論であります、更に南方の農業を検討するも、現在では之れ又單なる掠奪農業に過ぎませんから、先づ土地を肥培して自然に増産する農法に轉換せねば南洋の將來も結局食糧問題に於て行詰ると考へられます、南洋と雖も、農法の原理は同じであります、況んや濠洲ニユーゾラ立こそは、當面の食糧問題を解決すると共に、大東亞の農業の確立に浴せしむる天業の基本なりと云ふも敢て過言に非ずと信じます。

翼賛議員銘鑑（くノ部）

一五五

翼賛議員銘鑑（くノ部）

兵庫縣第三區選出

黒田巖

明石市榮町二〇四五
本郷區向ヶ岡彌生町三
元淺野家別邸内



略歴 明治三十九年九月兵庫縣印南郡阿彌陀村ニ生ル、京都帝國大學法學部卒業○小學校訓導、兵庫縣巡查、滿洲國巡查、濱江省規劃科長、北支方面軍囑託山東省會警察局顧問、兼濟南治安維持會顧問、同濟南特務機關勤務、同山東省顧問補佐官、同濟南特務機關維縣出張所長、同及川旅團、同木村師團、同秋山旅團各政治工作班長、大東亞省委員被仰付、翼政會政調幹事内閣、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 昨年十二月八日以來世界の歴史は一變した、人類鬪争史三百年間に來た大動亂である事を喝破せねばならぬ、八紘一宇の皇祖 神武天皇の御託宣は今や世界を家としてアジア十億の師表として吾人等日本人の進むべき道は三千年前から今日尙明るく開拓されたのである。皇軍は今や印度に濠洲に、香港にマニラに昭南島にジャワ、スマトラに灼熱の暑さを物ともせず進軍し又極寒膚を刺すソ滿國境に嚴乎守備しつゝある幾多將兵に銃後一縷の安心を與へるこれ政治家の勉でなくして何んであらう、一億一心は叫ばれるけれ共人の師表たる政治家が翼賛議會を冒瀆し大東亞建設の實行を躊躇することは斷じて許さない、今日日本の現狀は只一途に戦争完遂の爲めあらゆる總力を以つて一本鎗で進む以外は何物もなく、此大理想實現に向つて進む途上をさへぎる者あらば我は突進せんこの覺悟を祖先に誓ふものである。

愛媛縣第三區選出
會社重役

毛山森太郎

愛媛縣北宇和郡立間村一
番耕地七四四
芝區南佐久間町一ノ一伊
勢屋旅館 電芝一一六一



略歴 明治二十九年愛媛縣宇和郡立間村ニ生ル、中學中途退學○昭和十四年九月愛媛縣會議員ニ當選ス、昭和十五年十二月同縣參事會員トナル、四國電氣株式會社重役、翼政會政調通信農林委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 大東亞戦争を必ず勝つためには資源の開発 大陸方面の經營と南方新領域の開発と相俟つて國內の生産機構が大東亞共榮圈の建設に適合する様整備されなければならぬ事は自明の理である。

犠牲者には親心 中小商工業者の整理は總力戰體勢確立への過程において起る必然的犠牲であるからこれに對しては吾國獨得の家族制度を尊重し淳風美俗を根底として發展し來れる此の中小商工制度を考慮して誤りなきを期したい。

農村問題は如何 農村問題は戰時食糧の増産が中心である即ち最後の勝利を得るためには何はにおいても主要食糧確保が絶對的必要である、農村は肥料に勞力に凡ゆる農村資材の不足を克服して古來よりの農民魂をもつて食糧の増産に遺憾なきを期したい、蠶糸業は重要産業であるから適切なる計畫を樹立せねばならぬ。思想問題に就て 國民思想國民教育の刷新については精神文化を最高度に發揮せる日本民族精神を全世界民族の指標たらしめねばならぬ。

翼賛議員銘鑑(こノ部)

鹿兒島縣第一區選出
著述業

小 泉 純 也

淀橋區西大久保二ノ三四
二 電四谷二六〇〇
鹿兒島縣川邊郡萬世町小
湊



とは言を俟たず又戦時下における政治の主目標は戦力の充實に盡きると信じます、戦力擴充の要諦は全國民の愛國心を高度國防國家建設に向つて結集することでありませぬ。

國民は政府を信賴せよ、政府も亦國民の忠誠に信賴してよく民の聲を聞かねばなりません軍と官と民が三位一體となつて強固に協力してこそ決戦必勝體制の完璧を期することが出来るかと考へます。

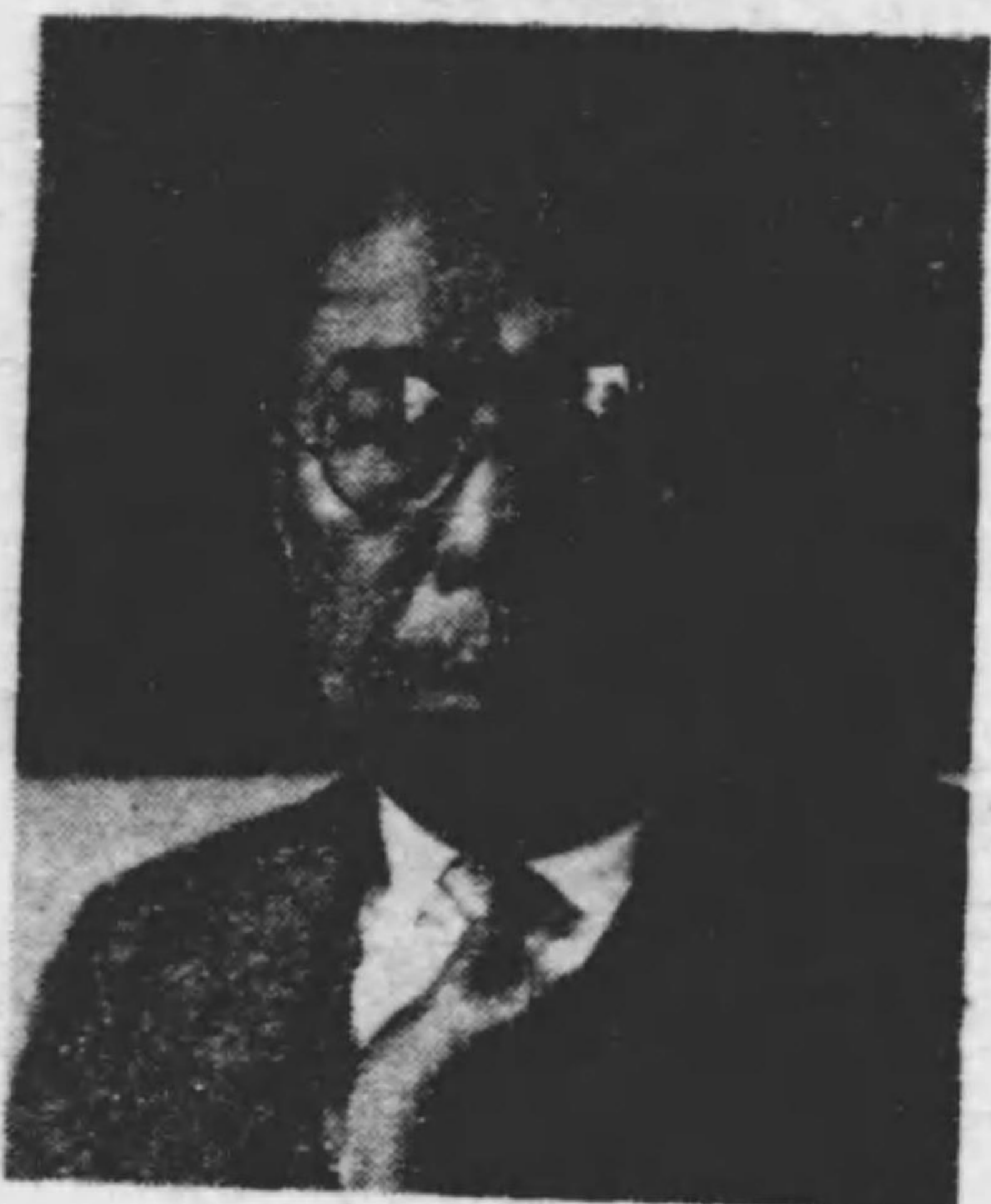
略歴 明治三十一年一月鹿兒島縣川邊郡萬世町ニ生ル、太刀洗飛行隊入隊、日本大學政治科卒業○逓信大臣秘書官、大政翼賛會議會局理事、衆議院代表トシテ南支海南島、佛印方面ノ皇軍ヲ慰問、翼賛議員同盟幹事、教員振興議員同盟理事、外務省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調幹事、連絡、内務兼務委員ニ指命サル○當選二回(20 21)

政見 今こそ大日本帝國が肇國の理想を顯現して大東亞四千萬平方キロの廣大なる地域と十億の民衆に天皇政治を光被せしむる有史以來世界の如何なる國家も企及し得ざる大事業が始められたのであります、此の大東亞戦争は日々戰果を擴大し全世界の耳目を驚倒せしめてゐるのであります、大東亞共榮圈を建設し四民をしてその慶びに倚らしめるは實に今後にありませぬ、近代戦は即ち國家總力戦であり又長期戦でもあります、之れを戦ひ抜くには絕對にゆるぎなき國內體制を整備すべきこと

神奈川縣第二區選出
正三位勳二等(旭)

小 泉 又 次 郎

淀橋區西大久保二ノ三四
二 電四谷二六〇〇



略歴 慶應元年五月神奈川縣久良岐郡六浦莊村ニ生ル○小學教員、新聞記者、横須賀市會議員、同議長ニ舉ケラル、帝都復興院評議會評議員被仰付、又逓信大臣ニ被任、社會政策審議會臨時、衆議院議員選舉修正審議會、臨時産業審議會、法制審議會臨時、選舉制度調査會、議會制度審議會各委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問議員團長トシテ北支那へ派遣セラル、衆議院副議長タリ、翼政會評議員、政調逓信委員ニ指命サル○當選十二回(10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 今日の要は朝野一致、眞に心を一にして國事に當るにある。凡そ形を整ふるは易しく、心を攬るに難し、政治の要諦は國民の心を攬るにあつて其の形式ではない、今日國運發展の秋、斷じて國民の萎微苟安をゆるさない、其良能を傾けて國家の爲めに竭さしめなくてはならぬ、我が國民は十二月八日開戦と共に一億總て一心となつて戦つて居る、眞に世界に完絶せる日本の精華であり強味である、此を棄すが如きは決して爲政者の採るべき態度ではない、中小商工業の整理再編成の如き止むを得ざる現下の急務ではあるが、其目標とする處は人的資源を得ると同時にその大眼目を健全なる中産階級の保育維持に置かねばならぬ、これが實行に當りては國民の潑刺たる進取の氣象を阻害し、退嬰苟安を馴致するが如きは心して避けなくてはならぬ。

翼賛議員銘鑑(こノ部)

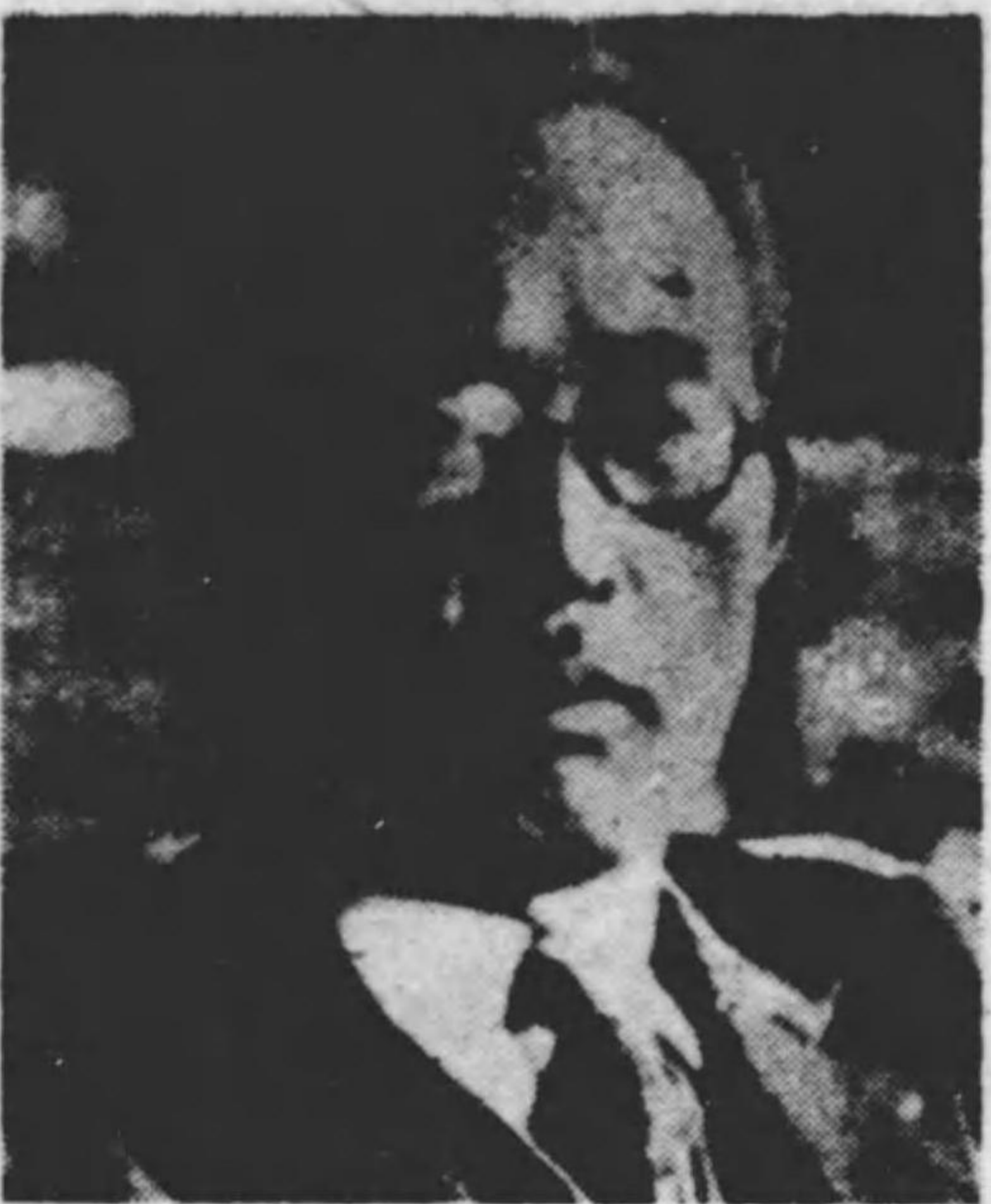
翼賛議員銘鑑(こノ部)

一六〇

長崎縣第二區選出
正七位

小 浦 總 平

佐世保市八幡町七八
神田區錦町二ノ二
泉旅館 電神田三六四一



略歴 明治二十四年長崎縣ニ生ル○元警察署長、前佐世保市長タリシコトアリ、大政翼賛會佐世保支部長、翼政會政調海軍委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 日本帝國が不動の國策を掲げて唯一無二の道を進みつゝある現段階に於て國民の爲すべきことは國策完遂のための協力者として強力なる支柱であり拍車であり得ることであり即ち只臣子の本分に則り身を挺して國策遂行に協力するの一語に盡きるのであります、爾餘の問題はすべて此の大目的の遂行に派生する方法であり、手段に過ぎないのであります、申すまでもなく議會は民意暢達の府であります、畏くも五ヶ條の御誓文の中に廣く會議を起し萬機公論に決すべしと御示しになつてゐる様に吾國の政治は民意の暢達そのよろしきを得て完璧を期し得られるのは明かであり、帝國議會の機能を最も有効に最も適切に運用して政府の施策と協力し、又之を誤りなからしむるつまり政府と共に大政を翼賛し奉ると云ふことに議會としても亦議員としての重點をおくべきであると思ひます、然し政府の政策に徒らに阿附追隨したり、又便乘に汲々として保身的姿勢を示し又は賣名的に國民に媚びて行くことは翼賛精神に反することであつて我等の採らざる所であります。

長野縣第一區選出
新聞社長

小 坂 武 雄

長野市妻科七五二
電長野二七九七
神田區鎌倉町三千代田ホ
ケル 電神田八二四



略歴 明治二十八年長野縣上水内郡柳原村ニ生ル、東京帝國大學政治科卒業○古河合名會社ニ勤務ス、昭和五年伯林市ニ開催ノ萬國動力會議ニ出席シ歐米各國ヲ歴巡ス、信濃毎日新聞社長、信越化學工業株式會社常務取締役、同盟通信社理事、大政翼賛會長野縣支部常務委員、逓信省委員被仰付、翼政會政調商工、逓信兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 申す迄もなく近代戰の特色は國家國民の總力戰であります、單に武力戰を以てのみ全局の勝敗を決するは早計であります。之に伴つて行はるべき經濟戰、思想戰、而して之等を統合善用する國民精神の昂揚と國民總力の結集なくしては、よく大東亞戰爭の目的を完遂して最後の凱歌をあげることは出来ないのであります。飛躍せる時局の新段階に於て國家が議會に要請する所は、既に一決したる國家の前進方向を見定め、あらゆる政策を之に集結せしめ政府と緊密に協力して之が完遂に當るべき新議會の建設にあると思ひます。政府は自らも信頼が出来、國民からも信頼される議會と協力することによつて、初めて國民と共に國策を遂行することとなり、國民は又、かゝる議會を通じてこそ大政翼賛の實を擧げ得るのであります。

翼賛議員銘鑑(こノ部)

一六一

翼賛議員銘鑑(こノ部)

茨城縣第三區選出

小 篠 雄 二 郎

茨城縣結城郡結城町字結城一八四 電話結城四一
下谷區中根岸九〇 根岸
館 電根岸六三一三



一六二

略歴 明治二十六年十一月茨城縣結城町ニ生ル○結城郵便局長拜命、町會議員、縣會議員、結城町長ニ擧ケラル、大政翼賛會結城郡支部長、翼賛壯年團結郡名譽團長ニ各就任、翼政會政調厚生、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 敢て今日に限つたことではありませんが、特に大東亞戦下に在つては、この戦ひを戦ひぬきその目的を達するためには、特に農村に對する施設において、萬遺漏なきを期することが大切であると考へます。堅實なる農村の存在が堅實なる國家の存在を意味するものであることは、古今東西を通じて變らざる眞理でありまして、即ち農は國の基であります。平時に較べて、色々の不便があることは、やむを得ない勢であります。その不便を喜んで忍んでゐらるゝ農村各位の愛國心に應へて農村施設に種々の新らしき工夫を生み出すことも當面の一大急務であると考へます。また大東亞戦完遂の必要に應じ、都會においてには、或は商工業者の統合整理問題、これに伴ふ轉業問題、その他諸般の切實なる問題があるのでありますが、これ等の對策に萬遺憾なきを期さねばなりません。申すまでもなく高邁なる指導理論は國政において無かるべからずであります。如何に高邁なる理論も、これを國民生活のはしはしにまで、滲み透らすべき政治の實際化が無くては、意味をなさないのであります。

岡山縣第二區選出
勳三等 新聞社長

小 谷 節 夫

大森區久ヶ原八二五
電池上八七六
岡山市西田町一七
電岡山三一四〇



略歴

明治十八年一月岡山縣阿哲郡美穀村ニ生ル、上海東亞同文書院卒業「實力の人原さん」「何人も知らねばならぬ支那の知識」「中華民國と帝國日本」等ノ著アリ○古河鑛業會社員トナリ滿洲ニ駐在ス、後青島ニテ貿易商天佑公司ヲ營ム、吳佩孚ノ政治顧問、岡山縣私立金川中學校長トナル、青島新聞社長タリ又漢字新聞「大青島報」ヲ發刊ス、内閣技術院委員被仰付、翼政會政調内閣委員ニ指命サル○當選五回(16 18 19 20 21)

政見 皇道を世に宣布して世界恒久の平和、地球の上に人類愛を實現する事がわれ等の最高の理想であり最大の目的である、その大理想大目的顯現の階梯として大東亞共榮圈の確立を期せねばならぬ、大東亞共榮圈と云ふ言葉は比較的新らしい言葉であるが私共は數十年前から大亞細亞主義を唱え來り、その根幹たるべき日支提携に四十年間献身し來つて居る、青島還附に憤慨したのが衆議院に出た動機である、然るに今やわれ等は

大東亞戦を戦ひつゝある大理想、大目的の達成を期したいのが最終の念願である。

翼賛議員銘鑑(こノ部)

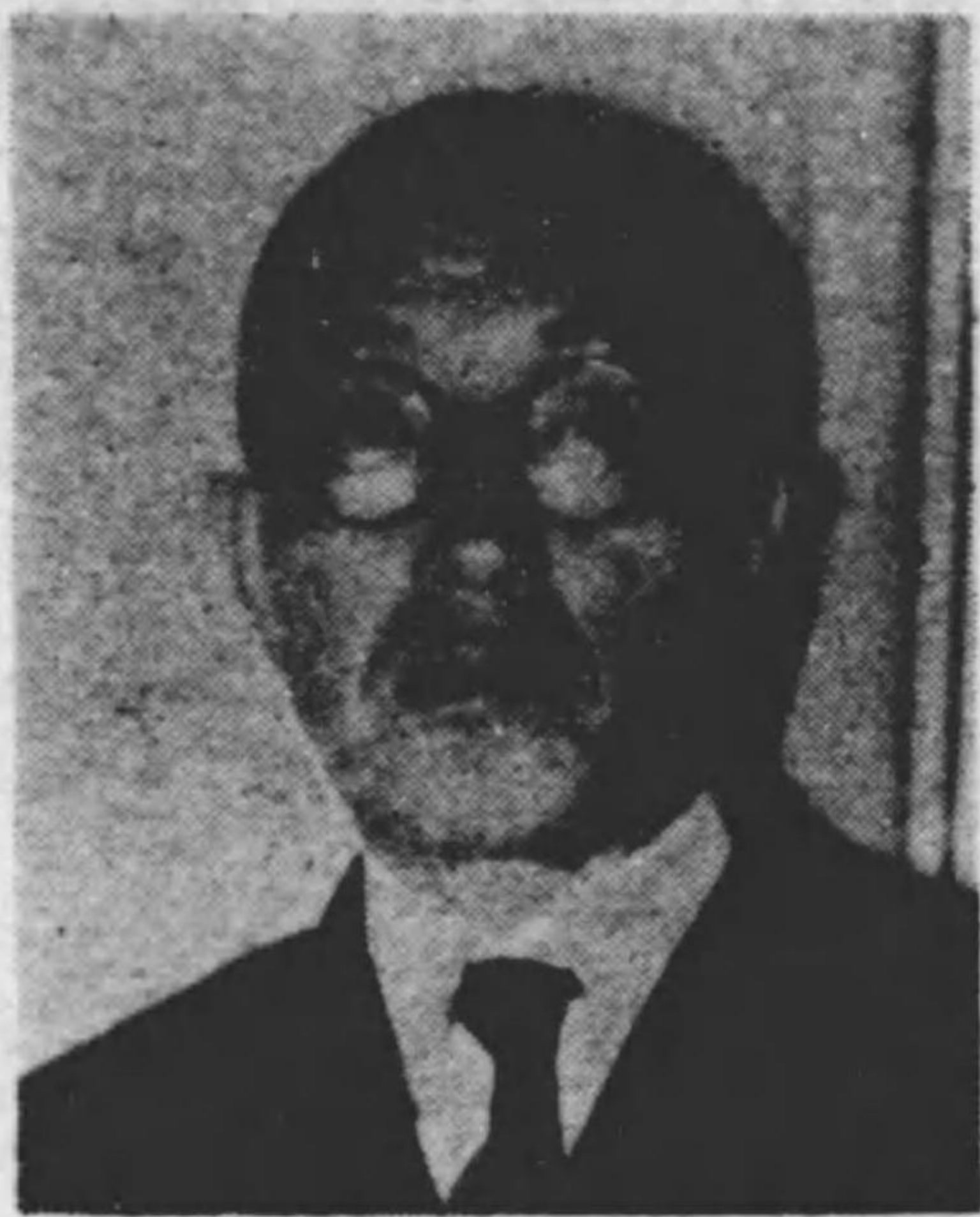
一六三

翼賛議員銘鑑(こノ部)

長野縣第三區選出
從三位勳三等 翼賛會總務局長

小 平 權 一

淀橋區下落合三ノ一三七九
電大塚三七〇一



一六四

略歴 明治十七年長野縣諏訪郡米澤村ニ生ル、東京帝國大學農科大學同法科大學卒業○農學博士、農林省農政課長、米穀課長、農務課長、蠶絲局長、農務局長、經濟更生部長ヲ經テ農林次官ヲ歴任、歐米各國へ出張、關東廳顧問、滿洲糧穀株式會社理事長、滿洲興農合作社中央會理事長、滿洲國經濟顧問、滿洲國參議、大政翼賛會總務局長、內閣對滿事務局委員タリ、大東亞省委員被仰付、翼政會評議員、政調農林委員、行政事務簡素化特別委員ニ指命サル○當選一回(21)

通じ民間の創意と民意が國政の上に反映せしめるように致さねばならないのであります。

かくして議會は下情上通の機能を果しつゝ政府に協力し大政翼賛の實を擧げると共に政府亦安んじて其等の人々と國政を議する斯る態勢こそが翼賛議會體制其のものであります。

兵庫縣第三區選出
正五位勳三等

小 林 絹 治

麻布區山元町三二
電三田六九



略歴

明治二十一年二月兵庫縣加東郡河合村ニ生ル、米國カリホルニヤ大學政治科及ヒ同大學院法科ヲ卒業、米國法學博士文學士○中央新聞主筆、編輯局長、南滿洲鐵道株式會社、秘書役、庶務課長、參事、紐育事務所長、ゼネバニ於ケル國際聯盟會議帝國代表隨員被仰付、農林參與官、米穀統制、米穀自治管理、鐵道觀光、各委員會委員被仰付、農村更生中央委員會委員、滿鐵囑託、北支那開發調查囑託、南太平洋貿易株式會社顧問、大政翼賛會本部調査委員、農林省委員被仰付、翼政會政調大東亞、商工兼務委員ニ指命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 聖戰の目的を達成せんがためには、全國民は愈々必勝の信念の下、如何なる艱難辛苦をも堪え忍び、前線の將士と同様の心構へを持し、一切を擧げて君國に報ずる覺悟を固めなくてはなりません。されば國民生活は、凡る點に戰時經濟に順應し、物資尊重、勤儉節約、貯蓄獎勵等、強靱なる經濟體制の下、益々戦力の擴充増強に努めねばならぬと共に、政府は、作戰に支障なき限り、速かに南方資源を開發して、重要物資の補給を計り、高度國防國家の内容を充實し、體制を完備すると同時に、國民生活の最低限度の保障をせねばならない、又、食糧増産、配給圓滑、勞働力維持轉用等、それぞれ萬全の策を樹てねばならぬ。端的に云へば長期戰の備へと、建設戰の用意萬端遺憾なきを期せねばならぬのであります。

翼賛議員銘鑑(こノ部)

一六五

翼賛議員銘鑑(こノ部)

一六六

山形縣第二區選出
從五位著述業

小林 鐵 太郎

東京市淀橋區下落合町一ノ四八三
電落合長崎二二九六



略歴 明治十九年十一月山形縣ニ生ル、東京帝國大學法科大
學卒業○南滿洲鐵道株式會社々員、立教大學講師、内閣東北局
委員被仰付、翼政會政調鐵道、大藏兼務委員ヲ指命サル○當選
一回(21)

政見

- 一、大東亞綜合交通政策の確立
- 一、民族政策の確立
- 殊に民族協和政策の徹底、東條聲明に對する再檢討
- 一、在外邦人子弟教育制度の確立
- 一、國內教育營團による貧困者教育援助政策の徹底

福島縣第一區選出
倉庫業

小 松 茂 藤 治

福島縣安達郡本宮町字中
條五電本宮町四
世田谷區羽根木町一七九
四 榮谷方



略歴

明治十九年福島縣本宮町ニ生ル、早稻田大學卒業○縣
會議員、縣會議長、縣農會評議員、安達郡農會長、縣商業組合
聯合會理事長、縣森林組合聯合會長、縣河川協會會長、安達郡町
村長會長、本宮町長、大政翼賛會縣協力會議長、同中央協力會
議員、翼政會政調鐵道、農林兼務委員ニ指命○當選一回(21)

政見

國際情勢の逼迫を理由として昨年行はるべき總選舉を
逼迫の程度に於て何層倍か知れないこの大東亞戰爭下に於て敢
て總選舉を斷行した政府の意圖は聖戰完遂に對する國民翼賛の
至誠を動員し選舉を通じて國民の國防國家的意識を議會に反映
せしめ、議會に於ける政治勢力の構成と性格とを國防國家的に
再編成せんとするに外ならない、議會の國防國家的性格とは何
か、議會から自由主義的議論の一切を拂拭して眞に聖戰完遂の
國策を翼賛することであり。諸君も御承知の通り聖戰完遂の國
策の基礎構造は着々として完成されつゝあります。即ち經濟新
體制確立要綱の決定に基き大東亞共榮圈經濟建設に即應すべき産業經濟の再編成は國家總動員法の改
正と共に促進され中小商工業の再編成も目下官民協力の下に着々進行しつゝあります。かくの如く大
東亞共榮圈建設の基礎である我國防國家體制的經濟的基礎の骨組は確立されて來たのであるがこの骨
組に肉をつけ血を通はせ國民を動員指導する仕事こそ指導者の重大任務であると信じます。

翼賛議員銘鑑(こノ部)

一六七

翼賛議員銘鑑（こノ部）

新潟縣第二區選出
正四位勳三等

小柳 牧 衛

府下武藏野町吉祥寺三三五
電吉祥寺四三七



一六八

略歴 明治十七年七月新潟縣北蒲原郡川東村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治學科卒業○文官高等試験ニ合格、北海道廳屬、同事務官補、同理事官、青島守備軍民政部事務官、臨時震災救護事務局書記官、青森、山口、神奈川各縣内務部長、青森福島、長崎、兵庫各縣知事ニ歴任、新潟市長、新潟縣教育會長、支那政府ヨリ三等嘉禾章ヲ贈ラル、文務省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、文部、内務兼務委員ニ指命サル
○當選三回（1920 21）

政見 皇國日本が天壤と共に、榮えんが爲には、忠誠にして健全なる民族を、子々孫々に練成し行かねばなりません、殊に我國は今や東亞の盟主として、將又共榮圈の指導者として、世界の文運に、貢獻しなければならぬのでありますから、其指標を八紘爲宇の大理想に立つ、大國民の練成に置き常に教育の振作に留意して不斷の努力を盡さねばなりません、而して、其緊急の要務の一は師範教育を擴充して師道を確立することであり、其二是教育の機會均等を實現して國民能力を向上せしむることであり、其三是科學を振興し東西文化を融合せしめ、物心兩面を貫く新文化を建設することにあると存じます。

長野縣第二區選出
正五位勳三等 製糸業

小山 邦 太郎

四谷區愛住町七九
電四谷七七七四



略歴 明治二十二年十一月長野縣北佐久郡小諸町ニ生ル○長

野縣會議員、同參事會ニ舉ケラル、又長野縣蠶糸品種審査委員北佐久郡生糸同業組合長、蠶糸同業組合中央會議員、大政翼賛會長野縣支部顧問、拓務省委員、大東亞省委員被仰付、翼政會政調海軍、農林兼務委員ニ指命○當選六回（16 17 18 19 20 21）

政見 共榮圈内自給自足の經濟政策に基く主要食糧の増産計畫を徹底せしむると共に、蠶絲業の安定を期して、まさに農村百年の大計を樹つべき秋であります。特に蠶絲業に關しては、絹が共榮圈内有力の被服資源としてその存在を確認するに至りましたことは、まことに欣快に堪へぬところであります。元來日支兩國は、世界最古の蠶糸國であり、且つ絹の消費國であつたのが、近世に入つて、歐米諸國の爲めその生産に従ふやうな姿になつてゐたのであります。今や再びその尊い絹を東亞の天地へ取戻すことが出來たのであります。日本内地の消費量が四十萬俵を算して、支那事變前の二倍に達してゐることも、必ずしも偶然では無いのであります、この際より一層絹の内地需要を喚起すべきであることは申すまでもありません、セリシン定着に依る羊毛纖維工業の發達を促す外、新利用法の展開を圖ることも亦大いに必要があります。

翼賛議員銘鑑（こノ部）

一六九

翼賛議員銘鑑(こノ部)

愛知縣第一區選出
正五位勳一等

小山 松 壽

荏原區平塚七ノ一〇五四
電荏原六五〇〇名古屋
市昭和區五軒家町一七



略歴 明治九年一月長野縣北佐久郡小諸町ニ生ル、早稻田大學法科卒業○大阪朝日新聞記者、同名古局支局長、名古屋新聞社長、名古屋市會議員、軍需評議會評議員、都市計畫中央委員會委員被仰付、農林政務次官、關稅審議會、米穀調查會等各種委員被仰付、衆議院副議長、南洋視察議員團長トシテ同方面ヲ視察、又滿蘇國境ヲ視察、衆議院議長タリ、無限責任社員、重役會々長、翼政會評議員、政調內閣委員ニ指命サル○當選十回(12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 蓋し、戰爭は國家及民族の興亡、存廢の岐るゝところでありまして、一億の國民すべて私を捨て、公に奉ずるの意識が盛んに燃え立たねばならないのであります、議會はそれを如實に、政治の全面に惜みなく發現せしむべき機關として活動しなければならぬと信ずるのであります。今や、アジア十億の民衆は、日本の指導を待つてゐます、支那も南洋も、インドもその運命を新たにすべき時が來たのです「光は東方より」さしそめつゝあります、今より一年以前の今日、誰か、日本が今日のごとく、偉大なる躍進を遂げ得ることを想像したものがありません。大日本帝國のこの輝かしい飛躍、發展は、たゞ々々、舉國以來の大理想を開顯するための深き神意のあらはれと感ぜざるを得ません。

和歌山縣第二區選出
正五位勳三等

小山 谷 藏

本郷區向ヶ岡彌生町三
電小石川二〇八二



略歴 明治九年九月和歌山縣西牟婁郡三栖村ニ生ル、東京專門學校卒業、米國コロンビア大學卒業○臺灣總督府翻譯官、文部省副參政官、內務參與官、外務政務次官、保健衛生調查會、勞働保險調查會、阿片委員會、神社制度調查會、國立公園委員會等外各委員、土木會議々員被仰付、歐米各國ヲ巡遊ス、皇軍慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル、翼政會評議員、外務、海軍兼務委員ニ指命サル○當選八回(11 12 16 17 18 19 20 21)

政見 世界に冠たる我國體と忠勇無比の我が國民性は、思想戰に於ても斷じて彼等の侵害を容さぬ事は斷言して憚りません而して思想戰は經濟戰と密接なる關聯性を有し、國民の生活問題が思想上に重大なる影響あることは周知の通りであり。由來我國は國土狹小資源貧弱で、米英との經濟斷行は至難であると、何人も考へて居たのであるが、大東亞戰以後の日本は、戰前の日本ではない。見よ蘭領東印度其の他南方諸地域の豊富なる大資源を確保した今日の日本は世界有數の持てる國であり、經濟力に於て斷じて彼等に劣るものではありません。長期戰體制を整備するためには、或は國民の日常生活は一層窮迫を免れ難いかも知れませんが、併し不屈不撓飽くまで此戰を勝ち抜く爲には止むを得ない事であり此點に關する充分なる國民の理解と協力が今日の絶對要件であります。否それが勝敗を決する鍵であり曩に行はれた總選舉の重大意義も茲にあつたと信じます。

翼賛議員銘鑑(こノ部)

翼賛議員銘鑑（こノ部）

一七二

長野縣第二區選出

小山亮

本郷區湯島天神一ノ七一
電下谷五二〇五
長野縣北佐久郡小諸町



略歴 明治二十八年二月長野縣小諸町ニ生ル、小諸商工學校卒業、弓削商船學校卒業○イタリ海軍御用船ニ乗組、第一次歐洲大戰ニ参加ス、後國際汽船株式會社ニ入社、爾來世界周航七回、歐洲、大西洋、地中海、北米、南米、北支、濠洲、印度北洋、南洋、各航路ニ就航ス、議員俱樂部代表世話人、國民教育振興議員聯盟常任幹事、農村振興議員聯盟幹事、翼政會政調通信委員ニ指命サル○當選三回（1920 21）

政見 眞の總力戦はこれからであります。一億國民鐵石の團結に依つて逆卷く狂瀾怒濤を乗り越え、飽く迄も大東亞戦争を勝ち抜くのであります。而して此の戦争を勝ち抜く爲には、航空機艦艇船舶等の長期消耗戦に耐え、軍需生産能力を徹底的に擴大し、銃後の士氣を昂揚し民心を鼓舞し、經濟戦思想戦に對する鐵壁の陣を布くと共に、一面に於ては國民生活の確保を計り、食糧、生活必需品の供給を潤滑ならしめ、乏しき乍らも生活の脅威を感じしめざる最低生活の保證こそ、長期戦遂行の絶對要件であります。此の光明に充ちた新しき世紀に直面し、前人の未だ企て及ばざりし有史以來の大偉業たる、大東亞建設戦の陣頭に立ち、雄々しくも一路奮戦しつゝある東條内閣を鞭撻激勵支援する事こそ、眞に今日大東亞戦下に於ける國民の本務なりと確信するものであります。

群馬縣第二區選出
正五位勳三等會社重役

木暮武太夫

中野區桃園町一四
電中野五一一四



略歴 明治二十六年二月群馬縣群馬郡伊香保町ニ生ル、慶應義塾大學理財科卒業○株式會社三井銀行員、伊香保町會議員、鑛泉場組合取締所組長、同溫泉自動車株式會社取締役、同ケール鐵道株式會社取締役、社團法人日本溫泉協會本部理事、重要肥料業、統制、關稅調查、度量衡制度調查、不當廉賣審査米穀配給調整中央、臨時資金調整、帝國燃料興業株式會社設立貿易審議、百貨店、製鐵事業、國產振興、鑛業法改正調査、瓦斯事業、保險業法改正調査、重要礦物各委員會委員被仰付、中華民國及滿洲國ヲ視察ス、商工省委員被仰付、翼政會政調商工委員長、行政事務簡素化特別委員ニ指命サル○當選七回（15 16 17 18 19 20 21）

政見 國民が國政に深い關心を持ち大政翼賛の奉公の熱情を以て舊政黨の弊風より蟬脱して雄大な盛國の理想を高く掲げて世界に冠絶する優秀民族たる我等が指導者として東亞を指導するは天の使命なりとの信念に燃えて清新潑刺雄大な政治組織を作る時こそ國政と國民のむすびが強靱になり「我等の政治」の熱と責任が生れるこの國民の間に盛り上る清い元氣な政治力の結集が政治の革新を斷行し、新なる生活原則を打ち建て進んで政府に協力して其施策を豊にするのである。ここに國民の熱烈なる志氣の昂揚があり、欣然として強制されず如何なる國家の要請にも進んで赴くの氣魄が生れる。

翼賛議員銘鑑（こノ部）

一七三

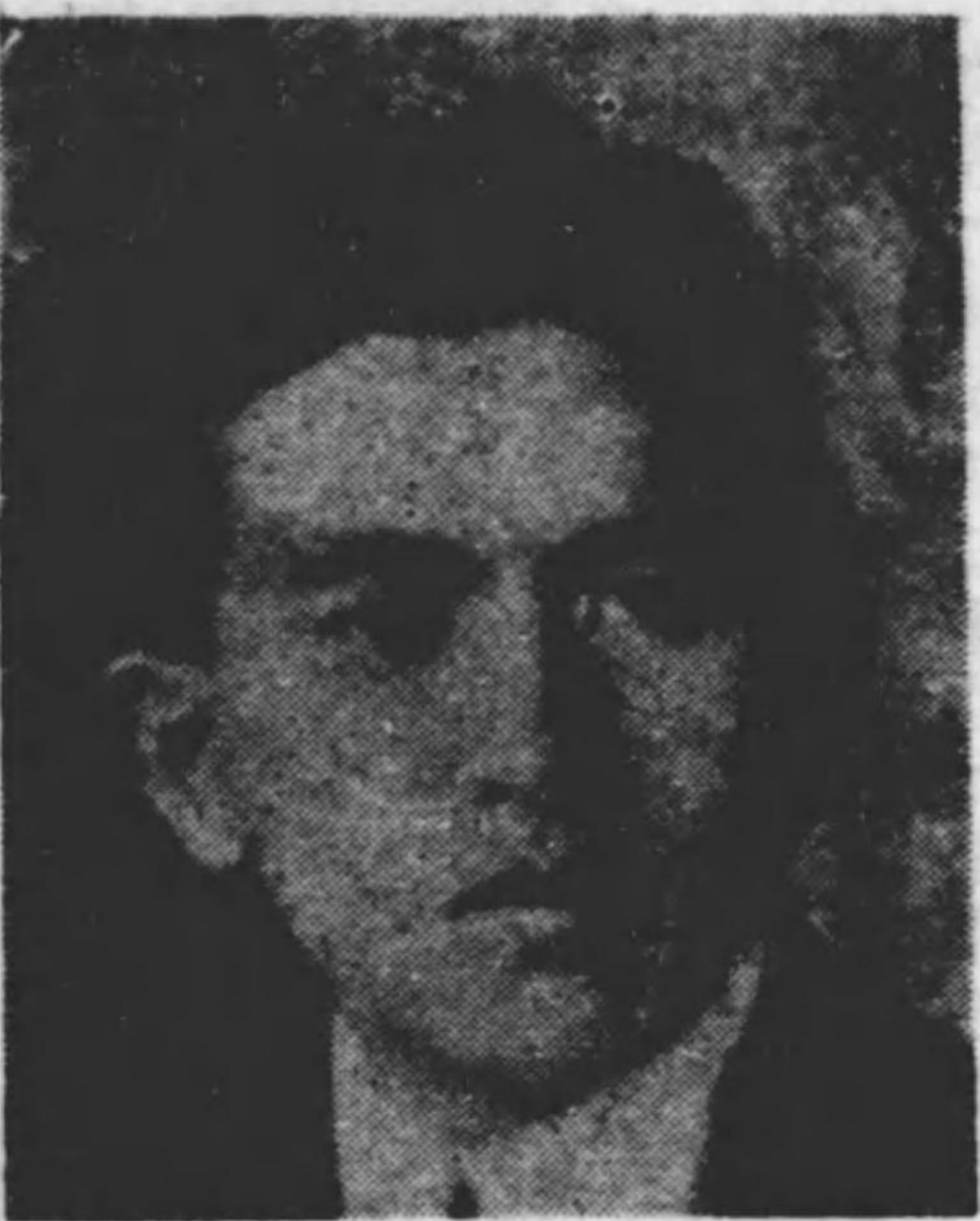
翼賛議員銘鑑（こノ部）

一七四

神奈川縣第三區選出
從五位勳三等

河野 一郎

芝區通新町一四
電三田二〇一四



この農村の大精神を基として如何に大東亞農業政策を樹立するか、これ蓋し現下及將來の重大焦點であります。生を農村に享けたる私は、その農村對策を議會に主張し、萬邦無比の國體の淵源を確立することを終生の目的とするものであります。

略歴 明治三十一年六月神奈川縣足柄下郡豐川村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○東京朝日新聞社員トナル、中郡畜産組合長、中央畜産會理事ニ擧ケラル、農林大臣祕書官ニ任セラ、東光商事株式會社監査役タリ、重要肥料業委員會委員被仰付、翼政會政調農林委員ニ指命サル○當選四回（18 19 20 21）

政見 私は常に富國強兵を主張して來ました。農村はその精兵の母體であると申して參りました。農村に流るゝ脈々たる傳統の力こそ海洋にジャングルに碧眼紅毛の膽を奪つた精銳無比の勇士を育て哺んでゐるのであります。健全なる母體、健全なる農村、これある以上、わが皇國は斷じて如何なる大敵をも擊破して已まないものであります。この觀點よりして現人口の四割を保有すべき農村は大和民族の純血を保持し、忠勇義烈の大精神を受繼いでゐるのであります。この農村を如何にして導くか

東京府第一區選出
辯護士

河野 密

中野區道玄町六
電中野二九八五



略歴

明治三十年十二月千葉縣夷隅郡中川村ニ生ル、東京帝國大學法學部獨法科卒業「日本の勞働問題」ノ普及翻譯書數種アリ○東京朝日新聞記者、京都同志社大學講師、日本勞働組合副議長、第二十回國際勞働會議日本勞働代表ニ推薦セラ、税制調査會委員被仰付、厚生省委員被仰付、産業報國會理事、大政翼賛會本部調査委員、翼政會政調理事、連絡委員（事務局參與）ニ指命サル○當選三回（19 20 21）

政見 今日の急務は強力なる政治體制の確立であります。而して強力なる政治體制の確立は、清新にして明朗、淳朴にして潑刺たる議會の建設から始ると信じます。

に具體策を樹立することが必要であります。

この爲には、新しき政治の方向に理解を有し、經綸と識見を有する人材を以て議會を構成しなければならぬと考へます。私は過去六ヶ年間議會の末席をけがして參りましたが、從來の議會は、老廢し節度を失ひ、全く時代に取殘されてゐたと思ひます。これを打破し、常に見識を以て政府の施政を見守り國策の遂行に誤りなからしむるのが、今後の我々の任務であります。

翼賛議員銘鑑（こノ部）

一七五

徳島縣第一區選出
勲三等 辯護士
紅 露 昭
澁谷區幡ヶ谷本町一ノ四〇
電四谷七九一



力培養が先決問題である乙、國內問題に就ては高度國防國家の建設が第一義であつて政治、經濟、産業、教育も一切此の線に沿つて改革されねばならぬ、國內政治力の結集は從來の政黨的概念を清算し時代の要求に適合せる強力なる推進力と國民の指導的中心勢力たるに相應しき性格を具備せしめる、經濟機構の改革については廣汎なる綜合的計畫經濟の圓滑なる運用に依つて生産の飛躍的增加を期すべきである。

東京府第二區選出
從五位勲三等計理士

駒 井 重 次

小石川區金富町五六
電小石川二〇三五



略歴 明治二十八年二月東京市ニ生ル、東京帝國大學經濟學部商業學科卒業○文官高等試験ニ合格、大藏屬、司稅官、銀行検査官ニ歷任シ、前橋、龜戶、神田橋各稅務署長ニ補セラル、群馬縣收用審査會委員ヲ命セラル、日本大學講師、計理士、日本稅務代理士聯合會會長、大藏省委員被仰付、翼政會政調幹事、大藏委員ニ指命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 自由主義政黨は崩壞したのである。あの全盛を誇つた政友、民政の二大政黨が瞬時にして崩壞するが如き事を誰か夢想し得たであらう。然れども時世の推移は自由主義政黨の存在を許さなかつたのである。私は一昨年民政黨の解黨ならざるを嘆じて三十餘名の同志と共に脱黨を敢行し、政黨解消の先驅となつたのであつた。議會の構成はもとより大東亞戰爭下の事態に即應すべきは之れ亦云ふを俟たないのである。自由主義的な個人主義的な色彩は之れを拭ひ去らなければならぬ。そこに始めて清新潑刺たる翼賛議會が誕生するであらう。

翼賛議員銘鑑（こノ部）

一七八

山形縣第一區選出
正四位勳二等功二級海軍中將

近 藤 英 次 郎

世田谷區玉川奥澤町二ノ
一九一
電田園調布四一五六



略歴 明治二十年九月米澤市今町ニ生ル、海軍大學卒業○歐
洲大戰ニハ地中海ニ出征、吳鎮守府參謀、米國駐在、遣外艦隊
參謀、館山航空隊司令、赤城、加賀艦長、第三艦隊參謀長、上
海陸戰隊、横須賀警備戰隊、第三水雷戰隊ノ各司令官、支那事
變ニ揚子江部隊司令官、東亞海運株式會社顧問、内閣興亞院委
員タリ、翼政會評議員、政調内閣委員ニ指命サル、大東亞省委
員被仰付○當選一回（21）

政見 議會は國民の心の鏡である。國民の必勝の信念と一億
一心の境地とはいま一息といふ所で停滯して、米英依存思想の
殘留、反樞軸思想の潛行、中途半端な平和論、西洋流のデモク
ラシー、妥協漸進主義の舊體制、或は自由經濟資本主義の復歸
を夢みる考へなどが、その鏡になほ一抹の曇を與へてゐる、議
會は官僚獨善を批難し乍ら、自らを打開する熱意も迫力も失つ
てゐる。その根本は政治家の氣節の頹廢であり、情實因襲に捕
れて來た政治家議員達の職業化墮落である。かうして一億一心に少しのヒビが入り大政翼賛に若干の
選要があつては一大事である。日本は今八方八面に戦つてゐる。而も米英は長期戦に堪える實力はま
だ／＼持つてゐる。やがて猛然反撃して來ないと誰が保證し得るか一億鐵血の總力で之を徹底的に粉
砕し、併せて占領した彪大地域と十二億の民族とを經營指導せねばならぬ。

神奈川縣第一區選出

佐 久 間 道 夫

横濱市鶴見區鶴見町五四一
電鶴見二〇〇六



略歴 明治二十六年七月横濱市ニ生ル、縣立横濱第一中學卒

業○市會議員、同參事會員、鶴見土地經濟報國會長、又神奈川
縣地代家賃委員、都市計畫委員タリ、横濱地方裁判所調停委員
大政翼賛會横濱市協力會議員、横濱市史料調査委員、鶴見耕地
整理組合長、鶴見工業青年學校教育後援會長、内閣興亞院委員
タリ、大東亞省委員被仰付、翼政會政調商工、厚生兼務委員ニ
指命サル○當選一回（21）

政見 大東亞共榮圈建設の基礎たる、我が國防國家體制の經
濟的基礎の構造は、既に確立して如何に之れを效果的に、能率
的に、充實運營せしむるかに到達してゐると申すべきでありま
す、然るに、この新しい經濟體制の下に於て、更に強力に國民
を政治的に指導し、且つ動員する政治の體制のみは、取り殘さ
れて居る憾みが存するのであります、東亞の中核體としてその
指導役に任ずる我國としては、一日として我が國內政治體制の立ち遅れを忽せにする譯にはならない
のであります、茲に、我が現下の時局に於て、最も緊急を要する國防生産力の擴充、戦時經濟の確立
國民教育の振興、國民體育の向上、地方自治政の刷新、地方政治性の確立、國策に順應する處の國民
生活の改善、文化政策の徹底、政治教育の普及、科學の進歩工業の發達等々強力に遂行し、大東亞の
指導的地位を確立するには政治力の強化を圖る事であると信じます。

翼賛議員銘鑑（さノ部）

一七九

翼賛議員銘鑑(さノ部)

一八〇

栃木縣第一區選出
辯護士

佐久間 渡

宇都宮市新石町一四九二
電宇都宮二〇二八
本郷區湯島天神町一ノ六
八花水館電下谷三三五〇六



し、大政翼賛の實を擧げると共に、政府安んじて、それらの人々と國政を議する、斯る態勢の實現こそが翼賛議會體制そのものであります。また、斯る態勢を創り出すために、清新なる人士を議會に送り出すところに先般の選舉が必要とされたと堅く信じて疑はないのであります。

略歴 明治二十六年九月栃木縣那須郡小川町ニ生ル、明治大學法科專門部卒業○辯護士開業、宇都宮市會議員、栃木縣會議員、市會議長、縣會議長ニ選ハル、大政翼賛會縣支部顧問、翼政會政調内務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 現下の時局に於て最も速かに實現せしめなければならぬ國策は政治力の強化を圖ることにあります。この政治力の強化とは、申すまでもなく、翼賛政治體制の確立に他ならないのであります。従つて、その基礎をなすものが、翼賛議會そのものである。従つて、今日最も急務とするものは、この翼賛議會の確立にあると信じます。即ち、翼賛議會は帝國憲法の條章を恪遵し、各界、各層を代表する議員を以て構成されなければならぬこと勿論でありまして、それらの人々を通じ、民間の創意と民意が國政の上に反映せしめるように致さねばならないのであります。かくして議會は下情上通の機能を果しつゝ政府に協力

兵庫縣第五區選出
やまとむすび主宰

佐々井 一 晁

四谷區笹筒町五五
電四谷五六二一



永遠の平和を招來し新文明の樹立創建を期す。

四、國內經綸に於ては、皇道維新の見地から、政治經濟、産業、教育、社會制度等々の徹底的革新を斷行すること。

五、大東亞戰爭敢行の殊勳により國民の感謝感激を荷ふ東條内閣は、同時に大東亞戰爭の目的完遂の責任をもつ内閣なるが故に全國民は擧げて内閣を積極的に支持激勵し、以て其大任に當らしめる。

翼賛議員銘鑑(さノ部)

一八一

略歴 明治十六年二月兵庫縣ニ生ル○著述業ニ従事ス、曩ニ

大日本黨ヲ組織シコレヲ主宰、後やまとむすびト改組改稱シテ

コレヲ主宰ス、翼政會事務局參與、政調連絡、陸軍兼務委員ニ

指命サル○當選一回(21)

政見 一、大詔の聖旨を奉戴、大東亞全域にわたる完全制覇

と米英の完全屈服を期して、最後段階まで戦ひ抜くこと、斷じて

中途における米英其他敵性國家との妥協を許さず、

二、大東亞の經綸には、指導國家として皇國日本が中心に立

ちて各民族を解放し、政治、經濟、産業、金融、貿易等の一元

的建設、教育、思想、文化等々の綜合的一元的建設、かくして

そこに皇道經綸を行ひ、皇道を指導原理とす。

三、世界政策には、日獨伊三國の政治經濟軍事同盟を基幹と

し、この東西二大勢力の協力による世界新秩序を創建し、以て

翼賛議員銘鑑(さノ部)

一八二

茨城縣第三區選出
勳三等 會社重役

佐藤 洋之助

茨城縣猿島郡古河町
電古河五五



略歴 明治二十七年七月茨城縣猿島郡古河町ニ生ル、慶應義塾ニ學フ○町會議員、茨城縣會議員、同副議長、營業稅、營業收益稅並所得調査委員、農山漁村臨時救済資金審査委員、酒類醬油問屋業ヲ營ム、茨城毎日新聞社顧問、茨城急行自動車株式會社取締役社長、土井藩主ノ創設ニ係ル盈科學校ノ經營ニ當リ其ノ校長、大日本武徳會弓道教士、大政翼賛會政務調査會委員同茨城縣支部顧問、茨城縣選舉肅正委員會委員、拓務省委員タリ、大東亞省委員被仰付、南洋、比律賓、支那方面ヲ視察ス、「南洋を語る」其ノ他ノ著書アリ、翼政會政調理事ニ指命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 私は昭和七年以來今日まで滿十箇年衆議院議員として國政に當つてまゐりました、此の間日本は上海並に滿洲事變、聯盟脫退、支那事變、更に大東亞戰と相次で重大なる問題に直面して此の十年は全く一世紀にも等しい大變化が有つたのであります、私は之の一大飛躍發展の國政に立つて大なる體驗を得ました、之の政治上の體驗を基礎といたしまして新なる心構へを以て兵隊さんの氣持となつて聖戰貫徹翼賛政治達成の爲めに挺身御奉公申上げたいと只管念願致しております。國內諸問題に就いては政府を信頼して打つて一丸となつて世界新秩序建設の爲め勇往邁進あるのみと信じます。

新潟縣第二區選出
公吏

佐藤 芳男

新潟市二葉町三ノ五九二九
下谷區入谷町二〇一八幡
堂別館電根岸七-一六



略歴 早稻田大學政治經濟科卒業○新潟縣會議員當選、龜田町長、新潟縣町村長會長、龜田町農會長、中蒲原郡教育會長タリ、厚生省委員被仰付、翼政會政調内務、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 一、詔勅奉戴 國是遵奉

二、東條戰時内閣支持

三、翼賛體制は盲從體制に非ず政府の政策については検討の上是正建言に努む、盲從は眞の協力に非ず

四、外交は政府に一任

五、内政は可及的秘書主義を排し明朗たるべし、大東亞共榮圈内の政治は内政と看做す。

六、政治には涙を要求する、特に戰爭完遂に絶對必要なる諸統制の強化推進に當りては法の強權のみに依るべきに非ず、戰爭は血だ、増産は汗だ、商賣は脂だ、政治は涙だ。

七、政治の先行、政治はすべてに先行すべし政治が、事務に左右せらるべきに非ず。
八、政治的情熱の注入 法案の審議豫算の協賛行政の監督民意伸暢に當るべき議會人に概ね政治的情熱なきを遺憾とする。

秋田縣第二區選出
會社重役

齋 藤 憲 三

目黒區三田三五
電大崎四九四八



略歴 早稻田大學商科卒業○東京電氣化學工業株式會社ヲ創立シ同社々長トシテ現在ニ至ル、厚生省委員被仰付、翼政會政調商工、大東亞兼務委員ニ任命サル○當選一回(21)
政見 大東亞戰爭の完遂、之れは今次の總選舉に際し選舉民に固く約束した所である、大東亞戰爭の完遂には
第一、内銃後の護りを完璧にし、外出征の將士をして後顧の憂ひなからしむるに在り、

第二、占領地の人的物的、資源を遺憾なく大東亞戰爭に動員協力せしめつゝ占領地建設の歩を進むるに在り、

第三、明治以來我が國は戰爭に勝つて外交に負けた、今度は其の歴史を繰り返してはならぬ、殊に東亞のことは東亞で處理すべく戰後何人の干與も容喙も許してはならない、今から用意して苟も他に乘ぜられるが如き隙を作り又機會を與へぬ様にす

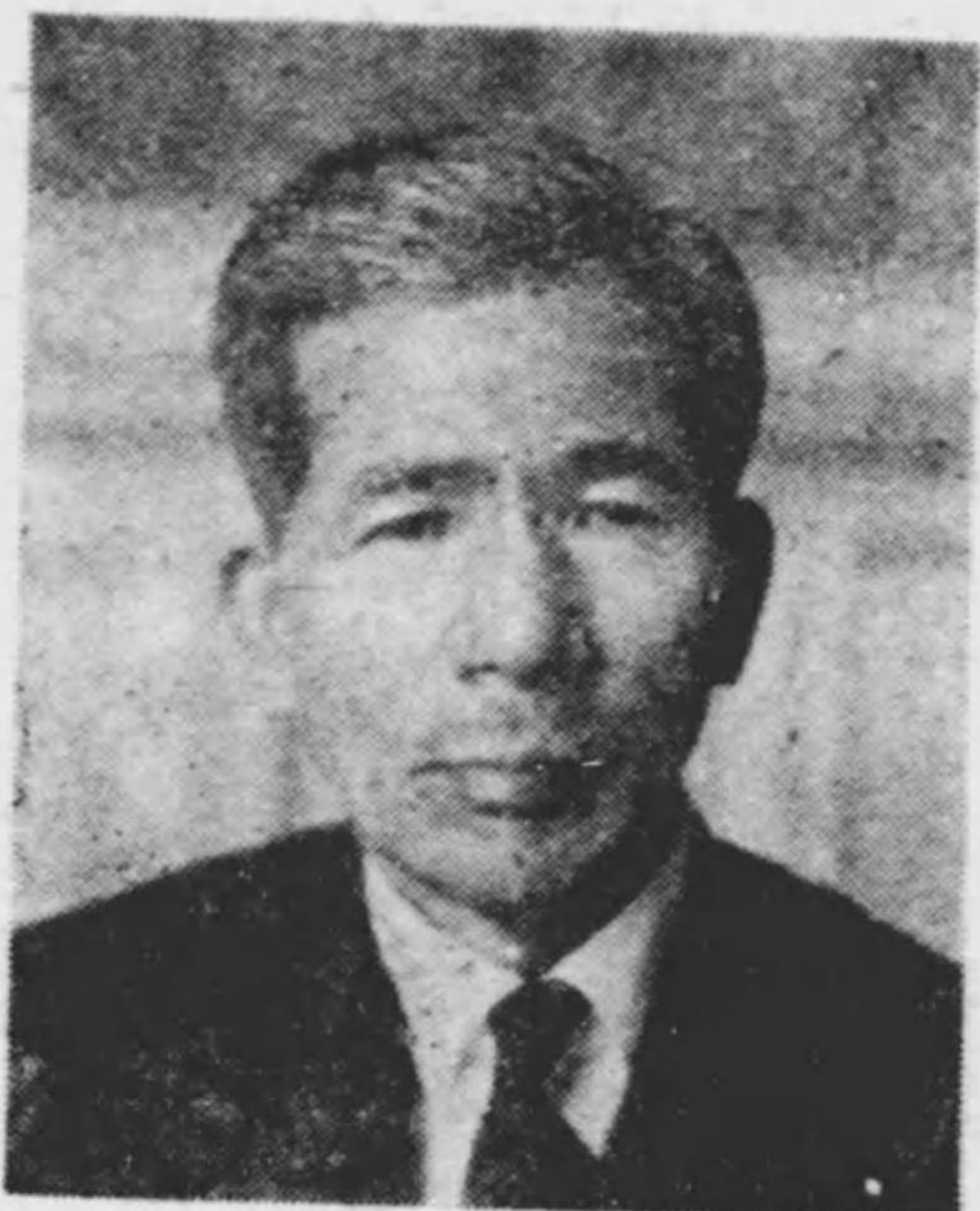
るに在る、近代戰は單に武力戰ではない、國民の總力戰である、官民、文武何れの部面にも恣意や獨善があつては一億一心鐵石の團結は出来ない、廟堂の諸公は深く民心の歸趨を察して政治の大本を定め官吏諸君は民情を知り、民聲を聽いて施政の局に當り、獨善に陥らぬ事、

斯くて始めて舉國鐵石の團結は成り、最後の勝利は得られ、八紘爲宇、肇國の理想は顯現するのである、此處に至つて大東亞戰爭は完遂されるのである

兵庫縣第五區選出
從四位勳三等(旭)辯護士

齋 藤 隆 夫

品川區北品川町三ノ三三二
電大崎一二四一



略歴 明治三年八月兵庫縣出石郡室埴村ニ生ル、早稻田大學卒業後米國エール大學院卒業「帝國憲法論」「比較國會議論」「憲法及政治論集」「迷想的陪審制度論」等ノ著アリ○第十八回列國議會同盟會議、萬國議院商事會議ニ參列ス、衆議院議員選舉法調查會、臨時法制審議會臨時各委員、法制局長官、再度内務政務次官ニ被任、都市計畫中央、勞働保險調查會、中央衛生會、法制審議會各臨時委員、失業對策、米穀統制調查會、衆議院議員選舉革新審議會、瓦斯事業、保健衛生調查會、神社制度調查會、國立公園、阿片、藥業振興、議員制度調查會、議會制度審議會各委員、鐵道會議、土木會議員被仰付、翼政會政調内務、大藏兼務委員○當選十回(11 12 13 15 16 17 18 19 20 21)

政見 建國以來未曾有の大業を完遂せんとするに當りては國家の有ゆる要素を擧げて其目的達成に集中すべく、政治、經濟其他一切の新體制に起因す、然れども如何なる新體制も立憲的基礎の上に建設せらるべく、之れを逸脱する體制は砂上の樓閣に均しく大風一過立處ろに崩壊すべし、帝國憲法は立法、行政兩權の獨立を確保す、政府、議會各々其獨立を堅持して互に相侵さず、與へられたる權能を發揮しつゝ渾然融和する所に立憲の要義儼存す、此理念を離れて翼賛議會なし、吾人議會政治家は深く茲に意を用ひ、能く立憲の神髓を體して其運用を誤らざらんことを期すべし。

翼賛議員銘鑑(さノ部)

宮崎縣選出

齋藤正身

宮崎市南廣島町二ノ一三
電宮崎一五〇
神田小川町三ノ二〇
名館分店電神田一一三〇



一八六

略歴 明治三十二年十二月宮崎縣宮崎市住吉村ニ生ル、東亞同文書院卒業○滿洲國國務總理祕書、滿洲日報顧問、宮崎縣多額納稅者、多年支那大陸ニ活躍シ滿洲國創業ニ盡力ス、翼政會政調内閣委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 一、國民生活の健全合理化に關する國家施設の確立即ち國民生活の全面的刷新を圖り、科學思想の普及實踐を添加して生活の最低限度を確定し之が確保を保證さるべきである。

二、國民教育の徹底向上を期する國家施設の擴充整備、即ち光輝ある國家の次代を負擔すべき國民は更に高等教育と文化とを把持すべきであり、而して機會均等的に之を國民全般に付與するの大計を希求する、

三、國民體位の向上進展を期する厚生施設の國策具現即ち、戰時國民生活が萬一國民の體位低下を見るに至りては角を矯めて牛を殺すの愚である國家は常に此點を留意すべきであらう。

四、經濟機構の整備統制を完璧ならしむる國家施設の急速確立即ち物價政策、配給改善増産計畫と睨み合せて運輸系統の刷新上轉業對策としての南方政策を研究すべきである。

五、國と縣との連絡を緊密ならしむるべき職任の達成、即ち中央集權化と共に地方事情の上通は緊要となつた。

鳥取縣選出
會社々長

坂口平兵衛

米子市尾高町六六
電米子八
麴町區内幸町帝國ホテル
電銀座三一五一



略歴 明治三十九年二月十五日米子市尾高町ニ生ル、明治大學政治經濟科卒業○坂口獎學館長、米子市農會長、鳥取司法保護常務委員會參與、米子商工會議所會頭、大政翼賛會鳥取縣支部常務委員、鳥取縣翼賛壯年團長、柔道三段、日本製紙會社々長、米子銀行頭取(山陰合同銀行取締役)中國配電株式會社相談役、農林省委員被仰付、翼政會政調大藏、内務兼務委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 國內新體制を完成せしめるには先づ經濟新體制を必要とし、經濟新體制を確立するには、官界新體制を要求致し是等すべての新體制を確立するには絶對的に政治の新體制を決定致さねばならぬのであります、

時局の重大性は今後もしよ／＼重大化して來ると思はねばなりません、アンダロスaxon民族も此のまゝ手を拱いて滅亡を待つとは考へられません、それに對處するために東亞共榮圈民族を指導し内は國內體制を整備擴充して搖ぎなき大日本帝國を建設せねばならぬ大責任が一億國民の双肩にかゝつてゐることを判つきりと自覺せねばなりません、

日本及日本人には米英打倒の後には世界新秩序の指導者とならねばなりません、此の責任は肇國の大理想である八紘爲宇の大精神を顯現することに依つて果されると私は信じて居ります。

翼賛議員銘鑑(さノ部)

一八七

静岡縣第三區選出

坂下 仙一郎

淀橋區柏木五ノ一〇一九
電四谷六五六〇
静岡縣濱名郡雄踏町淺羽
電宇布見二五



略歴 明治九年十一月静岡縣濱名郡雄踏町ニ生ル〇小學校訓導、町會議員、縣會議員、濱松自動車組合長、縣自動車事業組合副會長、同交通安全協會副會長、日本乗合自動車協會理事、濱名郡水産會評議員、同郡養鶏組合評議員、同出荷組合聯合會長、縣水産評議員、同茶業組合評議員、同聯合會議員、所得調査委員、雄踏町長ニ就任三回、濱名郡養鶏組合長、同郡農會長、同郡畜産組合長、翼政會政調鐵道、農林委員ニ指命サル〇當選三回(192021)

政見 生産力擴充のためには、政府の行ひつゝある総合的計畫經濟の圓滑なる運用に俟たねばならないが、どうしても民間に於て酸いも甘いも噛み分けた苦勞人の經驗と創意とが充分に活用されて政策が圓滑に運用されなくてはなりません。此の民間の經驗と創意に基く意見を充分に政府に注ぎ込む途は、帝國議會以外にありません。下意上通が眞に效果的に強力に出来るのは帝國議會のみであります。戦時に於て最も心すべきは食糧の確保であり。戦の最後の勝敗を決するものは寧ろ食糧であると云ふことは時の古今、洋の東西を通ずる不動の鐵則であります。従つて如何なることがあつても農村が疲弊したり農家を破綻させではならない。其の爲には農村の實情に通じた者が議會に於て、農村問題に就て政府を激勵し且つ政府を推進して萬全を期さなくてはならぬ。

東京府第七區選出
勳四等拓殖大學教授

坂本 一角

本所區向島請地町六四
電墨田二三五〇



略歴 明治三十年東京府西多摩郡檜原村ニ生ル、日本齒科醫學專門學校卒業、明治大學法科修業〇日本大學學生監兼講師、東京高等拓殖學校長、拓殖大學教授、大日本武德會教士、滿洲移民情況ヲ視察、南洋諸島支那方面政治經濟事情ヲ視察、南北米、歐洲、アフリカ方面ヲ視察ス、市會議員、市青少年團常任審議員、翼政會政調大東亞外務兼務委員ニ指命サル〇當選四回(16171821)

政見 今日之戰爭は機械化戰であり、毎日莫大なる戰鬪機材が消耗されつゝあるが、この消耗された飛行機、戰車、大砲、機關銃、彈丸、其の他凡ゆる軍需機材を新しく銃後に於いて生産し、直ちに戰場に輸送せねばならない。この軍需關係の生産擴充、即ち國防生産力の充實強化が、戰爭遂行上絕對不可缺の重要問題であり、必然的に日本の國內體制も此の戰爭完遂の一重點に集注されるのであります。従つて、産業再編成、中小商工業者の轉廢業企業合同、統制の諸問題はこれ皆、聖戰完遂の至上命令であつて、我々の日常生活に於いても、凡ゆる不便、不自由を忍ばねばならないのであります。我々が大東亞戰爭を勝ち抜く爲には、只管大御心を奉戴し、己れを慮はらずに上御一人に歸一し奉り、一億一心、必勝不敗の信念を以て、國內體制を強化し軍官民一體となり、振古未曾有の國難を突破し大東亞共榮圈を確立し東亞拾億民族を指導して行かねばならぬのである。

埼玉縣第二區選出

坂本 宗太郎

下谷區上根岸八二
電四谷六五六〇



略歴 明治十七年十二月埼玉縣秩父郡横瀬村ニ生ル、東京高等工業卒業○織物工場ヲ經營、横瀬村會議員、秩父織物工業組合理事長、工業組合中央會理事、埼玉織物聯合會會長、埼玉實業協會會長、埼玉染絨、三共自動車、秩父織物整理各社長、秩父會館長、坂善青年學校長、大政翼賛會埼玉縣支部顧問、大日本防空協會縣支部評議員、商工省委員被仰付、支那事變ニ際シ北支那蒙古ノ皇軍ヲ慰問、翼政會政調商工、大藏兼務委員ニ指命サル○當選二回(20 21)

政見 御稔威の下我皇軍の戦果は陸海空に雄渾壯大にして世界史上その比を見ざる處である、たとへ前線に立たねど我等は皇恩の萬分の一に酬ゆるため一死報國の誠を捧げいさゝかたりとも前線將兵に劣つてはならない、聖戰の完遂に高度國防國家の建設が最緊要事であるがそのためには次の諸策を必要とする

- 一、政治機構においては、協力體制の再編成、内閣、議會、行政の機構を一新すべきである
- 一、生産機構においては、科學の普及向上、技術と勞働力の充實に依る生産力の擴充増強
- 一、經濟機構においては、一元的産業政策の再吟味、軍需及重要産業國家管理の強化平和産業における統制の再檢討
- 一、國民教育においては、劃一的個人、自由主義の弊風一掃祖孫一體の臣道觀に立脚する臣格鍊成

兵庫縣第二區選出
著述業

坂本 勝

東京市牛込區北山伏町二八
電牛込二一六八



略歴 明治三十二年十月兵庫縣ニ生ル、東京帝國大學經濟學部卒業○新聞記者、阪本眼科医院ヲ經營、兵庫縣會議員、同副議長ニ舉ケラル、翼政會政調厚生、大東亞兼務委員ニ指命サル當選一回(21)

政見 長期戰を遂行するには、國民生活を確保しなければなりません、戰時生活の確保とは、生活内容の向上を意味するものではありません。生活を脅かす、不安を一掃することです、

第一に衣食住殊に食糧などの不安を除かねばなりません、そのためには切符制度を一層合理化し、配給の仕組を整備し、および必要なる消費に關しては絶対に不安なからしめるべきであります。

第二に仕事の不安を除かねばなりません、即ち何人も自分の職場で御奉公をなし得るやう、その營むところの仕事に對して

不安を感じしめないやうにすることが肝要であります、
第三に一切の苦樂を國民全體が共にするといふ建前を造るべきであります、喜びや苦しみが一方に片よつてはなりません、いかなる困難があつても、我々はこの大戰爭に勝たねばなりません、政府が唱へて國民がこれに和し、政府と國民との間に寸毫の隙もない體制を造り上げねばならないのであります。

翼賛議員銘鑑(さノ部)

福井縣選出

酒井利雄

小石川區新諏訪町一六
電小石川五三

一九二

略歴 明治二十四年七月福井縣ニ生ル、土木建築請負業ニ従事ス、多額納稅者、飛鳥組取締役、翼賛政治會政調鐵道、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 改革の堅實なる一途は各人が各自を完成するにあるのでありまして、上は總理大臣から下は官民の全員に對して箴と爲すべきものと思ひます、上杉鷹山公も、人民は國家に屬したる人民にして我が私すべきものにあらず、と道破されてゐる、此の心が即ち大政翼賛の心であり國家總力の理念でなければならぬ、政治家も民衆を私してはならぬ、民心を凝集し政府に協力して行ふ政治、それが議會人に與へられたる責任であり、國家に忠實なる議員であり、而して國民の總意によつて動く公僕の職責であると信ずるものであります。

必死必殺の闘魂、それは敢て第一線勇士のみの心でなく、國民の悉くが抱く獻私奉公の鐵火の意氣でなくてはならぬ、此の心を心とし、國民をして長期に亘り倦むことなく逞しき不撓不屈の精神を以て其職域に奉公せしむることが、是れ大東亞戰爭遂行下の政治の根本義でなくてはなりません。不肖は此の國民の心を議會に反映せしめ、此の心を體して政治運営に遺策なからんことを第一義とするものであります。



廣島縣第三區選出
正五位勳三等辯護士

作田高太郎

京橋區京橋一ノ二
ビル四階電京橋四七七五
藤澤市鶴沼二九三七
電藤澤三八一



略歴

明治二十年五月廣島縣沼隈郡藤江村ニ生ル、中央大學卒業○辯護士ノ業務ニ従事ス、常磐採炭、日英醸造、大日本醸造、千代田毛織各取締役、文部參與官、文部政務次官、國語審議委員會、體育運動審議會、臨時ローマ字調査會等各種委員會委員被仰付、大藏省委員被仰付、翼政會政調司法省別委員長ニ指命サル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 大東亞戰爭は宣戰の布告大勝利、媾和談判と言ふが如き從來の形式とは全く異り、戰爭と建設の二面的性格を有するが故に戰爭の終局的目的たる大東亞共榮圈の建設を完成するまでには非常なる長期の努力を必要とするのである、最後の段階に達した米英はソ聯と同盟を結んだのであるが来るべき日に米英赤化の混亂が全世界に如何なる重大影響を與へるかは想像に絶するものがあらう、支那を赤化より救ふべく共同防共を第一義的に主張し來れる帝國の東亞建設事業の規模が如何に重大にして深遠なる意義を有するかは此等の點よりして明かであらう。支那事變の終局的解決が大東亞共榮圈の建設に至大の意義を有することが理解されと思ふ、米英敗戦後に來るべき赤化混亂についても豫じめ充分なる對策を考慮して置くことの如何に緊急であるかを警告しておきたい、只我等は如何なる困苦缺乏にも耐へ鐵石の大勇猛心を奮ひ起して邁進あるのみである。

翼賛議員銘鑑(さノ部)

一九三

翼賛議員銘鑑 (きん部)

一九四

石川縣第二區選出
正五位勳三等(旭)

櫻井 兵五郎

麻布區廣尾町三五
電三田六〇八



略歴 明治十三年八月石川縣鳳至郡柳田村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○縣會議員、日本タイプライター株式會社社長、北陸毎日新聞株式會社社長、商工參與官、拓務政務次官、雪害對策調査、臺灣總督府熱帶産業調査會、南洋群島開發調査又簡易生命保險積立金運用、南洋拓殖株式會社設立、製鐵事業北支那開發株式會社及中支那振興株式會社設立等外各種委員會委員被仰付、ビルマ方面陸軍軍政部最高顧問、翼政會政調大東亞委員ニ指命サル○當選九回(12補12 13 16 17 18 19 20 21)

政見 邦家の現狀に就て政治運用、經濟企畫、社會生活共に國家的の緊切要求に即應せしめ、其の機能の發揮を一元的に高度化し、其の能率を高めなければなりません。斯くすることに よりて始めて米英を完全に擊破し得るのであります。國家要求に即應せしむると云つてももとより我國の大切なる政治原理を動搖せしむる意味はありませぬ、亦經濟、企畫と云つても發展原理を度外しては能率の期待出來ぬことは云ふ迄もありませぬ。之を要するに今日戰に勝つために凡ゆるものを綜合的に且つ合理的に能率化せねばならず國民諸君の覺悟も、もとより其の點に遺憾なしと思ひますが、只政治方策の誤りと、行政技術の不練不明等の爲めに起る惡結果は忍び得ず且つ戦力強化の上よりしても深く恐れらるゝことであり國民は議會機能を通じ政府と一體關係に於て之等の點に誤りなきを期されねばならぬと思ふ

島根縣第一區選出
從三位勳一等會社重役

櫻内 幸雄

芝區三田松坂町三四
電高輪二〇六五



略歴 明治十三年八月島根縣能義郡廣瀬町ニ生ル、早稻田大學卒業○支那興業、岡山水電、日本電燈、利根水力、揖斐川電氣、東北紡績、相模電力各會社社長、桂川電力、北海道製鐵、桂川電氣興業、北海道炭礦汽船、琴川電力、朝鮮新聞社、相模紡績各會社重役、商工大臣、農林大臣、大藏大臣、國際貸借審議會委員等被仰付、第二十回列國議會同盟會議ニ參列ス、翼政會評議員、大藏委員ニ指命サル○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 昭和十六年十二月八日米英宣戰の大詔煥發せられ日本は空前の大飛躍をなしたのである御稜威の下悠久二千六百年の間蘊蓄し陶冶し來つた日本精神文化、思想、經濟實力は此處に發揮され、忠勇なる將士の力戰に依り世界未曾有の戦果を挙げた。今や日本國民は無名の英雄となつて此の戦果の上に大東亞共榮圈を築き上げ、鴻業を翼賛し奉るの光榮を有するに至つたのである、大東亞戰爭の特質は日清、日露の兩戰役と甚だ趣を異にしてゐる年を追ふて物質が不足し國力の消耗を來すが如きことがあつてはならぬ、本年よりも明歲が國力推進し物資は豊富となり戦ひつゝ年と共に國家の總力を増大して以て世界大亂に處して最後の勝利を贏ち得るのである。

翼賛議員銘鑑 (きん部)

一九五

大阪府第五區選出
國粹同盟總裁

笹川 良一

本郷區駒込蓬萊町六六
駒電込二九一四
豊中市大字新免八五三
電豊中四〇二一



つゝある傾向に鑑み「支那事變を忘るゝ勿れ」と私は朝野に叫びたいのである、尤も是は誰もが思ひ
誰もが云ひ、そして誰もが判つてゐる事でありながら、いつの間にか、南の戦果に酔はされて切實な
現実感より非常に遠く離れてしまつてゐるのである、そこで私は此觀點に立つて、日支一體化を理想
とする大陸政策の確立と其の實現に向つて、私の政治的行動を捧げんとするのである

略歴 明治三十二年五月大阪府三島郡豊川村ニ生ル○飛行機
事故ニヨル傷痍軍人トシテ恩給ヲ下賜サル、國粹大衆黨總裁ニ
就任後、國粹同盟ト改組改稱、國粹義勇飛行隊ヲ創設シ隊長ト
ナル、純國産飛行機ニテ國民使節トシテ獨伊兩國ヲ訪問、北京
北方中學校名譽理事長、佛印派遣軍囑託、其他會社重役ヲ兼任
商工省委員被仰付、翼政會政調商工委員○當選一回(21)

政見 破壊と建設を併行する二面的性格を持つた大東亞戦争
の困難さは云ふまでもないが、特に支那問題が一番厄介である
支那事變は大東亞戦争の中に含まれて呼ばれる事になつてゐる
が、私は日英米戦争は支那事變に始つたものであり又支那事變
に終ると考へてゐる、大東亞戦争の二面的性格が如何に發揚さ
れ如何に有終の美を結ぶかも、結局支那事變が如何に處理され
如何に結實するか依つて岐れるのである、然るに南方の赫々
たる戦果を見て、國內の凡てが支那に對する關心を忘れんとし

福井縣選出
著述業

薩摩 雄次

淀橋區百人町三ノ三三七三
電四谷六四一



略歴 明治三十年十二月福井縣大飯郡本郷村ニ生ル、柘殖大
學卒業、京都帝大ニ學ブ、支那北京大學ニ一年半在學ス○軍屬
トシテ西比利亞ニ出征、印度、佛印、比律賓ノ各獨立運動ニ參
加ス、支那事變ニ際シ陸海軍囑託トシテ活動ス、獨逸ヲ視察ス
國民新聞記者トナリ編輯局長、主筆トナル、拓大教授「支那の
生態」政治の人格化「蒙古横斷記」他多數ノ著書アリ、翼政
會政調大東亞委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 世界政策の根幹として 大日本帝國の世界的使命を自
覺すると共に世界思想の歸一、民族問題の解決、國際條約の大
改正世界經濟の再編成、戦争原理の確立を考慮し日本の衆智を
集合し結合して世界日本の使命に邁進すべきであり、更に國內
政治の革新策としては、此の重大時局において尙時局認識の不
足する奴のあることは遺憾であるが、政治的の革新と經濟的刷

新を行ひつゝ國民の教育制度を改善し且國民の鍊成を行つて國民思想の改善に努め大東亞戦争完遂に
ふさはしき政治と人間の養成を爲すべきである、殊に生産力増大の上から勤勞の歡喜化、勤勞の國家
意識化、勤勞者の生活保證、轉業の圓滑化、南方轉出の簡易化、職業指導等は忽せに出來ぬ問題であ
らう。

北海道第一區選出
正五位 農業

澤田利吉

本郷區駒込千駄木町一七〇
札幌市豊中水車通
電札幌一九四一



ろであります。國民政治力結集のためには、議會の翼賛體制の確立が必須の要件であつて、議會に國民の意志が正しく反映して始めて、政治力は強化され、外交、産業、經濟、文化等の諸部面を推進することが出來、高度國防國家體制の整備がなし得られるのであります。

東京府第五區選出
正四位勳二等功五級 陸軍中將

四王天延孝

世田谷世田谷二ノ一四三
三 電世田谷三三六七



これでは到底長期戦を戦ひ抜くことは出來ぬと思ふから、是非とも議會政治も天の安の河原の神ばかりの様に神聖なものと思ひ、國民の信頼を得るやうに努めたい、又世界動亂の原動力たる米英は國際秘密力の活動によつて國際戦争を仕組むのみでなく國內抗争も仕かけて來るであらうから國民は火の玉と結束して行かねばならぬ。

略歴 明治十二年埼玉縣ニ生ル、陸軍歩兵少尉ニ任官、日露戦争ニ出征鴨綠江會戰ニ際シ決死ノ偵察ヲ敢行シ、軍司令官黒木大將ヨリ感狀ヲ授與セラル、第一次歐洲大戰ニハ西部戰線ニ從軍シテ近代戰ヲ研究ス、西比利亞事變ニ際シテハ哈爾濱特務機關トシテ活躍シ思想運動ヲ研究ス、帝國陸軍代表、空軍代表、國際航空代表トナリ國際聯盟ニ派遣セラル、昭和四年現役ヲ退キ帝國飛行協會總務理事、大日本飛行協會理事トナリ、外ニ愛國團體ニ顧問理事、評議員トシテ關係ス、翼政會評議員、陸軍文部兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 私は今日まで國防問題や、航空方面だけでなく國體明徴の問題に力を注ぎ、神國日本の實現に努めて來たのでありますが大東亞戦争の開始以來、武力においては確に神國の實を擧げながら、國內の政治は武力に比して遙におくれてゐるので、

翼賛議員銘鑑（しノ部）

秋田縣第一區選出
會社重役

信太儀 右衛門

淀橋區戸塚町一ノ三七一
電牛込六五九五



二〇〇

略歴 明治十五年十一月秋田縣山本郡金岡村ニ生ル、札幌農
學校及早稻田大學政治經濟科ニ學フ○金岡村長、秋田縣會議員
ニ學ケラル、體育協會顧問、日本山岳會員、秋田魁新聞社監査
役、山本郡聯合青年團長、能代酒造株式會社々長、東北振興調
査會委員被仰付、朝鮮、滿洲、西比利亞、支那、南洋ヲ視察ス
支那事變ニ皇軍慰問ノ爲上海ヘ派遣セララル、内閣東北局委員被
仰付、翼政會政調内閣、大東亞兼務委員ニ指命サル○當選五回
(15 17 19 20 21)

政見 すでに大東亞共榮圈の確立が半ば成つた今日、わが國
は寒帯、亞寒帯、溫帯、亞熱帯、熱帯に亘つて豊富な資源を有
し、世界に於ける有數の「持てる國」となつたのであります。
この資源を料理するには、わが國民はもつと氣宇度量を宏壯に
して、八紘爲宇の家族的國家觀及び世界觀に基き、大いに經綸
を行はなければなりません。同時に、足許を踏みかためて、今日正面してゐる國難を克服しなければ
なりません。國內經濟の整備強化の如きは一つの經濟變革もしくは、國民再組織でありまして、結局日本
が飛躍發展するための一つの道程に外ならぬのであります。

群馬縣第二區選出
正七位勳三等辯護士

篠原 義政

大森區新井宿一ノ二三三
○電大森五三〇八



略歴 明治二十五年一月群馬縣碓氷郡八幡村ニ生ル、東京帝
國大學法科卒業○文官高等試験ニ合格ス、長野縣屬、東京府屬
内務屬、内閣軍需局事務官、國勢院書記ヲ歴任ス、辯護士ノ業
務ニ従事ス、選舉制度調査委員、絲價安定委員會委員被仰付
「日本はどうなる!」滿洲縱橫記」ノ著書アリ、内務省委員被
仰付翼政會事務局參與、政調内務、農林兼務委員ニ指命サル○
當選四回(18 19 20 21)

政見 今や世界の歴史は轉換しつゝある。亞細亞に於ては日
本が、歐洲に於てはドイツが、いま古き金の鎖を斷ち切りつゝ
ある、昨日までは金が資本が世界を支配した。今日からは腕が
頭腦が能力が世界を指導する。次の政治の目標に大變化が起つ
た。今までは國民生活の安定自體を政治の主要目標としたので
あるが、これからの政治は國家の最高目的、大東亞建設戰爭の
完遂の爲めに國民生活の安全を計ると云ふことになつて來た。智育德育の問題、國民體力能力の問題
に付ても同様であります。今までは國民各個の希望と必要に應じたものであります。今日以後は國
家の希望と必要に基いて、之が増進強化を計畫されるのであります。産業問題亦然り、金儲けの爲め
の振興ではなくて、國防生産力の最高度發揮の爲めの振興であらねばなりません。要は國家の總能力
をして最高能率を發揮せしめ、以て高度國防體制を確立するのであります。

翼賛議員銘鑑（しノ部）

二〇一

翼賛議員銘鑑(しノ部)

二〇二

千葉縣第一區選出
從四位勳三等

篠原陸朗

小石川區駕籠町九一
電大塚六五四八



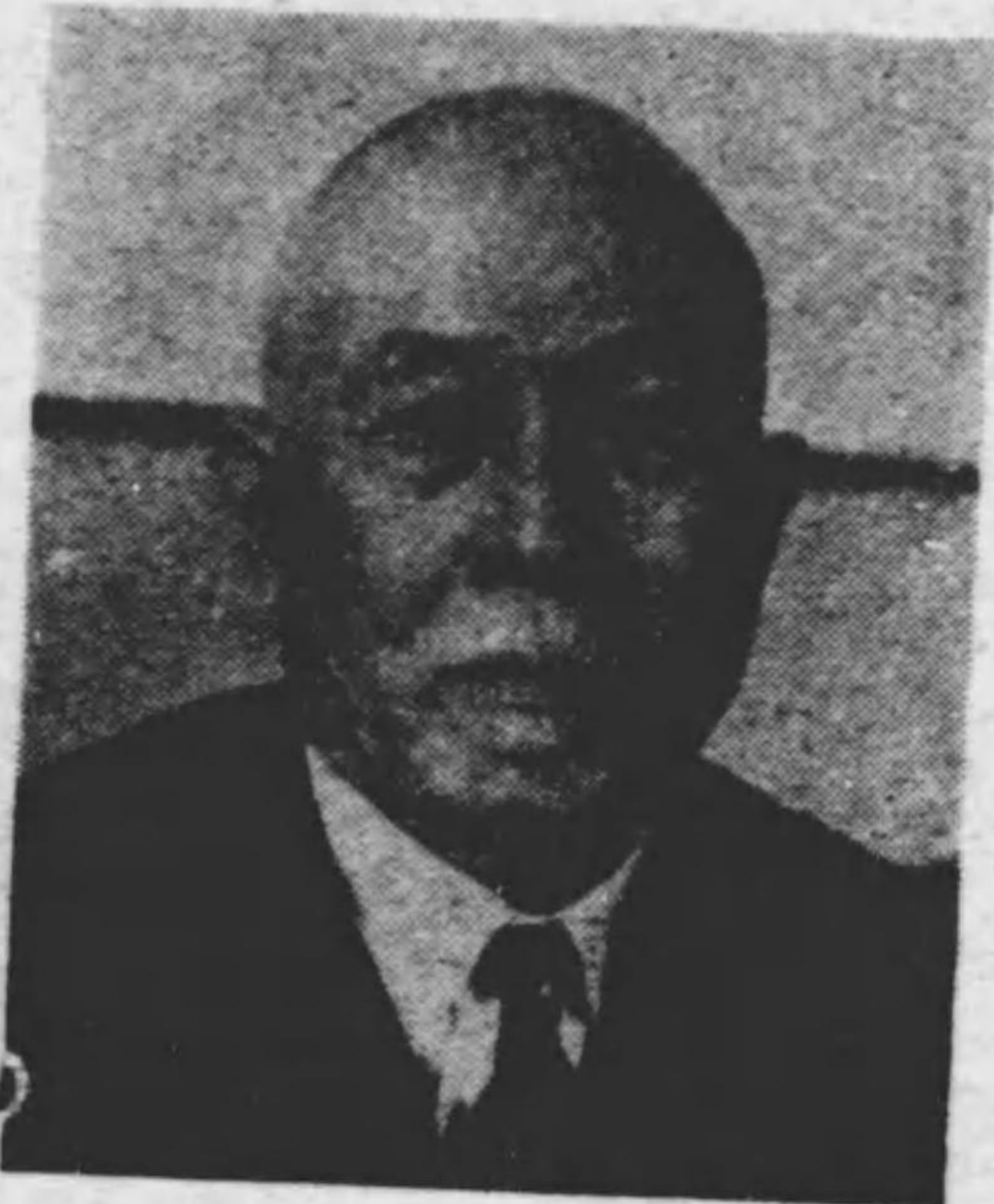
略歴 明治十六年三月千葉縣山武郡東金町ニ生ル、東京帝國大學法律科卒業○文官高等試験ニ合格、司法官試補、大藏屬、稅務監督局事務官、大藏省主計官、同書記官、長崎稅關長、熊本稅務監督局長ニ歷任、第三十四回列國議會同盟會議及第二十三回萬國議院商事會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス、翼政會政調大藏、陸軍兼務委員ニ任命サル、內閣委員タリ大東亞省委員被仰付○當選四回(17 19 20 21)

政見 長期戰に於ける絶對必勝の基礎となるものは、國民の盡忠報國の精神である。精神を飽迄尙ぶと共に國民の經濟力並に物資の方面をおろそかにする事は出來ぬのである。幸ひ南方に於ける資源は充分に確保されたけれども、之を開發し輸送し利用するには更に生産力の一大擴充を必要とするのである。綜合的計畫經濟の圓滑なる運用に俟たなければならぬが之が爲には厚き經驗と深き創意に基く意見を充分に政府に注ぎ込む途は、帝國議會以外にはない。眞の下意上達下情上通と云ふことが出来るのは帝國議會であると信ずる。兵農兩全の精神より觀ても、農業政策は改善と進歩に萬全を期せねばならぬ。又戰時に於て爲政者の最も心すべきことは銃後援護を擴充強化し之が完璧を期し、出征將士をして後顧の憂を絶對になからしめ、國內に於ける社會事業や厚生施設を擴充強化して國民生活に不安なからしむることが必要である。

島根縣第二區選出
從三位勳二等辯護士

島田俊雄

京橋區銀座西五ノ三
電銀座三五



略歴 明治十年六月島根縣伊賀郡淺利村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治學科卒業「自治制大意」「改正衆議員議員選舉法論」外數種ノ著書アリ○東京市教育課長、勸業課長兼臨時市勢調査局長心得、在職中英國ニ出張、早稻田、中央、日本、法政等各大學講師、又清國雲南省法政學堂講師ニ聘セラル、政治雜誌「明義」「王道」實業雜誌「實業時論」等ヲ經營、法制局長官、農林大臣ニ被任、衆議院議員選舉改正審議會、法制審議會、神社制度調査會、資源審議會、國有財産調査會、文政審議會、米穀對策調査會、教學刷新評議會、北海道拓殖計畫調査會等外各委員被仰付、日本競馬會設立委員長、支那朝鮮及米國ヲ視察ス、滿蘇國境方面ヲ視察ス、翼政會評議員、農林委員○當選九回(11 13 14 16 17 18 19 20 21)

政見 今や吾々は四年半の苦闘の結果對米英宣戰の大詔渙發を契機として最も峻險なる坂路を上り切り最も困難なる峠を越へて今迄ソレと判つて居ながら目に見得なかつた眞の敵に直面するに至りました、而かも其緒戰に於て早くも彼等の唯一の武器として墮斷せる大富源を我が制壓下に置く事に成功したのであります、然し乍ら長期戰は峻險であり脚下一步を誤れば千仞の谷に轉落するの危険があります、脚下を注意する事之が今度に對處すべき國民の覺悟でなければなりません。

翼賛議員銘鑑(しノ部)

二〇三

翼賛議員銘鑑（しノ部）

二〇四

群馬縣第一區選出
正五位勳三等 著述業

清水留三郎

瀧野川區田端町六〇九
電陶込二四〇



略歴 明治十六年四月前橋市ニ生ル、早稻田大學卒業後米國
ワシントン州立大學、同ミネソタ州立大學ニ學ヒ「マスター・
オブ・パス」ノ學位ヲ受ク、又北京ニ於テ支那語ヲ研究ス〇
關東産業新聞社長、上野新聞社事務取締役、上毛機械合資會社
代表社員、合資會社櫻組支配人、總動員補償委員會委員被仰付
萬國商事會議ニ參列ス、西比利亞、支那及ヒ南洋方面ヲ視察ス
外務省委員被仰付〇當選七回（14 15 16 18 19 20 21）

政見 大東亞共榮圈確立の爲には國內各般の整備は止むを得ぬ。戦争は一面に大消耗戦であり物資の缺乏を來すのである。然るに平和時代と同様自由經濟組織下に放任するとせば物價は暴騰し、資材は偏重し、生活は不安に人心は攪亂せらるゝのである。政府が低物價政策を堅守し、統制を強化する蓋し當然である。唯中小商工業の整理統合に伴ふ結果として、日本家族制度の運用無視となり月給取制度の採用となり、却つて能率低下を來しつゝある如き傾向に就ては再検討すべき必要がある。更に轉失業を不安なく解決せしむべき方途及閣取引を絶滅せしむべき對策等に就ては特別の處置を講ずべきである。又低物價政策は必要であるが稍もすると生産擴充と反比例し國防國家建設に悪影響を及ぼす恐れもある、故に低物價は適正物價に重點を置かしむべきである。

愛知縣第一區選出
會社重役

下出義雄

愛知縣知多郡旭村日長字
地王谷一 電岡田一三〇
麴町區永田町二〇一
電銀座四七七三



略歴 明治二十三年五月十二日名古屋市神戸ニ生ル、神戸高等商業學校及東京高等商業學校專攻部卒業〇愛知縣産業報國會常務理事、東邦商業學校及金城商業學校名譽校長、大同工業學校理事長、名古屋商工會議所副會頭、大同製鋼株式會社社長、昭和十二年政府ノ依囑ヲ受ケ經濟使節トシテ歐米ヲ視察ス、大政翼賛會愛知縣常務委員、同中央協力會議各界代表議員、大日本産業報國會本部理事、翼政會評議員、政調商工、内務兼務委員ニ任命サル、内閣對滿事務局委員タリ、大東亞省委員被仰付〇當選一回（21）

政見 從來とかく政治は所謂政治家に委せられてありました然し今日は、高度國防國家建設のためにも又今後の重大問題たる南方開發のためにも政治と經濟とは密接不可分となりました。従つて今後の政治は産業經濟を離れては成功せず又良き政治なくして生産の完全なる進展は望めません。

今後の國策は全く經濟力の上に立つものであります。大東亞戦争の遂行も、南方開發も、皆日本國內における生産擴充無くしては行ふことが出来ません。かうした大規模な、複雑した經濟策の樹立には、實地多年の經驗をもつ者の知識と體驗とを總動員せねば到底完全なもの出来ません。

翼賛議員銘鑑（しノ部）

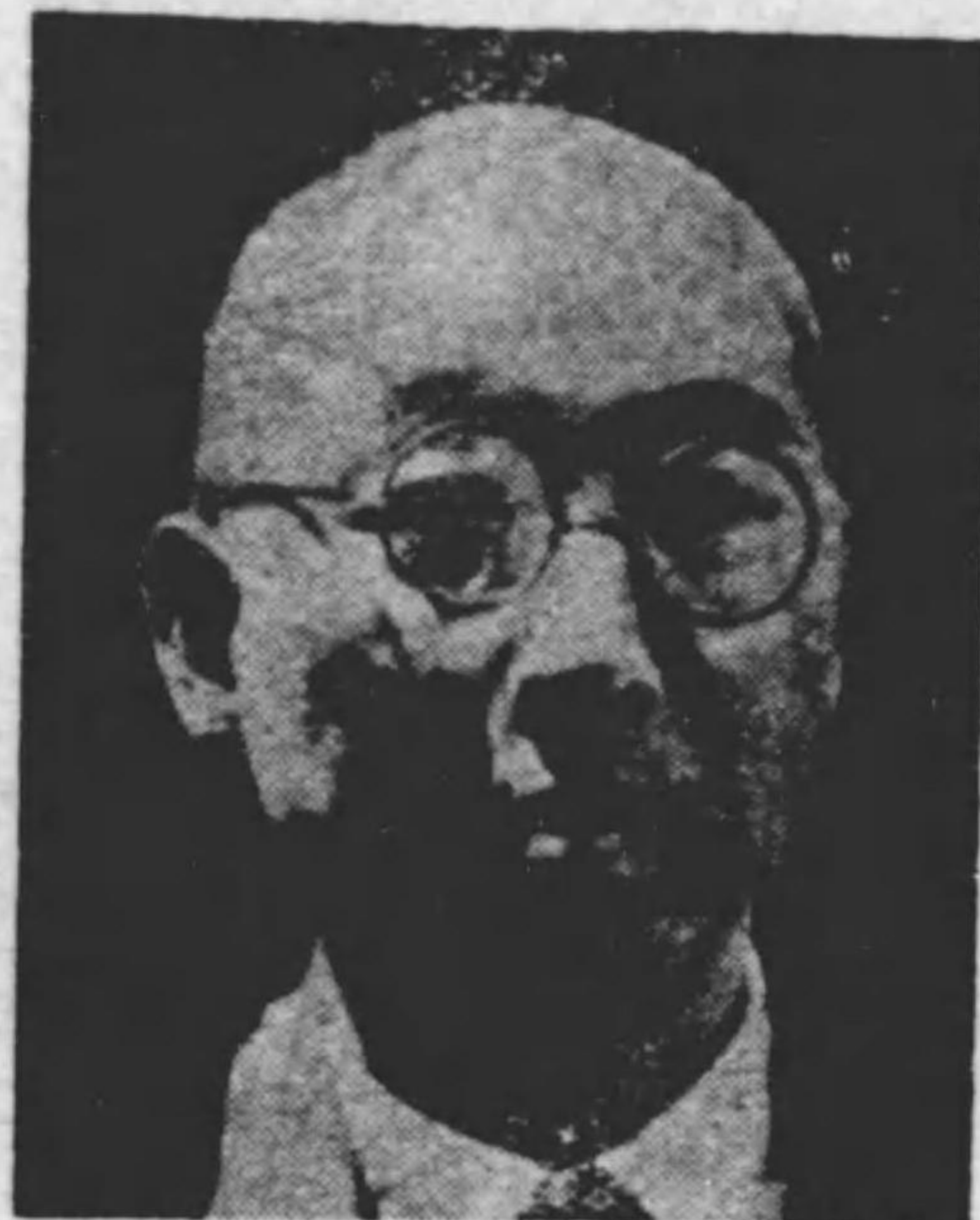
二〇五

翼賛議員銘鑑（しノ部）

宮城縣第一區選出

庄 司 一 郎

宮城縣柴田郡大河原町
下谷區仲御徒町四ノ一八
三幸館 電下 谷五〇七



二〇六

略歴 明治二十五年一月一日宮城縣柴田郡大河原町ニ生ル、東北學院中學部卒業、東京イースト・レーキ英語學校卒業〇仙臺日日新聞、東京新聞、國民新聞ノ各記者ヲ經テ仙南日日新聞ヲ創立社長トナル、月刊雜誌「新興東北」ヲ主宰ス、大河原町會議員同町長トナル、宮城縣會議員ニ當選、宮城縣町村長副會長、同縣町村吏員互助會理事、柴田郡畜産組合長、東北更生力行會等ノ地方公職多數ヲ經歷ス「自治町村ト公民生活」等多數ノ著書アリ、滿洲皇軍ヲ二度慰問ス、三回支那、蒙疆北支ヲ視察ス、昭和十二年ヨリ昭和十六年ニ至ル間約六百回ノ時局講演會ニ出席ス、翼政會政調文部、司法兼務委員ニ指命サル〇當選二回（2021）

政見 一、大東亞戰を完遂シ米英を屈服せしめ南方を開發シ大東亞をもつて大家族たる經濟政策を樹立すること

一、企業再編成によつて轉業對策を確立シ失業者轉業者を一人でも迷ふことなき對策を強化すべきこと
二、大東北の建設、東北地方が大東亞戰爭の遂行の要請に基づき高度國防國家體制の一翼として役立つやう大東北地方の工業化に努力したい、東北の明日は實に多忙なるものがあると思ふ。

兵庫縣第二區選出
正七位 辯護士

白 川 久 雄

兵庫縣洲本市内通町甲八〇
電洲本三四五
京橋區築地一ノ一六
館電築地二二三 六方



略歴 明治二十九年十月兵庫縣三原郡神代村ニ生ル、京都帝國大學法學部法律科卒業、〇陸軍法務官、洲本町長、兵庫縣會議員三選、全淡自動車株式會社取締役、洲本瓦斯株式會社監查役株式會社洲本鐵工所社長、大政翼賛會洲本支部顧問、翼政會政調陸軍、厚生兼務委員ニ指命サル〇當選一回（21）

政見 祖國は支那事變を経て、大東亞戰爭に入り、皇軍將兵

は終始眞に身を鴻毛の軽きに比し、勇戦力闘されてゐるに拘らず、國民參政の府たる議會は、時に自由主義の殘滓より脱却し得ず、時に過去の黨弊になじむ等、その職分の發揮に遺憾の點の多かつたことは否定し難い現實であつたのであります。四海の妖を討ち、正義日本の聖旗を高揚せんとする、千載一遇の今日、かくの如きは斷じて許さるべきではありません。この際不肖の責務は、一に全幅の努力を傾注して、もつて、皇運を恢弘し、大政を翼賛し奉るに竭くるのみと、深く堅く信するのであります。即ち、夙に確立せられたる、祖國至高の國是顯揚と、不動の國策完遂に挺身順應、もつて上意下達、下意上達を圖り、一億國民の至道實踐に萬遺憾なからしめ、國を擧げて信頼するに足る、強力なる推進翼賛議會の確立を志すを唯一の焦點とし、あらゆる政策はこれに歸一さるべしと考へるものであります。

翼賛議員銘鑑（しノ部）

二〇七

千葉縣第三區選出
從三位勳二等

白鳥敏夫
赤坂區高樹町一ノ七〇
電青山八〇六六



略歴 明治二十年六月、千葉縣ニ生ル、東京帝國大學法科經濟科卒業。○外交官及領事官試験合格、大使官三等書記官、公使館二等書記官、大臣官房秘書課長、外務書記官、情報部第二課長兼第三課長、情報部長、特命全權公使、ワシントン會議全權隨員、ジュネーブ海軍々備制限會議參列委員隨員、翼政會總務政調外務委員、當選一回(21)

政見 目前最大の問題は戦争に勝ち抜く事でありその爲には所謂滅私奉公で凡ゆる犠牲に甘んじ困苦に堪えねばならぬと云はれる、固よりその通りであるが自分は戦争には困苦缺乏が付きものである、従つて戦争は辛抱の競争であるとする見方には無條件には賛同し兼ねる、從來の唯物戦争はさうであつたし又ユダヤ的經濟理論は正に其の通りである、然し今次戦争はさうした唯物的世界觀を清算する爲のものであり現に皇軍の戦果は、日本は戦へないとした英米の唯物計算を著々覆してゐるではないか、同様に銃後に於て日本の經濟力が意外の鞏固性を示してゐるのもその證左でありユダヤ英米流の考へを一擲するなら一層の成績を擧げ得る筈である、次に革新は戦争中は不可なりと言ふものがある、然し今次戦争が新秩序の戦争たる以上改むべきは時を選さず改むべきであり、長期戦であり建設戦である限り革新方策を戦後に延ばすと云ふ事は考へられない、唯革新は飽くまで日本獨得のものでなければならぬ。

北海道第三區選出
勳六等會社々長

眞藤慎太郎
麴町區永田町二ノ一
電銀座四七四六



略歴 明治十六年福岡市ニ生ル○頭山滿翁ノ玄洋社ニ入り其黨ヲ受ク、其後浦潮斯德ニ渡リ日露戦争勃發ト共ニ滿洲義軍ニ加ハリ連戦、勳六等ニ叙セラル、時ニ二十三歳。戦後露領カムサツカ方面ノ漁業權益カ我國ニ歸スルヤ直チニ之ニ從事シ爾來三十有餘年ニ及フ、昭和二年民間代表トシテ露都モスコニ於テ日露漁業條約締結ニ參畫ス、外務省囑託タリ、大政翼賛會北海道支部顧問、北海道綜合開發委員會理事、北海道廳經濟部大日本產業報國會、北海道支部各顧問、北千島水産、北日本漁業函館定温倉庫、北海道ゴム工業、北千島鮮漁業各株式會社社長、日魯漁業株式會社副社長、太平洋漁業株式會社專務取締役農林省委員被仰付、翼政會事務局參與、評議員、連絡、外務、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 東亞に新秩序を建設し世界に皇道を宣布せんとする時、茲に國民の總意を盛る政治が絶対に必要となつて來たのであります。私共は最早政治を所謂政治家の手にのみ委しては置けないのであります。幸ひに翼賛政治體制協議會が私を適任なりとして推薦せられ、幸ひに當選の榮を得ました今日自己の成敗利鈍を超越して皇謨翼賛のため敢て挺身する覺悟であります。

翼賛議員銘鑑(す)部

栃木縣第一區選出

菅 又 薫

栃木縣鹽谷郡北高根澤村
大字花岡二三五一



二一〇

略歴 明治六年六月栃木縣ニ生ル○醫師ヲ開業、北高根澤村長、縣會議員、同參事會員、翼政會厚生委員○當選一回(21)

政見 國民精神の馳緩や國家經濟力の困憊が勝を最後の一瞬にして棄てた例は決して少くない、殊に戰時體制下に於ける食糧問題が軍の活動に至大なる影響を齎す事は言を俟たない、此意味に於て食糧増産に密接不可分の關係を持つ米穀検査規定に依れば從來容量制と重量の二本建にて生産検査が施行されたのである。然して容量四斗重量正味拾六貫之れに依壹貫貳百匁を加へたる重量即ち拾七貫貳百匁が標準検査でなければならぬ、然るに實際の検査は容量四斗壹升六合重量拾七貫八百匁を最低とし容量四斗貳升重量拾八貫貳百匁を最高として俵装を施さざれば合格しないのである。假りに壹俵當り最低壹升六合の損失として計算すれば本縣だけで實に拾五萬七千八百俵となる、壹俵當り三等建拾七圓四拾貳錢にて換算すれば貳百七拾四萬八千八百八拾七圓となり、之を縣内百七拾七箇の市町村に按分すれば一町村に於て金壹萬五千五百參拾圓の損失を蒙つて居た譯であるが、東條内閣成立と共に吾人の主張の重量制に改正されたことは欣快に堪えない。尙農村に於て立撰下米を常食とする事は國民體位の上を圖る上に於て最も考慮を要する問題であると考へる。

大阪府第五區選出
勳三等著述業齒科醫

杉 山 元 治 郎

布施市東足代二ノ三七
電布施四三二
淀橋區西大久保一ノ四七
七アサヒ莊四谷四四〇八



略歴 明治十八年十一月大阪府泉南郡佐野町ニ生ル、府立農學校及東北學院神學部別科卒業○齒科醫師試驗ニ合格、齒科醫師ヲ開業ス、同志社大學文學部講師、日本農民組合長、日本農民福音學校長、恩賜財團濟生會大阪府委員、大阪市四貫島セツツルメント理事、全國古物商組合顧問、東京白十字會、濱松聖隷保養農園、理事及評議員、厚生省保險院專門委員及農業報國聯盟本部評議員、農林省委員被仰付、翼政會政調農林、厚生兼務委員ニ任命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 戰時に於ける要請は、國民生活の確保にあると信じます、それは生活内容の向上を意味するものでなく、生活を脅威する不安を一掃することでありませぬ。

第一に衣食住、殊に食糧は生産を確保し、消費の不安をない様にせねばなりません。切符制度の合理化、配給機構の整備等に依り消費の不安を生ぜぬ様にすることが必要であります。第二に經營の不安もない様にせねばなりません。第三に疾病、教育の不安をない様に、社會保險の擴充、國民教育金庫の設置が必要であります。第四に跛行状態のない様にせねばなりません。戦時下に於ては、戦争による影響も、戦果に對する喜びも、國民が共にすると云ふ建前を作ることが大切であります。

翼賛議員銘鑑(す)部

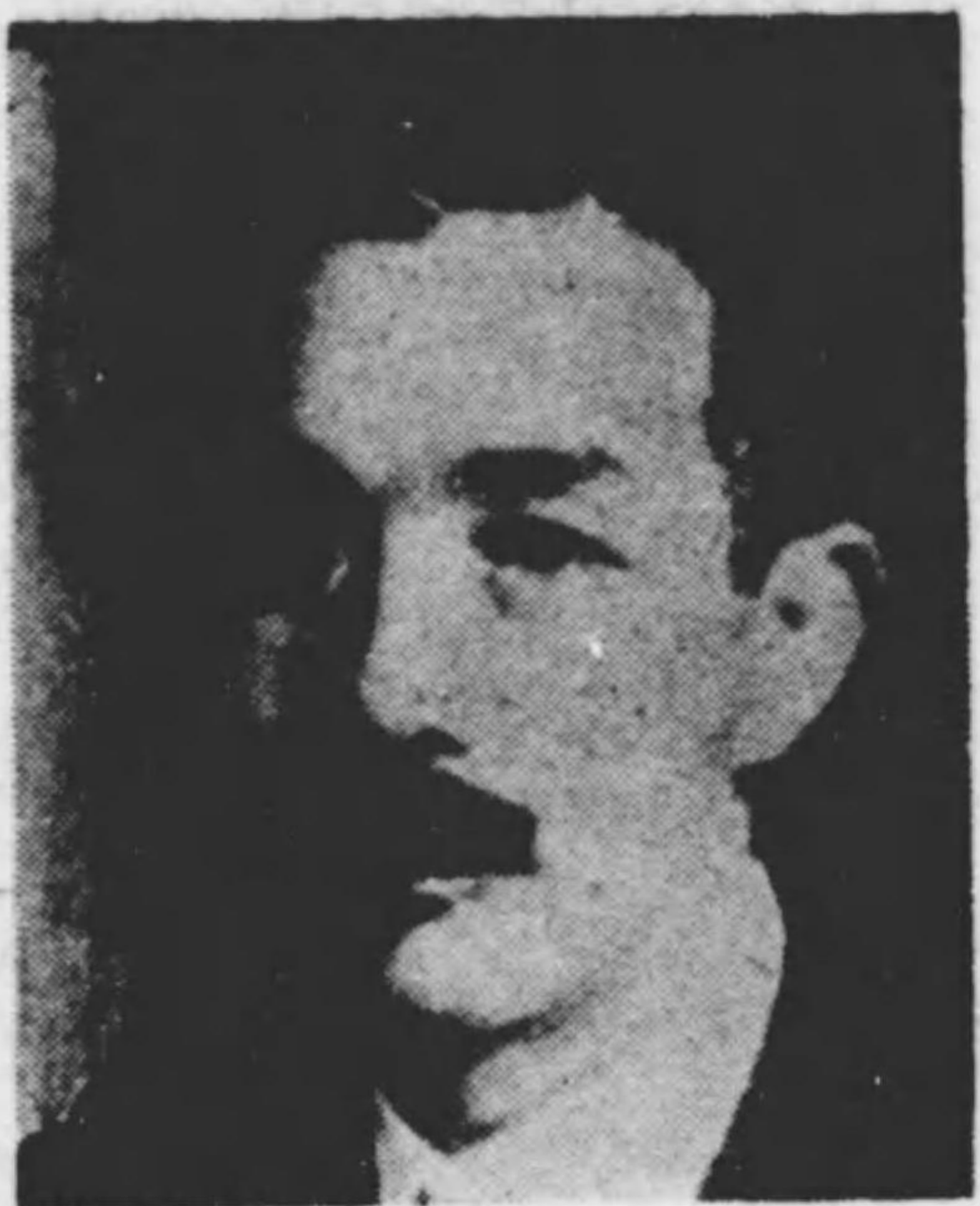
二一一

翼賛議員銘鑑 (すノ部)

福島縣第二區選出
正五位勳三等農業者

助川啓四郎

豊島區椎名町二ノ一九二
三電大塚八〇一



二二二

略歴 明治二十年八月福島縣田村郡船引町ニ生ル、早稻田大學專門部政治經濟科卒業○片曾根村長、船引町長、福島縣會議議員、片曾根實業公民學校長、福島縣補習教育會長、有限責任常葉煙草肥料購買組長、船引市場販賣利用組長、農林省經濟更生部參與、農林參與官、農林經濟更生中央委員會、自作農創設維持委員會、臺灣重要産業調整委員會各委員被仰付、農林省委員被仰付、翼政會政調理事○當選五回 (17 18 19 20 21)

政見 政治は國民活動の根基である。國內諸般の改革整備は國內政治體制の確立整備を俟つて、始めてその全きを期することが出るのである、況んや愈々多事多端なる國家の將來を考ふるとき、來ることあるべき凡ゆる難局を突破し、有終の美を收めて國家目的の達成を期するには、國民の總力を結集して國家の政治に翼賛せしめ、全國民が國家の政治に對して各々責任を感じ、目的達成の爲めには燃ゆるが如き情熱を以て、眞劍なる協力を爲さしむるが如き政治體制を確立せねばならないのである。而して東亞農村政策の確立、農業新體制の創建、貯蓄の増強と軍需物資の供給確保、中小商工業の整理統合等喫緊の問題であり全力を舉げてこれが解決に努力せんとするものである。

長崎縣第二區選出
農業

鈴木重次

長崎縣北松浦郡江迎町大字猪調免九三三
芝區南佐久間町一ノ一
伊勢屋旅館電芝一六一



略歴

明治二十年五月長崎縣北松浦郡江迎村ニ生ル、長崎師範學校卒業、○小學教員、長崎縣會議議員、同縣會議議長ニ選ハル、大政翼賛會長崎縣支部顧問、同中央協力會議議員、翼政會政調鐵道、農林兼務委員ニ任命サル○當選一回 (21)

政見 戦時下の産業 東亞共榮圈の物資はいよ、我國に利用される様になつて來たので産業政策についても大いに研究調査を要する時が來た新たに日本の領有となつた南方の資源は實に世界の一大寶庫と稱せられてゐるのであるから、これを開發して輸送するなれば日本の物資は極めて豊富となるのであるが今日は未だその域に達してゐない、然し南方資源を考慮に入れた内外一環交流の生産力擴充計畫の樹立は眞に刻下の急務とする處である、又一面生産擴充のために目下政府の行ひつゝある綜合的計畫經濟の圓滑なる運用を俟たねばならぬが、國內産業の培養も怠つてはならぬ、米麥、畜産、沿岸漁業、石炭増産等に農家は日本古來の世襲的家族主義によつて營まれて來てゐるのであります兵農兩全の眞の國防國家の基礎をなすものであるから各種の農業振興策を實施すべきである、更らに國民體位向上のため榮養食糧の供給源として水産業の振興を期することが急務である。

翼賛議員銘鑑 (すノ部)

翼賛議員銘鑑(すゝ部)

二一四

愛知縣第五區選出
勳三等著述業

鈴木正吾

世田谷區成城町六一五
電碓六一〇



略歴 明治二十三年六月愛知縣寶飯郡御津町ニ生ル、明治大學政治科卒業○雑誌「大觀」編輯長トナル、派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル、又歐米各國ヲ視察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那ヘ派遣セラル、翼政會政調大藏委員○當選四回(18 19 20 21)

政見 此の際、實業の能書みたやうな政綱政策の羅列は無用である、戦争完遂の國策は既に決定してゐる、私共は此の上どんな困難が加はらうとも、米英を叩き潰してしまふ迄は、文句を云はず既定國策の遂行に、積極的に協力すればいいのだ、一切の政見はこゝに出發し、こゝに凝結する、而して私の國策に協力する心構を、標語體で示せば、次の十八字に盡きます、戦争には血を、増産には汗を、政治には涙を、即ち戦争完勝のためには、今後産業文化のあらゆる部門に亘り統制が益々強化せらるゝが、特に經濟部門の諸統制を、強化促進するに當り、最も心すべきは、専ら法規の強權を以て之が強化の推進力とせず、國策の犠牲となる人々の心中をよく思ひやり、熱い同情の涙をたたへた政治力をもつて、これを推進せねばならぬことでもあります。

静岡縣第二區選出
從七位會社重役

鈴木忠吉

静岡縣加茂郡下田町七〇
電下田一一一
京橋區湊町一ノ三
鈴村旅館築地一八六六



略歴 明治二十八年十二月静岡縣賀茂郡下田町ニ生ル、慶應義塾大學修業○豫備役陸軍中尉、下田町長、賀茂郡青年團長、帝國在郷軍人會本部審議員、帝國在郷軍人會名古屋師管聯合支部副長、帝國在郷軍人會賀茂郡聯合分會長、静岡縣貨物自動車運送事業組合理事長、全國貨物自動車運送事業組合理事、東海自動車株式會社代表取締役、伊豆合同電氣株式會社、下田船渠株式會社其他數會社重役、人事調停、金錢債務調停、臨時戰時調停各委員、大政翼賛會静岡縣支部常務委員、翼政會政調幹事鐵道委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 外交於ては既に大東亞に新秩序を建設して世界平和に寄與すると云ふ國策が決定されて着々とその具體化を見つゝあり、産業經濟に於ては重要産業團體の統制を始め、各種統制法令の下に國防目的に向つて逐次強化されつゝあります。猶現下の緊急課題である南方經營に關しては輝かしき戰果の進展に伴ひ資源開發、經濟再建の工作は着々進められて居るのであります。然るに我國の政治部面について之を見まするにその刷新強化が最も立遅れた姿のまゝ今日の時局に突入して參つたのであります。而して長期戦を完遂し得る高度國防國家體制に資せんがために今次の總選舉が斷行せられました。私は一死報國、國難に殉ずるの決意を以て翼賛政治體制の確立の第一線に挺身致すものであります。

翼賛議員銘鑑(すゝ部)

二一五

翼賛議員銘鑑(すの部)
和歌山縣第二區選出
著述業

角 猪之助

世田谷區北澤町五ノ七四
○電松澤三四七五



めて長期總力戰たる相貌を明確にして來た今日、高度なる政治と軍略が、諸般を運営するシステムの中にその現實的な性格が構想されるのである。吾人はこの意味に於て益々謹んで聖旨を奉體し、聖戦の本義に徹し誓つて皇軍將兵の忠誠勇武に應へ、鐵石の意志を以て總力戰體制の完璧を期すると共に、高度國防國家の建設に邁進すべく最善を盡してその重責任に耐へ、報國の誠を盡す決意に立つてゐる。

二一六

略歴 明治二十八年七月和歌山縣新宮市三輪崎ニ生ル、日本大學ニ學フ ○都新聞政治部記者トシテ専ラ外交問題ヲ研究シ「滿蒙興廢の前夜」「支那農民運動」「極東の外交と軍事」等ノ著アリ、米國、カナダ、支那ヲ視察、遞信省委員被仰付、翼政會政調文部、外務兼務委員ニ指命サル ○當選一回(21)

宮崎縣選出
正八位
曾 木 重 貴
都城市松元町
電都城三〇四
赤坂區田町二ノ一六
對翠館赤坂一五八



場で如何に大量に生産することでも輸送の便がなければ徒らに朽廢に委ねる外に方法はないのである。豊富な南方の資源を持ち來つて民生を潤すには戰爭中は兵員軍需輸送のため輸送の余力が乏しくなるのは止むを得ないが現在海陸の輸送機關の大擴張は焦眉の急であり政府も船舶運營會を中核として輸送強化に當るべきである。

翼賛議員銘鑑(その部)

二一七

略歴 明治十九年二月都城市ニ生ル、早稻田大學商科卒業ス ○陸軍歩兵少尉ニ任セラレ、都城町助役、同町長、都城市會議員、同市會議長ニ舉ケラル、曩ニ都城電氣會社支配人タリ、都城市長、翼政會政調文部、内務兼務委員ニ指命サル ○當選二回(2021)

政見 皇軍を大擴張せよ 大東亞共榮圏の建設も八紘爲宇の顯現も仇なる敵を破碎するに始まる、まつろはぬ輩はあくまで撃滅せねばならぬのである、従つて古今東西に超越せる精銳強剛なる陸海軍を大擴張建設しなければならぬ、これなくしては現在までの華しき戦果も槿花一朝の夢と化し去るかも知れない、士魂の昇揚、先節砥礪、體驅鐵の如く、見敵必滅の攻撃精神に燃へ立つ將兵を益々大量に鍊成せねばならぬのである。

輸送機關の大擴張の急務 共榮圏内に如何に資源横はるとも必要な處へ運輸出來なければそれは寶の持腐れである、製造工場で如何に大量に生産することでも輸送の便がなければ徒らに朽廢に委ねる外に方法はないのである。豊富な南方の資源を持ち來つて民生を潤すには戰爭中は兵員軍需輸送のため輸送の余力が乏しくなるのは止むを得ないが現在海陸の輸送機關の大擴張は焦眉の急であり政府も船舶運營會を中核として輸送強化に當るべきである。

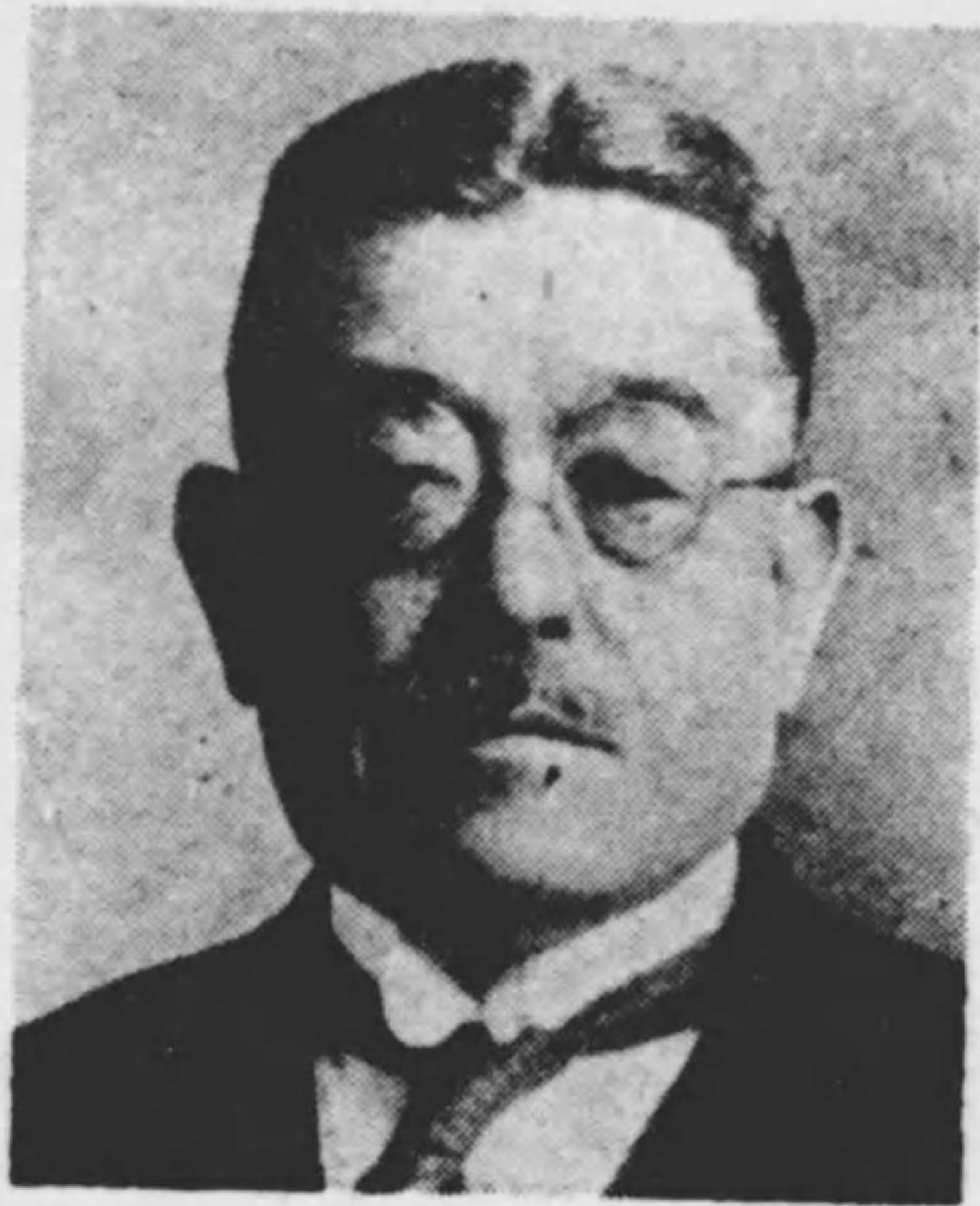
翼賛議員銘鑑(その部)

二一八

福井縣選出
從四位勳二等 辯護士

添田 敬一郎

芝區白金三光町二二〇一
電高輪二五一〇



略歴 明治四年八月福井縣遠敷郡雲濱村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試験合格、大分縣警察部長、熊本、山梨、滋賀各縣内務部長、埼玉、山梨、山形各縣知事、内務省地方局長、文部政務次官ニ歷任シ、多數ノ各種委員被仰付、社會事業調査會委員ヲ委囑セラレ、財團法人協調會常務理事、翼政會評議員、厚生、内閣委員ニ指命サル○當選七回(14 16 17 18 19 20 21)

政見 國民の總力を集中すると言ふことは、政治、經濟、教育、文化は固より國民生活の一切を、戰爭目的完遂のために動員することであり、殊に政治に於ては國民の總力を結集して下より盛り上る強き力を土臺として、戰爭完遂に必要な諸政策を斷行し、如何なる障礙に直面するとも毅然として之を排除して進み得る強靱不撓の態勢を整へねばならぬのであります。從來議會を組織せる議員の思想が動もすれば自由主義に流れ自然其の政見や決議が之に引摺らるゝ傾向にあつたことは否み難き事實であります。斯くの如き舊態に對しては現下の思潮より觀て其の改革の叫ばるゝは寔に當然のことであり、所謂翼賛議會とは此の重大なる時局に直面し克く今日の思潮を理解し得る議員を以て組織する議會に改めんとする革新的思想に基くものであります。過去に於て政府の提案に同意したる事實の如きは之を論ずるの價値なきものと言はねばなりません。

鹿兒島縣第三區選出
正六位勳六等

宗前 清

豐島區高田本町一ノ三三
六電牛込一八二〇



略歴 明治三十年七月十五日和歌山市豐原町ニ生ル、師範學校卒業後○小學校教員、明治大學ニテ法律ヲ學ブ、高等文官行政科試験ニ合格、各地方事務官ヲ歷任ス、翼政會政調幹事、遞信、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 日本帝國は多年に亘り東亞の安定勢力として各民族の朋として東洋永遠の平和のために生命を賭して努力し來つたのであるが頑迷なる蔣介石政權は日本の眞意を理解し得ず、米英の魔の手に踊らされて徒らに抗日政策を採り事毎に反日を繰り返して來たので之を芟除せざれば日本帝國の理想とする大東亞共榮圈の確立は不可能と考へられるに至つたので敢然として聖戰は開始されたのである、戦ひは連戰連勝、正義に双向ふ敵はなく御稜威の下皇軍は赫々たる大戦果を擧げたのである。蔣介石政權の背後にある米英撃滅の大東亞戰爭を勝利によつて終局せしめるため全國民は一九三九年となつて總力を傾倒して戦つてゐる、銃後における國民の信念如何、戦ひは前線の將兵各位に十二分の自信と信頼を以て安心して任せることが出来るが銃後においては強力なる生産經濟力と優秀にして不拔の民族精神日本精神を必要とするのである、政治も亦強度なる翼賛政治體制の樹立が要請され議會は眞に國民の代表として立法權に參與する憲法上設けられた制度であり政府と國民と議會とが打てば響くと言ふ緊密なる關係に立ち相共に大政を翼賛すべきである。

翼賛議員銘鑑(その部)

二一九

岩手縣第一區選出
正五位勳二等

田 子 一 民

目黒區上目黒八ノ五二一
電遊谷三五七〇



略歴 明治十四年十一月岩手縣巖手郡淺岸村ニ生ル、東京帝國大學政治科卒業○山口縣警部、都濃郡長、同警察部長、内務省社會局長、三重縣知事歴任、鐵道政務次官、東北振興調査會傷痍軍人保護對策審議會、中央失業對策、保險院保險制度調査等外各種委員被仰付、南支那、香港及歐米各國ヲ歴遊、滿洲國ヲ視察ス、衆議院議長タリ、翼政會評議員、厚生、内務兼務委員ニ指命サル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 偉大なる戰爭目的を完遂する爲に、我國民は幾多の困難に打ち克つて居るのであり、皇軍の將兵諸士は、陸、海、空に身命を捧げて戦つて居ります。又統後の國民は戰爭目的完遂の要請に奮ひ立ち、祖先傳來の職を轉業した人々もある、節約、貯蓄報國、増稅負擔、戰時統制強化に協力等經濟、思想戰を戦つてゐる、而も國民は涙ぐましい程、盡忠報國の誠を傾け、總て之に打ち克つて來て居ります。この牢固たる決意を以て戰爭完捷と、その建設に邁進し、大願成就の爲に、國家總力を結集せねばならない、帝國議會は 天皇陛下の議會であり、そして私達議員は憲法の條章により協賛し奉るのである、今や時局は眞に重大、聖戰目的達成の前途猶遠遠であるが、帝國議會は益々その本來の面目を發揮、億兆一心、君民一體の眞實なる我が國體の精華を發揚し、議會は又この際この秋誓つて政府と議會、又軍、官、民渾然一體の實を擧ぐるに邁進しなければなりません

愛知縣第五區選出
正四位勳二等功三級陸軍中將

田 嶋 榮 次 郎

愛知縣寶飯郡三谷町一舖
八〇
杉並區阿佐ヶ谷六ノ一九
金富與志二方



略歴 明治十六愛知縣ニ生ル、陸軍士官學校ヲ卒業ス(第十八期生)永ラク支那、滿洲等ニ特務機關トシテ服務ス、堺聯隊區司令官、麻布聯隊司令官、福山聯隊長ヲ經テ、昭和十年陸軍少將ニ進ム、支那事變ニ際シテハ部隊長トシテ出征シ、北支那各地ニテ赫々タル武勳ヲ樹テ、遂ニ前線ニテ戰傷ヲ受ク、昭和十三年陸軍中將ニ任セラル、下關要塞司令官ニ補セラル、昭和十四年十月豫備役トナル、翼政會評議員、政調陸軍、大東亞兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 從來の英米式の議會觀よりすれば政見發表は必要であり意義も有ると思ふが翼賛政治體制下の議會としては政見など、銘打つて發表すべきは果して適當でせうか、少くとも小生としては發表すべき政見なく、只小生としては當局者が正しく適切なる政治を行ふやう協力すると共に國民をして之れに順應し翼賛の實を擧ぐる様指導して行くことを考へて居ります。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

新潟縣第三區選出
正八位 農業

田 下 政 治

新潟縣南蒲原郡加茂町大字
加茂六〇三 電加茂一六七
神田區旭町 岩戸屋方
電神田三〇一九



二二三

略歴 明治十九年六月新潟縣南蒲原郡加茂町ニ生ル、札幌中
學卒業○陸軍少尉、加茂町信用組合長、同農會長、同實業協會
長 町會議員當選四回、町會議長二期、加茂町長、新潟縣會議
員當選五回、同縣會議長一期、大政翼賛會新潟縣支部參與、同
南蒲原郡協力會議長、同新潟縣協力會議々員、翼政會政調大東
亞委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 鐵壁の建設陣即ち、最高度國防國家の完璧を期するに
は政治が、日本本來の神聖なる體制に還元されなければなりま
せん。我國の政治は、祭政一致と言はれる「まつりごと」であ
ります。長くも「萬民に其の所を得しめん」といふ大御心を奉
體して命懸で翼賛し奉らなければなりません。そして國民生活
の一切を指導し國民日常生活の中に常に生きてゐる政治。國民
の側から云へば日常生活其の者が直ちに政治に翼賛し奉るのが
日本古來の姿であります。即ち經濟、文化、教育、思想等あら

ゆる國民の生活が政治の直接指導下になければなりません。
苟くも國體に反する不逞思想は、敢然として之を撲滅せしめると共に、國民として一層國體觀念を
明徴に把握せしめ、大東亞指導者たるの品位と氣魄を、堅持しなければなりません。

京都府第一區選出
辯護士

田 中 伊 三 次

京都市上京區新烏丸頭町
一六九 麴町區
屋旅館 電九段三六三三



略歴 明治三十九年一月京都市上京區新烏丸ニ生ル、立命館
中學、府立第二中學校ヲ經テ立命館大學ニ入學ス、大學部一年
在學中高等文官試験ニ合格、辯護士試験ニ合格登錄ス、同大學
三年在學中京都市會議員當選、昭和九年大學部卒業、同府會議
員ニ當選、翼政會事務局參與、政調司法、内閣委員ニ指命サル
○當選一回(21)

政見 天皇歸一の大精神を國民生活に顯現し、以て臣民思想
の一大統一を計りたいこれが日本國の大切な凡てのものの根源
であるからである。

今日の日本にとつて一番大切なことは何にかそれは今次の大
東亞戦争を勝ち抜くためである戦争を勝ち抜くためには我國の
國內體制をどうすればよいか、それは私の謂ふ日本の全體主義
によつて世界最強度の國防國家體制を作りあげることだけ
ばならぬと信ずる、然らば戦争に勝ち抜くための國防國家體制

とは如何なるものか

その答へは極めて簡單である、即ち政府、議會、國民の三つのものが一つになつて政治經濟思想文
化教育等國家のあらゆる部門を悉くあげて國防を眼目に戦ひ勝ち抜くために必要な筋道の建直しを斷
行することであると言つてよい。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二二三

島根縣第二區選出
從七位勳六等功五級 酒造業

田中 勝之助

島根縣那賀郡今市村大字
丸原一二五六
京橋區築地一ノ一 佐々
田實方電築地一四五



略歴 明治三十四年鹿兒島縣ニ生ル、鹿兒島高等農林學校ヲ卒業ス○陸軍中尉支那事變ニ出征ス、酒造業ヲ營ム、翼賛壯年團島根縣副團長、拓務省委員タリ大東亞省委員被仰付、翼政會政調大東亞委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 支那事變に際し曩に御召を承け勅諭の御旨を奉戴して死生困苦の間に身を處すること足かけ四年、一切の執着を斷ち切り得て聊か覺悟するところを持ちました、死山血河の間七ヶ所敵彈を身に受け乍ら不思議にも生を得て歸還し一念唯護國の英靈に致したいと考へてゐます、私共今なほ明かな國體に淵源する 天皇歸一の醇乎たる日本人の心に還つて大君のために自己の本分を盡すと言ふ念に徹し盡忠報國のためには地位も財産も恩愛はおろか一身を捨てて決心を固め一切の執着を捨てた氣高い前線の勇士の突撃の瞬間の氣持となり切らねばならぬと思ひます、これによつてのみ政治が日本精神によつて指導される

と言ふ大道に就くことが出来るのであります、近代戰爭は武力戰、經濟戰、思想戰の三段階となつてゐることを知りました、此の内思想と經濟戰に打ち勝つと言ふことを一言にして言へば政治に勝つと言ふことに在ると存じます雄大豪壯な外征の勝利は政治運營よろしきを得た整然たる國內體制にありと信じます。

東京府第六區選出
地主

田中 源

江戸川區字喜田町三八
電城東四八〇



略歴 明治九年十月東京市ニ生ル○葛西村會議員、南葛飾郡會議員、東京市會議員、同府會議員ニ選ハレ、郡會議長、府會議長ニ擧ケラル、又葛西村長トナル、翼政會政調遞信、農林兼務委員ニ指命サル○當選三回(192021)

政見 我が帝國議會も當然 天皇に歸一し奉る精神に還らねばならぬ。明治以來稍やともすれば歐米流にかぶれ横道に走らんとするの傾向に在つた政界は茲に驟然として覺る處がありましたので既に政黨を解消し舊套を脱して新たに再編成を行ふべき機運に達したのであります。

私は此の意味に於て新時代の議員として大いに奮ひ立ち現政府と協力してお國の爲めに働らき大目的完遂に役立ちたいと深く念願して止まぬものであります。

今や戰闘は大南洋を越えて遙かに大印度の天地に波及し然かも赫々たる戰報が日毎に我等の胸を打ちつゝあります。酷熱の下、陸に海に空に命をかけて勇躍せる將士の心を心として戰場に消えた英靈に對して感謝の意を表しその靈に酬ねばならぬと云ふ決心を以て新しき政界に於て活動することを誓ふものであります。

京都府第二區選出
正五位勳四等 會社重役

田 中 好

杉並區天沼一ノ二七九
電救窪三五二八



略歴 明治十九年十二月京都府船井郡園部村ニ生ル、立命館
大學卒業「土木行政」「道路行政」其他ノ著書アリ○京都府屬
兵庫縣屬 内務屬、内務省土木事務官兼鐵道省事務官、臨時震
災救護事務局事務官被仰付、東京高速鐵道株式會社支配人、同
社顧問、帝都交通統制委員、土木會議々員被仰付、日本大學講
師、商工省委員被仰付、翼政會政調鐵道、内務兼務委員ニ指命
サル○當選三回(192021)

政見 大東亞共榮圈を創設する中途の現在に於ては、戦争に
勝ち抜くこと、一面南方諸國を指導育成せねばならぬ、此兩
面に互る雄大の國是を實行するが爲には、凡ゆる國內體制を整
備擴充し、民心の作興と國運の發展とを圖るべきである。之が
爲には人的資源を必要とする、即ち立派な日本民族の血液を永
遠に生々發展せしめ、此民族の傑出した精神力、科學力、技術
力を以て彼等を指導することを要するのであつて、夫れが爲には、健全な人口増殖政策を確立し、就
中結核の豫防撲滅に就いて、特別の考慮を拂ふ必要がある。而して是等健全なる體軀の國民に對して
皇道に則り、大東亞民族を指導するに足る智徳を授くるが爲、在來の教育方針を刷新する必要がある
かくて養成された國民が、指導者國家の國民たるの信念、思想、學識、技術を以て東亞の各地に進出
することに依つて、始めて肇國の大精神を實現し得るのである。

兵庫縣第四區選出
正五位勳三等酒造業

田 中 武 雄

麻布區本村町一八八
電三田一七一八



略歴 明治二十一年六月東京市ニ生ル、青山學院高等科修業
後歐米ニ留學○陸軍中尉、岩見銀行頭取、姫路銀行頭取、廣銀
行取締役、鐵道大臣秘書官、外務參與官、拓務政務次官、對支
文化事業調査、國際觀光幹事、米穀對策調査會、臺灣拓植會社
創立、電力評價各委員被仰付、第十九回列國議會同盟會議及同
役員會汎太平洋商會議ニ日本代表トシテ列席、衆議院南米視
察議員團々長トシテ派遣セラレ、鐵道會々議員及外務省委員被
仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、外務委員、議院協議員協
議員ニ指命サル○當選七回(15161718192021)

政見 翼賛議會の成立は國民の總意を正しく、明かに議會に
具現し、一定不變の國策を永遠に確保することとなるので、高
度國防國家完成に集約される國民生活の合理的再編成を始め國
力培養の對南政策、一元的産業政策の再吟味、國民教育の鍊成
強化、食糧對策、中小商工業の再編成等々萬般に亘る對策は緩急宜しきを得て必ずや完璧を期し得る
ことは私の信じて疑はざるところである。私は國民各位の子弟並に兄弟が宣戰の 大詔を奉戴して皇
國に捧げつゝある忠誠の赤心を以て自らの心とし叙上の信念を體して勇往邁進、肇國の大理想たる八
紘一字の大精神を大東亞に光被せしめ以て世界平和を確立し 皇恩の萬一に酬ひ奉らんことを茲に堅
く誓約する次第である。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

大阪府第二區選出
辯護士

田中 藤 作

大阪市南區高津町八番丁
一〇電或二八〇九
麴町區準町九ノ八植木屋
電九段三六三三



略歴 明治三十一年二月大阪府河内郡ニ生ル、關西大學專門部法科卒業○辯護士ヲ開業ス、大阪府會議員ニ當選三回、大阪市會議員、同府會副議長 大政翼賛會大阪支部參與 南方經濟協會理事長、三和信用組合理事長、高津町會聯合會長、高津警防團長、翼政會政調幹事、司法、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 世界維新に處すべき世界政策の確立並に政治經濟文化の凡ゆる領域の再検討を爲すべきでありそのためには

- 一、八紘爲宇の肇國の大精神に徹すべくし、而して雄渾なる世界政策を確立してこれの實現を期すべし
- 一、政治は、議會、大政翼賛會、町會、隣組を一貫した一億一心、内鮮一如の政治新體制を確立すべし
- 一、經濟は一國一家、その道德的家族的運營を期すべきであつて法律萬能の弊を除去し、且つマルクス主義と、ユダヤ思想

を全面的に一掃すべし

一、文化は低調輕薄なる英米文化を擊碎し、質實にして剛健而も高雅にして清新明朗なる新日本文化を建設すべし

一、教育制度の飛躍的擴大を希望する。

廣島區第二區選出
勳三等國防經濟研究所長

田中 貢

芝區今入町六 城南ビル
別館 國防經濟研究所
電銀座六〇二九
淀橋區柏木三ノ三九六
電淀橋六四〇



略歴 明治二十四年十月吳市ニ生ル、東京帝國大學政治學科卒業○文官高等試験ニ合格、東京帝大經濟部講師、商工審議會臨時、輸出生米統制調査會各委員被仰付、明治大學教授、勞働經濟研究ノタメ歐米各國ニ出張「社會政策」「工業政策」等ノ著アリ、商學博士、國防經濟研究所長、内務省委員被仰付、翼政會政調理事、商工委員ニ指命サル、○當選四回(17 18 19 21)

政見 大東亞共榮圈の經濟力は世界一を誇る米國共榮圈に勝ち得ると思ふがその理由の概略は次の如くである、

- 一、大東亞共榮圈諸國は八紘爲宇の大精神で結合されてゐるに反し米國共榮圈内の南米諸國は政治上米國と緊密なる關係に立つてゐないと言ふ弱味がある、二、日本の共榮圈が海上で安全に連絡されてゐるに反し米國共榮圈では米國と南米とは地続きであつても兩者を結ぶ地峽が山脈であるため鐵道輸送は出來ず海上は日獨潜水艦の脅威で不安此の上もなく南北米洲は結局孤立してゐることとなる、三、日本の大東亞共榮圈が寒、溫、熱の三帯にまたがつてゐるに反し米國共榮圈は南北に延びてゐるばかりである、四、共榮圈と言へば經濟自給の基礎が立たねばならぬ、米國は國防上不可缺の重要軍需品で生産し得ぬものが十四種もあるが大東亞共榮圈にはあらゆる物資があり戰爭經績力は米國より勝るに至つた。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二三〇

佐賀縣第一區選出
勳三等農業

田中 亮一

北多摩郡小金井一三九四
電小金井一五三



略歴 明治二十三年八月佐賀縣神崎郡千歳村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○千歳村々長、千歳村農會長、神崎郡農會議員、同農會長、神崎郡養蠶組合聯合會長、佐賀縣會議員當選同參事會員、千歳村産業組合監事、同村耕地整理組合長、佐賀縣山林會評議員、厚生省保險院保險制度調査會委員、大政翼賛會佐賀縣支部顧問、翼政會政調内務、農林兼務委員ニ指命サル○當選五回(16 18 19 20 21)

政見 今度の戦争は蒋介石と二億の米英人を相手の戦争であるから勢ひ長期戦となることを覺悟せねばならぬ 故に國民は堅い決心を以て國內の總力を結集し長期戦態勢を整へると共に東亞の大經綸に乗り出す準備をせねばならぬ、凡そ戦争の勝敗の鍵は第一に武力戦、第二は經濟戦、第三は思想戦である、武力戦においては忠勇なる皇軍に御願して心配ないのである、經濟戦即ち物の戦ひの中でも最も重要なものは食糧の増産である、支那事變以來農山漁村の増産戦士の努力は實に涙ぐましいものがあつた要は増産に必要な肥料や飼料等の配給の圓滑化如何が最も重要な點である、前世界大戦の際獨逸が武力戦に勝ち乍ら銃後の經濟思想戦に敗れて遂に最後の勝利を逸したことを思へば銃後の全國民は力強き經濟戦思想戦の勇士であらねばならぬ。

京都府第一區選出
會社重役

田中 和一郎

京都市下京區油小路七條上
米屋町一七八 電下四三二
神田區鍛冶町二ノ一 瀧井
種苗方 電神田三七五二



略歴 明治二十一年京都府ニ生ル、東京帝國大學政治科ヲ卒業、京都帝國大學大學院ニテ都市社會政策ヲ專攻ス○東京朝日新聞社論說委員、京都市學區會聯合會長、臨時中央協力會議員、京都市會議員、府會議員、同參事會員、市會議員、京都市教育會長、同青少年團副團長、大政翼賛會市支部常務委員、同府協力會議員、京都ホテル取締役、内外出版印刷會社監査役、翼政會政調内務、文部兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 日本民族に與へられたる課題は大東亞戦争を完遂することでありまして御稜威の下忠勇なる皇軍將兵各位の一死殉國の赤誠奉公による尊き血肉の犠牲により歴史的大戦果を得ましたことは一億國民の感謝感激する處であります、然しながら戦争はこれからであります、緒戦において絶対不敗の態勢を獲得して居りますが世界制覇のために力を養つて來た英米のことでありますから直にこれが屈服するとは思はれません、戦機は第二段階に飛躍したと申すべきでありまして一億國民はその總力を傾倒して長期戦に向はねばなりません、そのために政治、經濟文化等の各部門に亘つて刷新整備強化が必要となるのであります、これで大東亞建設の基礎が確立されるのであります。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二三一

翼賛議員銘鑑(たノ部)

山梨縣選出
正五位勳三等會社重役

田邊 七六
目黒區上目黒一ノ一九
電邊谷四六



二三二

略歴 明治十二年三月山梨縣東山梨郡七里村ニ生ル○東北電力株式會社常務取締役、中央電力株式會社專務取締役、輸出生絲統制調査會委員被仰付、農林政務次官、東北振興調査、關稅調査、米穀統制、不當廉賣審査、馬政調査會、地方制度調査會臨時資金調整各委員會委員被仰付、農村經濟更正中央委員、翼政會評議員、政調商工委員ニ指命○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

政見 東條大將が内閣を組織せられるや斷乎として米英の恫喝を一蹴し、決然として光輝三千年の國體を擁護し、米英打倒に奮迅されたのであります。宣戰の大詔を拜した國民は、正に久しきに亘る暗雲を排して昭々たる天日を仰ぐの思を致し、民族傳統の志氣は昂然沸然として湧き上つたのであります。かくして東條内閣は度々議會を開き、議會を通じて國民に事態の真相を知らしめ、其決意を促し其協力を求められたのであります。國家重大の政治を國民と共に行ふ、立憲的態度は皇軍の作戰と相呼應して呼吸を一に、國民の忠誠を國政に結び、作戰に結ばしめらるゝもので歴代内閣中稀に見る立憲政治の實踐であります。我々國民は此東條内閣の施政こそ眞に君民一致の政治を行ふものであります。國家の光榮と國民の幸福とを結實せしむべきものとして、私は國民諸君と共に、大東亞戰完遂の爲めに、東條内閣を支持して國家民人の慶福を増進せんとするものであります。

神奈川縣第一區選出
會社重役

田邊 徳五郎
横濱市中區中村町一ノ三
五 電本局七〇九



略歴 明治十八年二月横濱市中區中村町ニ生ル○長崎高等學校卒業○横濱市會議員、同市會議長、同教育會々長、都南貯蓄銀行取締役頭取、神奈川縣農工銀行取締役 大政翼賛會横濱市支部及神奈川縣支部協力會議員、翼政會政調大藏、内務兼務委員ニ指名サル○當選一回(21)

政見 私は常に外政は内政の反映であるべきを信ずるものであります。外に民族共榮の精神を光被せしむるためには、先づ内にその新しい思想と政策の躍動が先行しなければなりません。之れを我が國經濟方面に取上げてみますれば、わが國の中小商工業者は、その經營の零細性に拘はらず極めて重要な意義を有し、わが國産業の構成の一大特徴をなしてゐたのであります。その中小商工業者は、支那事變以來從來の經濟活動抑制せられ、公益優先の統制下に轉換されたのであります。その間物資統制、低物價政策の遂行等が原因致しまして、前途極めて樂觀を許さざるものがあつたのであります。

私は國民總力の結集と、中小商工業者の積極的解決に遺憾なきを期するため、國民の總意を要望を參酌し、其の方途を過まらざるやう努力する急務を感じます。而して議會に於ける翼賛政治力を先づ此の部門より發揮致したき所存であります。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二三三

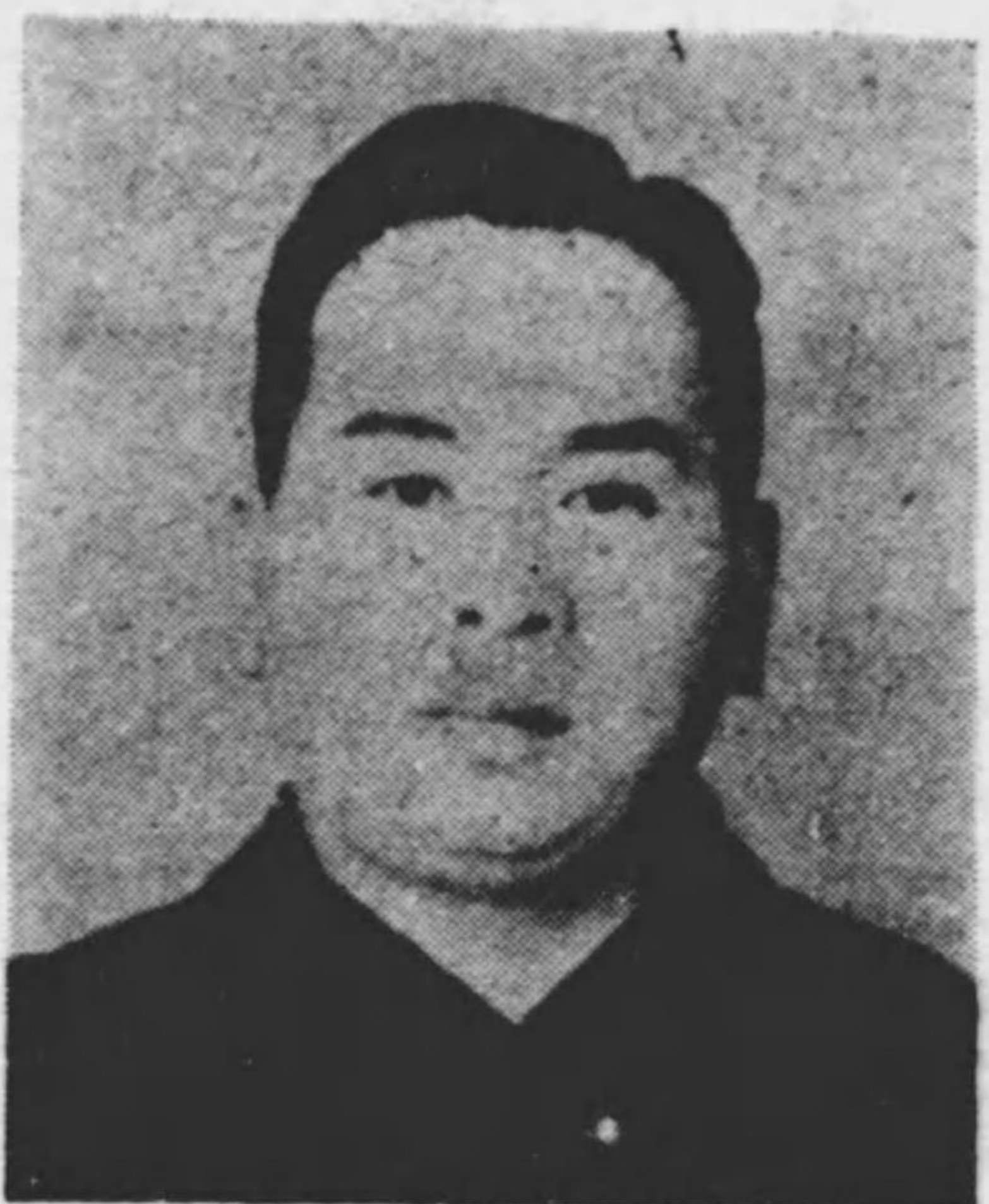
翼賛議員銘鑑(たノ部)

二三四

島根縣第一區選出
新聞社長

田部朋之

松江市魚町
電松江四二一
京橋區築地二ノ七 佐々
木旅館 電築地一七六〇



略歴 明治三十七年島根縣飯石郡吉田村ニ生ル、京都帝國大學經濟學部卒業○島根新聞社長、縣少年團副團長、大政翼賛會島根縣支部協力會議々長、農林省委員被仰付、翼政會政調内閣、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 大東亞戰爭以來赫々たる皇軍の戦果に對して全く感謝の外ありませんが此の感謝をそのまま政治の基礎に致し度いと存じます、政府は時局の現段階に處して萬般の政策を強力に遂行してゐるのでありますすが特に速かに施策すべき事項は次の通りであります、

- 一、食糧問題の解決と農山漁村の生活安定
- 一、中小商工業者の轉廢助成
- 一、軍事援護の徹底強化
- 一、國民保健の向上
- 一、下級官公吏と教職員の待遇改善

國策の推進となるべき議會については次の如き見解を持つてゐます、即ち高度國防國家體制を強力に確立し運用するためには、巨大なる推進力が必要となるのであり、此の推進力は何によつて生れるかこれは清新なる政治體制であり強力なる政治力で、かゝる政治力はよく東亞十億の民族を率ひて大東亞共榮圈を建設し、世界をして道義の新秩序確立に導くに足る國力を生む源泉であると信じます。

大阪府第一區選出
辯護士

田万清臣

大阪市西區松島町一ノ四八
芝區今入町二 霞ヶ關ホテ
電銀座六〇〇二



略歴 明治二十五年香川縣ニ生ル、京都帝國大學獨逸法律科卒業○辯護士ヲ開業、大阪市會議員、同參事會員、北支滿ノ國境ノモンハン戰跡視察ニ派遣セラレ、大政翼賛會政策局參與、大日本興亞同盟理事、府產業報國會理事、大政翼賛會府支部常務委員、大阪退職金審査委員、國防保安法治安維持法ニヨル辯護士ニ指定、借家借地金錢債務調停委員、大東亞建設國民運動研究會理事長、中央社會保險審議會、戰時特別調停各委員、翼政會政調厚生委員ニ指命サル○當選三回(19 20 21)

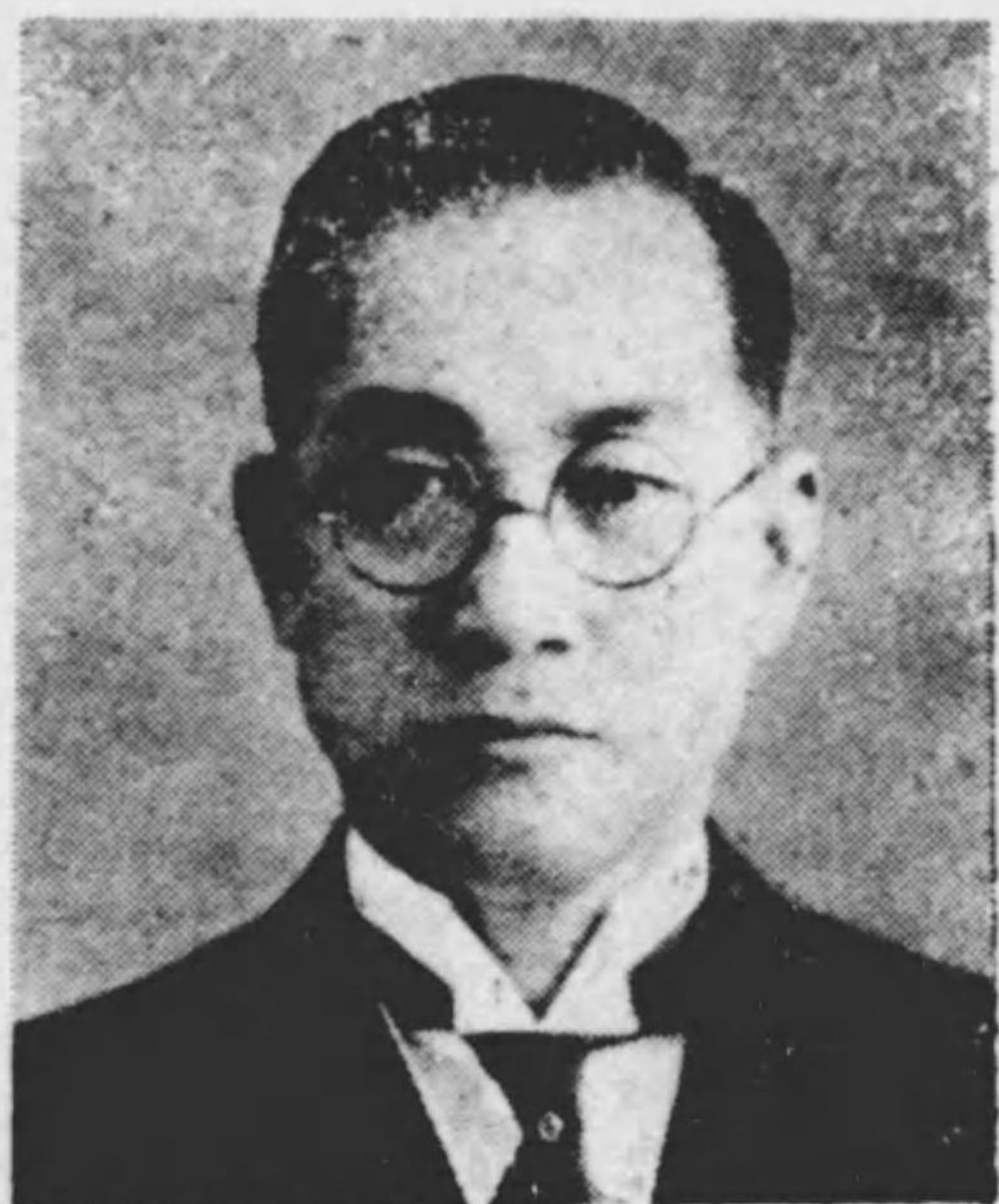
政見 大御稜威の下皇軍將兵の前には何物もなく其の赫々たる戦果は世界に冠絶す。然し吾等は此緒戦の大戦果に何時迄も酔つてゐては斷じていかぬ。吾等には幾多の猛省が求められてゐる。就中戦争は政治の最高表現であると言ふ現段階の理念によつて國策の基本を決する帝國議會を最初に明日の日本の創造的的要求に應へ得るが如く改新せねばならぬ。それは武力戦建設戦思想戦即ち世紀の一大決戦を通じてのみなされる大東亞共榮圈の創造には不退轉の政治力が絶対に必要であるからであります。吾等は東亞十數億の民に向つて號令する確固不動の政治力を待望する。それには戦時内閣を絶對支持して微動だもささない議會勢力を結集せねばならぬ。外に向つては必勝不敗の力であり、内にあつては戦時國民生活安定の基礎である政治力は實にここから生れるのであります。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二三五

徳島縣第一區選出
辯護士

田村 秀吉
牛込區市ヶ谷田町三ノ二
電牛込五五一〇



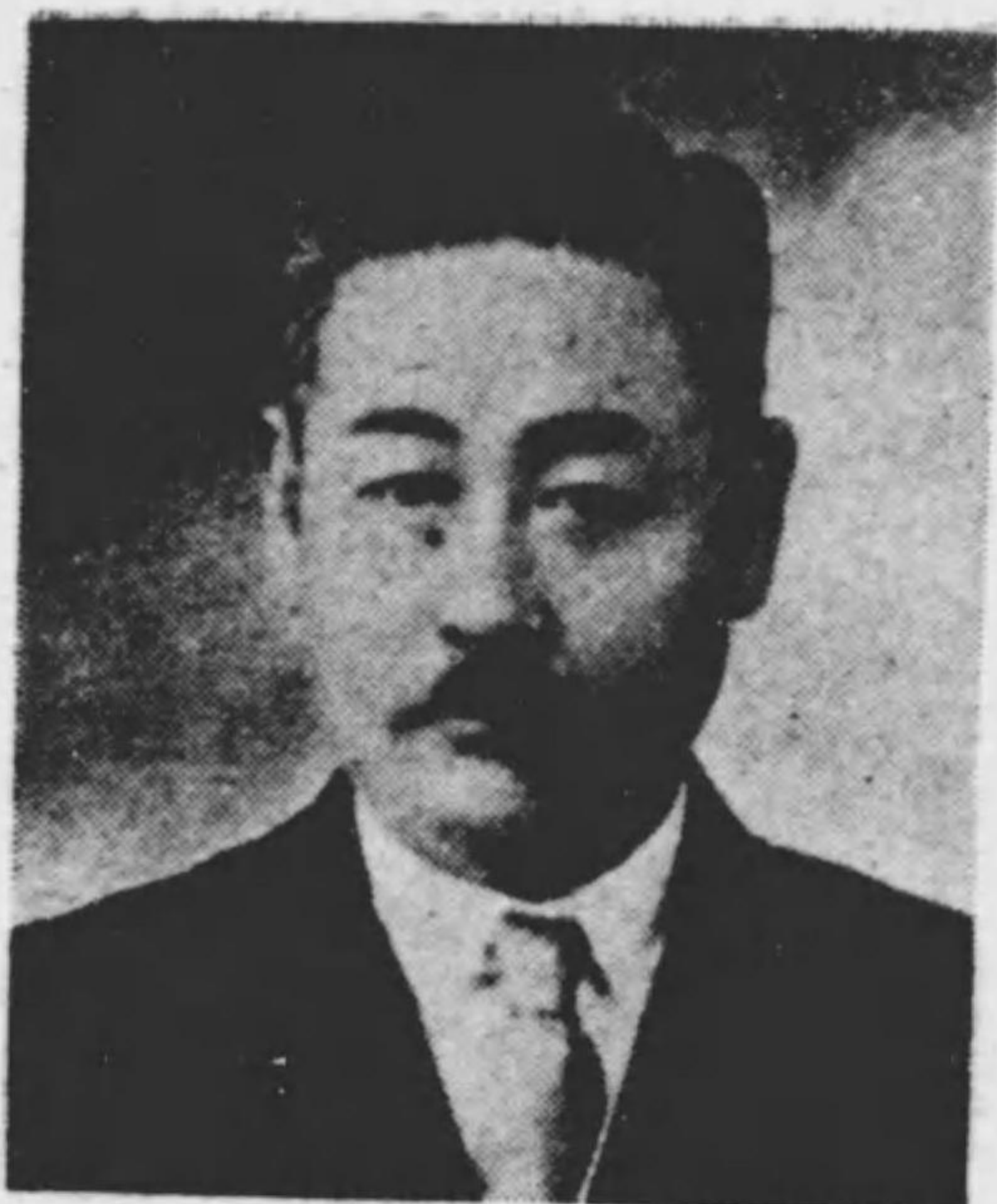
略歴 明治二十八年四月徳島縣那賀郡新野村ニ生ル、東京帝國大學法學部政治科卒業、大學院ニ學フ○高等試験行政科、司法科ニ合格、内務省、青森縣、帝都復興院ニ奉職、後辯護士ヲ開業、政策研究会ヲ創設「經濟難局と軍備節約」「國際難局に直面して」「聯盟脱退後に於る我國國際政策」「政變はか非か」等ノ著アリ、大藏省委員被仰付、翼政會政調理事、事務局參與ニ指命サル○當選三回(1920 21)

政見 昭和六年滿洲事變以來國家内外の情勢に鑑み終始一貫我軍官民の三味一體、舉國一致の要を提唱した、日清戦争當時先覺者福澤諭吉翁は戰時體制下の國民に諭すに、一、官民共ニ政治上の恩讐ヲ忘レルコト。二、日本國民ハ事ノ終局ニ至ル迄政府ノ政略ヲ非難スベカラザルコト。と諭したのであるが、此の言葉は今日の時局に極めて適切なるもので政府の施設、政策にも批評すれば色々批判すべき點はあるが、現在は國家の總力を擧げて大東亞戰を完遂しなければならぬ秋である、凡ゆる困苦、一切の不満も忍ばねばならぬ、政府の政策を濫りに非難することなく政府を絶對的に支持し軍官民一體となつて目的達成に猛進せねばなりません、大東亞戰下一番大切なことは一億國民の心からの總和にある、古人が「天の時も、地の利も、人の和に如かず」と言つてゐるが實に萬古不變の眞理である全國民が舉國一體一億一心の契りを堅めて戦ひ抜かねばなりません。

三重縣第二區選出
辯護士

田村 稔

三重縣松阪市垣鼻五四ノ三
電松阪七六二
大森區北千束七〇〇有
馬桂方 電荏原二九五三



略歴 明治二十七年三重縣松阪市ニ生ル、東京帝國大學獨法科卒業○以來松阪市ニ於テ辯護士開業、三重縣縣會議員ニ當選三回、同議長、大政翼賛會三重縣協力會議長、同中央協力會議員、翼政會政調司法、農林兼務委員ニ指命サル、商工省委員被仰付○當選一回(21)

政見 滿洲事變で夜が明けた。それは日本が必然的に踏んで行くべき進路を發見したのである。滿洲事變から支那事變、大東亞戦争への進路、それから大東亞共榮圈それは歴史の必然の日本の解決である。否、解決はまだ遠い。その解決に即應する政治新體制としてその翼賛議會が、苦しいいばらの道を切り開く手段として組織されねばならないのである。時勢の進展は全く私達の眼を開かした。舊政治觀念は拂拭されねばならぬ。元來議會は國策遂行の巨大なる原動機である。この原動機は行政部へベルトで繋がれる。この機構を新らしく生かすところに立憲政治の要諦がある。政府を引ずつて行く程の議會をつくるのが戦争遂行裡の日本の切實な要求である。

歴史的に機能を喪失した議會が退いて八紘一字の大國是、即ち大東亞共榮圈を完遂するにふさはしい議會の設立が要求せられる秋、私は愛國の熱情に燃えて前進するのである。

千葉選第一區選出
正五位勳三等 通信社長

多田 満 長
赤坂區青山南町三ノ四八
電青山一〇八一



略歴 明治十九年四月千葉縣君津郡神納村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○大日本通信社長、逓信參與官、外務政務次官、各種委員會委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北滿へ派遣セラル、逓信省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、外務、農林兼務委員、議院協議會協議員ニ指名サル○當選五回(17 18 19 20 21)

政見 今我日本は、東亞新秩序を建設し、新しき世界歴史を創らんとその第一歩を踏み出した、此の肇國の理想顯現に際し國家の指道方針、國民の考へ方は唯一つ、戦争一本槍で進むにある。而も聖戰の前途は遼遠、我々は勝つて兜の緒を締め、凡ゆる固苦に堪え忍び、戦に勝ち抜く確固不拔の信念を更に一層強固にせねばならぬ。茲に血と汗と涙の宣言を提案し、國民に一層の奮起を促したい、戦争に全國民が血を出せ、戦争に必要な生産擴充に全國民に汗を出せ、政治には涙を、戦争には涙を出せ、食糧對策と農山漁村の安定を計り、中小商工業者に懇切にし、官吏は國民と苦樂を共にすべきで、更に又大東亞建設の指導者に對する再教育、或は原住民族に興亞教育を施すが如きは特に重要視すべきである。私は此の翼賛議會の一戰士として縦横に活躍し、皇恩の萬分の一に報ひ報國盡忠の至誠を捧げたいと思ふ。

新潟縣第二區選出
著述業

高岡 大 輔

中野區本町通五ノ三一
電中野四六〇六



略歴 明治三十四年九月新潟縣中蒲原郡十全村ニ生ル、東京外語學校本科卒業「印度の真相」「素裸のガンヂー」「農村繁榮の鍵」等ノ著書アリ○新潟新聞社員、大倉土地株式會社員、後日印協會ニ入社、同協會甲谷陀商品館創設ニ付同地ニ赴任ス、日印協會囑託、翼政會政調外務委員ニ指命サル○當選三回(19 20 21)

政見 一口に東亞新秩序の建設、東亞共榮圈の確立と申しますけれど、それは中々のことであります。蓋し、古今の大業であります。近世三百年に亘つて英米人が東亞を侵略致しました歴史を抹殺するのであります。換言すれば、亞細亞十億の民衆を英米の彈壓と搾取とから解放し、更に進みましては、東洋文化を復興せねばならない大業であります。飽くまで我國の肇國の精神でありますところの八紘爲宇の大理念を顯現して東亞新秩序の建設を完遂し、由つて以て世界の平和と人類の幸福とを齎らさねばならないのであります。此の大業を完遂致しますことは即ち歴史をつくる大政治であります。此の大政治に參與し得ますことは、政治家と致しましては身に餘る光榮であり、歡喜であります。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二四〇

宮城縣第二區選出
正四位勳一等功二級

高木 義人

仙臺市元柳町一
麴町區九段借行社新館
電九段四一四五



略歴 明治十九年長野縣ニ生ル、陸軍大學卒業○累進シテ、
浦潮派遣軍參謀、參謀本部員、臺灣歩兵聯隊大隊長、師團參謀
師團參謀長、奉天獨立守備隊長、平壤師團長、仙臺師團長等ニ
歴任、大政翼賛會宮城縣協力會議長、西比利亞出征、滿洲事變、
支那事變ニ出征、支那事變ニ當リテハ感狀ヲ二回拜受ス、陸軍
中將、大藏省委員被仰付、翼政會評議員、陸軍、内務兼務委員
ニ指命サル○當選一回(21)

政見 一、國內體制の整備強化 イ、國民精神の昂揚……國
民精神とは大和魂であります、一切を 天皇陛下に奉る氣持ち
であります長期戦の最後の美は全くこの國民精神の強化如何に
よると言つても過言ではありません、ロ、轉廢業並に經濟問題
と下情上通……國民精神の昂揚と共に轉廢業問題並に現下の經
濟問題とは密接なる關係を有するものでありますから此點充分
下情を上通して工夫すべき處であると信じます。 二、諸般の
施設は先づ作戦の遂行に伴ふを要す 大東亞戦争は敵兵力を徹底的に絶滅し、その抵抗力を充分に破
碎するには我が戦闘力の絶對に優秀なることを必要とするのでありますから現状におきましては尙作
戦の遂行に全力を傾注すべきであります、今次大戦の戦闘地域の將來における擴大性を考慮して充分
の備へをなすことは絶對に忘れてはならない緊要であると信ずる次第であります。

鹿兒島縣第一區選出
正六位 農業

高城 憲夫

大森區南千束町一六四



略歴 明治三十三年一月鹿兒島縣川邊郡枕崎町ニ生ル、廣島
文理科大學卒業○香川縣、鹿兒島縣ノ女子師範學校教諭兼付屬
小學校主事、鹿兒島縣女子師範、縣立第二高等女學校教頭、北
海道旭川師範學校長、大政翼賛會鹿兒島縣支部參與、翼政會政
調幹事、文部委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 教育を興して此の眞義に立たしむるには須らく教育と
政治の深き因縁を明かにし教育が政治から方面づけられると共
に政治が教育によつて方面づけられる深き聯關を有す、教育が
その強き現實の力を發揮し、以て帝國の光輝ある將來の準備と
窮りなき理想を扶植する所以で政教一致の姿は實に我國家存立
の根本にして此の事は既に皇道日本肇國以來の嚴たる歴史的事
實である、然る處西洋物質文化は政治をして所謂經濟の優位性
に屈服せしめたのみならず日本人の世界觀人生觀を鍊成すべき
教育をすら完全に經濟觀の奴隸として功利主義の膝下に屈服せしめたのである。新世代は右の如きで
はいかぬ、價值秩序の第一主義を日本世界觀即ち「スメラ皇國」の道を顯現すべき教育におき、之を
實踐に移して第二段の政治となし更らに展開して第三位に政策的經濟の道を考ふべきである、教學確
立して政治はその内容を豊醇ならしめるのである。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二四一

栃木縣第一區選出
從四位勳二等農業

高田 耘平

王子區赤羽町四ノ二〇八
一電赤羽二九五五
宇都宮市西大宮町二四三
二ノ一電宇都宮四四一〇



略歴 明治六年十二月栃木縣那須郡荒川村ニ生ル。郡會議員
縣會議員、同參事會員、所得調査委員、小作制度調査會委員、
道路會議々員被仰付、農林參與官、農林政務次官、米穀委員會
米穀調査會、人口食糧問題調査會、蠶糸委員會各委員被仰付、
農林省米穀局顧問、馬政調査會、米穀統制調査會、米穀對策調
査會各委員、帝國農會特別議員、日本競馬會設立、米穀自治管
理、競馬法審査會各委員會委員、內閣調査局專門、米國配給調
整中央委員會、國家總動員審議會各委員、馬政局參與被仰付、
滿洲及支那ヲ視察ス、翼政會評議員、政調農林、厚生兼務委員
に指命サル〇當選十回(12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 凡そ食を足らし兵を足らすは、これ戦時の最大急務に
して、食糧問題の緊要なるは言を俟たない。而かもこの事たる
官僚繩墨の計畫にて萬全を期し得ない。ここに東亞の新形勢に
對應したる大施策を要する。我が農村を國家の基礎として健全
に保持すべきは、これ斷じて動かし難き國是であらねばならぬ。政治の現状は時と共に移る。唯
明治天皇が皇祖皇宗の遺訓を紹述して欽定し給へる、帝國憲法は嚴として存してゐる。其の運用は時
運と共に宜しきに從ふを要すと雖も、其根本の大義は炳乎として紊るを許さぬ。今日忠勇なる將士身
を外に忘るゝの秋、國政に參與するもの亦此の覺悟を有すべきは勿論である。

大阪府第三區選出

高梨 乙松

大阪市北區中野町三ノ一
三電堀川七二二〇
一電堀川紀尾井町三
一電九段五五〇



略歴 明治三十一年九月大阪府ニ生ル、辯護士ヲ開業ス、司
法省委員被仰付、翼政會政調司法、內閣兼務委員ニ指命サル〇
當選一回(21)

政見 今日是我國三千年の光輝ある歴史の中でも、未だ嘗て
例のない特超非常時であります、今や大東亞戦争は正に酣にし
て、御稜威の下忠誠勇武の陸海將兵は前線に、一億國民は銃後
に、各自戦域奉公を致し、東亞新秩序、これを大にしては世界
新秩序のために、全力を擧げて活動して居ります、苟も愛國の
精神ある者は、寸時と雖も晏如としてゐる時ではありません、
況んや私は過去二十年の永きに亘り、諸先輩と共に既成政黨
打破、政界革新を叫び、微力乍ら戦ひ抜いて参りました、今や
時勢の急速なる轉換と共に私共の主張も漸く達せられ、既成政
黨は解消しましたが一面に於て國內新體制は整はず、舊政黨の
地盤は依然として殘存し、そこに個人主義、自由主義の殘滓を
留めて居ります、此時に際し、戦時國民の活潑なる政治力を結集し、これに新組織と新生命とを與へ
時局擔當の一大推進力とすることは多年新政策を唱道し來つた我々に課せられた義務であり、責任で
あります。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

山梨縣選出
會社社長

高野 孫左衛門

甲府市柳町九二
電甲府三三三一
麴町區永田町二ノ七二
山王ホテル銀座五七〇一



二四四

略歴 明治三十二年五月山梨縣甲府市柳町ニ生ル、早稻田大學政治經濟科ニ學フ○吉字屋本店々主、山梨鹽業社長、岩手炭鐵道專務取締役、山梨トヨタ自動車販賣會社々長、岩手黨業取締役、岩手鑛業輸送專務取締役、縣石油配給社長、村青少年團副團長、大政翼賛會山梨協力會議員、同中央協力會議員、同縣支部庶務部長、縣翼賛壯年團副團長、少年保護協會常務理事、縣會議員、逓信省委員被仰付、翼政會政調逓信、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 「承詔必謹」は日本國民の生命であり生活原則である去る十二月八日の世紀の岩戸開きより 大東亞建設、世界新秩序に關する大國策は既に決して居り、舉國の精神を體し、政治經濟、文化の一切を生活面に着々その實を擧げるべく邁進すべきであります。一、軍官民協力一致して、各地域に即し新國民翼賛組織の確立。一、必勝不敗の國民生活の安定確保。一、皇國農道精神に基づく大東亞共榮圈の基盤たる農山村の日本的體制の確立。一、大東亞共榮圈に關聯せる都市商工業の積極的發展體制の創造。一、寶祚無窮、神州不滅の信念に基づく教育鍊成立國即ち教育尊嚴と科學振興と男女實生活に即應せる眞日本教育道の確立。一、大東亞戰爭完遂、世界新秩序建設の基本たる可き新政治體制議會翼賛體制。一、行政の運用に根本刷新を加へ、官界新體制の確立。

山形縣第一區選出
正五位勳三等農業

高橋 熊次郎

麴町區麴町四ノ八
電九段四〇六七



略歴

明治十三年九月福島縣信夫郡上瀬町ニ生ル、東京高等學校卒業後米國「ブライアント・ストラットン」商業大學に學フ○聖路易萬國博覽會日本出品協會渡航委員、清國海關幫辦、縣會議員、山形縣養蠶組合聯合會、同家禽協會各會長、同演藝組合聯合會顧問 同畜産組合聯合會評議員、同郡農會長、山形商業銀行、山形自由新聞社各取締役、上毛電氣社長、有限責任上山製乳販賣購買組合長、高橋農園ヲ經營、外務參與官、土木會議々員、農林省米穀統制、農林省蠶糸各委員會委員被仰付、日本蠶糸統制、日本甘藷馬鈴薯各株式會社參與、大日本警防協兼理事、滿鮮臺灣ヲ視察ス、翼政會評議員、政調農林、大東亞會務委員ニ指命サル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

政見 皇軍の輝く大戰果と共に、今後の重大問題は、それ等血を流し骨を埋めた土地や住民を如何に統治し、如何に民心を把握して統治方策に資するかといふ點である。米英蘭の統治に比して、日本の統治に失望を感じしめるやうなことは大東亞共榮圈の確立は困難であり、また、盟主として將來彼等十億民族の先頭に立つて號令する資格を疑はれ、世界の物笑ひとなることを覺悟しなければならぬ。此處に於て私は「全國民の衆智を結集し、統治の萬全を期すべし」と叫ぶものである。殊に南方生産物の調整を始め住民の最も關係深き經濟諸政策に慎重を期して民心の信頼を確保する必要がある。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二四五

岩手縣第一區選出
從四位勳二等(旭)功四級

高橋 壽太郎

目黒區自由ヶ丘一三一
電在 原四八〇〇



略歴 明治十二年一月岩手縣下閉伊郡千徳村ニ生ル、海軍大學卒業○海軍少尉ヨリ同少將ニ果進、其間海軍大學校教頭兼海軍艦政本部技術會議々員、海軍砲術學校長、第一水雷戰隊司令官海軍軍令部出仕ニ補セラル、度量衡制度調査會委員、重要鑛物委員會委員被仰付、田老村長、派遣軍慰問ノ爲滿洲國へ又支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル、翼政會政調海軍、商工兼務委員ニ指命サル○當選四回(17 18 20 21)

政見 我が陸海軍の赫々たる大戦果に徴すれば最早兵力の戰爭に於ては絶対不敗の算が立ちますが、唯残るところは長期に亘る我々國民の結束と生産力擴充の成績如何が戰爭の勝敗を支配することになります。戰爭が十年二十年長引いても撓まず驚かず所謂火の玉となつて戦ひ抜く爲には國內的にも相當の用意と覺悟とが必要であります。政府は宜しく所謂上意下達國民を以て時局に對する認識を深め、統制強化の止むを得ざる事態を了得せしめ以て國民の一致協力を求むると共に懇切叮嚀之に應對誘導するの必要があります。國民も亦誠意を以て下情上通を行ひ率直坦懐全力を盡して國策の遂行に貢献すべきであります。而して帝國議會こそは實に上意下達下情上通官民協力して大政を翼賛し奉る憲法上の大機關であります。

埼玉縣第二區選出
從四位勳三等

高橋 守平

牛込區筑士八幡町三四
電牛込二一七〇



略歴 明治二十七年十月埼玉縣兒玉郡丹莊村ニ生ル○小學校訓導、村農會長、郡農會長、縣農會議員、商工參與官、丹莊村長、城西學園中學校理事、平凡社、本庄運輸倉庫會社各取締役、農林政務次官、重要肥料業、馬政調査會、米穀統制、米穀自治管理、絲價安定各委員會委員被仰付、農林經濟更生中央、米穀配給新機構調査臨時、農業災害保險及共濟制度調査會各委員被命、自作農創設維持、臺灣重要産業調整各委員被仰付、第二十七回列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス、翼政會事務局參與、政調連絡、農林、商工兼務委員○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 今日の要は朝野一致、眞に徳を一にして國事に當るにある、凡そ形を整ふるは易く心を攬るは難し、政治の要諦は國民の心を攬るにあつて其形式ではない、今日國運發展の秋、斷其良智良能を傾けて國家の爲めに調さしめなくてはならぬ、我が國民は昨年の十二月八日開戦と共に一億總て一心となつて戦つて居る、眞に世界に冠絶せる日本の精華であり強味である、此れを素すが如きは決して爲政者の採るべき態度ではない、國民の潑刺たる進取の氣象を阻害し、退嬰苟安を馴致するが如きは心して避けなくてはならぬ。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

愛媛縣第三區選出
製絲組合長

高 島 龜 太 郎

宇和島市伊吹町
日本橋區吳服橋二ノ一
龍名館電日本橋一七七七



二四八

略歴 明治十六年二月宇和島市ニ生ル、生糸商、宇和島町會
議員二回、宇和島市會議員四回、同市會議長、縣會議員三回、
縣會副議長トナル、宇和島商工會議所會頭、愛媛縣製糸組合長
全國製糸業組合聯合會議員、宇和島生糸共同施設組合長、宇和
島市長、翼政會政調商工、鐵道兼務委員ニ任命サル○當選二回
(2021)

政見 大東亞戰と食糧政策 大東亞戰爭の本質とその將來に
就いては屢々説いた處であるが戰爭の最後を決定する重要な
要素は食糧の確保であり従つて農村問題が極めて重要視される
所以である。我國は開戦と同時に南方食糧資源を確保したので
あるが之の開發、培養、管理配給等その宜しきを得れば戰爭の
長期化も恐るに足らないのであるが、將來如何なる場合に處す
るにも主要食糧を國內で自給する根本方針を定めねばならぬ、
此の意味において斷じて農村を疲弊せしめる如きことがあつて
はならぬ、現下農村施設として考慮さるべき點は……肥料の増加、飼料、農器等資材問題、農村勞力
の確保、農村機械化の研究、農村總力の綜合的發揮を目標とする各種村團體の整理統合問題、部落團
體の活動力強化問題、自作農の創定と土地問題の解決、農村の醫療保健施設の増加と充實、適正農產
物の價格維持並にその他福利施設の實施等の諸政策である。

富山縣第一區選出
勳四等(旭)辯護士

高 見 之 通

小石川區西江戸川町一〇
電小石川三五一〇



政見 世界新秩序の建設と云ふ大目標に向つて進む凡ての人
は「生活の新體制」を實行する人でなくてはならない、その「生
活の新體制」の模範的行動をなす人を新人と云ふのであらう、
その生活は何より初まるか「反省」の二字に出發すべきものと
思ふのである、反省とは何か、從來各々が經て來た生活の缺陷
缺點を叩き直して行くことを云ふのである、餘りに缺點の多い
私は失敗の歴史の連続であつた、其處で私は修練道場の建設を
思ひたつて青年道場(輝く亞細亞之光)を設立せんとして居る
のである、其の項目は(一)禁酒(二)禁煙(三)禁葎(四)
禁將棋(五)禁茶飲(飲料は白湯と冷水に限る)(六)禁色慾(結婚生活を反對するにあらず)以上六
禁斷と稱す(七)溫浴を廢し冷水浴とす(八)夜雨戸と廢し空氣解放就寢(九)無帽無外套(制帽必
要の場合は此限りにあらず)以上を亞細亞之光と稱す(十)呼吸調節、靜思觀訓練(十一)態度端正
(十二)坐臥常住丹田にをく、以上を輝く亞細亞之光と稱す(十三)時間嚴守(十四)朝起勵行(十
五)無駄口を慎むこと、以上を生活新體制標語として實行を期す。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

二四九

翼賛議員銘鑑(たノ部)

東京府第四區選出
勳五位會社々長

瀧澤 七郎

本所區江東橋一ノ九
電本所四三一二



略歴 明治十一年一月長野縣上田市ニ生ル「養蠶上葉」蠶具大鑑「歐米工業概観」其他數種ノ著書アリ○陸軍三等主計ニ被任、上田養蠶講習所設立所長、上田新聞社取締役、東京自轉車工業組合議長、本所區會議員、東京市會議員、同參事會員、東京鑄物業組合長、東京鑄物業工業組合理事長、日本可鍛鑄鐵工業組合聯合會理事長、可鍛鑄鐵瀧澤工業株式會社取締役社長、歐米各國ヲ視察ス、翼政會政調商工、内閣兼務委員ニ指命サル○當選二回(20 21)

政見 聖業の完遂目標は、大御心を體し、外にあつては大東亞の國家民族をして、各々其の所を得せしめ、帝國の核心とする、惟神道義に基き共存共榮の新秩序を確立せんとするにあり、又内にありては諸體制を整備し、赫々たる皇軍の武勳と歩調を揃へ國民總力を發揮し、必勝の態勢を確立するにあるのでありまして、諸般の施策一切皆之に集中すべきだと考へるのであります。茲に政策の一端を申し上げます。一、高度國防産業の生産擴充。二、戦歿將士家族に對する報恩感謝の實現。三、國民生活確保の爲めの戦時食糧對策の整備。四、交通運輸の改善強化。五、民間資金の蓄積、國民貯蓄の増強。六、國民保健施設及び醫療制度の根本的整備等であります。

青森縣第二區選出
會社員

竹内 俊吉

青森市浦町字橋本二七〇
電青森三七八六
世田谷區代田二ノ六八八



略歴 明治三十三年青森縣西津輕郡出積村大字林ニ生ル○大正十四年以來十五年間「東奥日報社」ニ勤務社會部長、整理部長、編輯局總務、論說委員、取締役ヲ歴任、ソノ間滿洲事變熱河作戰、日支事變北支、南京攻略戰及ヒ武漢大作戰ニ從軍ス、昭和通商株式會社勤務、又昭和經濟研究會ヲ創立主宰シ專ラ國內經濟問題ヲ調査研究ス、青森縣會議員、大政翼贊會青森縣協力會議員、同縣支部參與、又皇道思想指導雜誌「あけぼの」編輯委員、翼政會事務局參與、政調内務、厚生兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 戦争に勝ち抜いてこそ諸般の計畫も立つのであつて、先づ武力戦を勝ち抜く事に國力の總てを集中、動員すべきが最大急務である。

私は支那事變當初より世界的規模に於てこそ眞の處理が可能であるとの考へを持つてゐたが、支那事變に従軍して具に支那に於ける米英的思想と、米英の政治的影響と、大東亞戦争完遂の要諦たる國內體制の整備は如何になさるべきであるかと云へば、イ、國體信仰の徹底、ロ、帝國議會の構成刷新、ハ、教育の計畫化等が急務中急務であると思ふのである。

翼賛議員銘鑑(たノ部)

愛媛縣第一區選出
正五位勳三等

武智勇記

淀橋區西大久保一ノ五〇
二電四谷五三七四



略歴 明治二十七年七月愛媛縣伊豫郡南伊豫村ニ生ル、明治大學法科卒業○松山市會議員、愛媛縣會議員、同參事會員、海南新聞取締役、愛媛新聞副社長編輯局長、文部參與官、逓信政務次官、各種委員被仰付、滿洲視察上海皇軍慰問ニ派遣サル、醫藥救國論、義務教育延長論、醫藥分業讀本等ノ著アリ、大政翼賛會中央協力會議員、逓信省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、逓信委員ニ指命サル○當選五回(17 18 19 20 21)
政見 一、國體の本義に徴し大東亞戰爭完遂に努め以て皇運を扶翼すべし

二、大東亞共榮圈の建設に邁進し八紘一字の大精神を光被せん
三、大東亞戰爭目的達成の爲次の項目の實現を計り國內長期戦體制を強化すべしイ、長期財政計畫の確立、ロ、國民貯蓄の徹底、ハ、生業の安固、ニ、食糧の確保、ホ生産擴充

四、大東亞に於ける盟主としての大國民育成の爲め教育の大刷新を計るべし
五、大東亞における經濟の共榮を速かならしむる爲め船舶の建造に努力すべし。六、國民體位の向上を圖り健兵健民の實を擧ぐる様努力すべし。七、中小商工業者の對策を更らに發展し其智識經驗を活用し南方開發等に飛躍せしむべし。八、銃後援護厚生施設充實に努力すべし。九、清新強力なる翼賛議會の確立に挺身すべし

德島縣第一區選出
勳四等 辯護士

谷原公

德島市幸町一ノ七
電德島二九七六
目黒區中目黒四ノ一四六
三 谷原長生方



略歴 明治十七年九月德島縣海部郡川上村ニ生ル、明治大學卒業○小學校々長、川上町長、海部郡會議員、同議長、德島縣會議員、辯護士ヲ開業ス、土木會議々員被仰付、民政社理事、翼賛會縣支部顧問、翼政會政調司法、商工兼務委員ニ指命サル○當選四回(16 17 18 21)

政見 大東亞戰爭の緒戦の勝利に依り重要戦時資源を確立し之れが敵國への流出が阻止せられた事は當に大東亞建設の一大礎石が完備したと同様である、此の上は國民が心一つにして生産擴充と勤儉貯蓄に努め弾力ある經濟を立て戰爭が如何に長期化する共屈することなく、大東亞共榮圈を築き上げ、肇國の大理想たる八紘爲宇の鴻業を顯現せねばならぬ、

戰爭の遂行上國防生産力方面に資材、勞力、資金、輸送力、電力等が重點的に集中せられるため經濟統制は益々強化され従つて中小商工業者の轉失業問題の生ずることは深く留意すべきである、戰爭を勝つために統制の強化も亦當然とせねばならぬが、かかる状態が長期に亘る場合單に統制の強化のみを以て臨むべきでなく宜しく人と物との調節上一定の組織的計畫を立て業態に應じて適當なる組織換をなさしむべきである、物資の適正配給、能率の増進によつて得たる餘剰能力を他の産業部面に向ける積極的方法を講じ之等國策に殉ずる産業戰士には敬意と親切をもつて臨むべきである

翼賛議員銘鑑（たノ部）

二五四

東京府第二區選出
日本放送協會國際部長

賴 母 木 眞 六
淺草區三筋町一ノ一
電淺草八



略歴 明治三十二年一月東京市ニ生ル、慶應大學中途退學○
大正八年渡米、羅府新聞、日米新聞記者、朝日新聞桑港特置員
帝國通信外報部員、東京朝日新聞記者、日本放送協會ニ入り海
外放送ヲ創設、國際課長、國際部長、內閣情報局委員被仰付、
翼政會政調內閣、遞信兼務委員ニ任命サル○當選一回（21）

政見 一、大詔を奉戴、大東亞戰爭の大義を明徴し、國民精
神の昂揚振作を期す
一、國民翼賛の總意を基底とし清新強力なる政治體制の確立を
期す

一、日本國土計畫を樹立し征戰完遂資源の確保、軍需工業の整
備等に依り高度國防國家の完璧を期す

一、食糧、農産物増強に關する緊急恒久諸對策を實現し國民生
活の安定を期す

一、中小商工業者の轉失業問題の根本的解決を期し産業再編成の急速なる實現を期す

一、世界政治の指導原理として八紘爲宇の皇道を宣布し米英秩序の世界觀を打破し、民族共存共榮の
世界新秩序を建設す

一、大東亞共榮圈指導の首都として物資集散の重點たる東京港擴充を前提とする大東京都制の實現促
進を期す

東京府第七區選出
正五位

津 雲 國 利

麴町區富士見町三ノ一
八 電九段一六一〇



略歴 明治二十六年十月東京府西多摩郡青梅町ニ生ル、安田
保善社銀行員養成所卒業○株式會社安田銀行員、株式會社古川
銀行員、又株式會社下野銀行相談役、同下野新聞社顧問、下野
日日新聞社顧問、拓務政務次官ニ被任、大政翼賛會本部調査委
員、內閣企畫院委員被仰付、翼政會事務局參與、議院協議員、
政調連絡、內閣委員ニ任命サル○當選六回（16 17 18 19 20 21）

政見 翼賛政治の根本理念は、どんなに長期戦になるとも、
いかなる強敵があらはれても、必勝する大信念と大競争力とを
生みだして、戦争に従事する勇士諸君をして、後顧の憂ひな
らしむること以外に何ももあり得ないと固く信じて疑ひませ
ん。而して、一、大東亞戦争の本質を徹底させること。二、大
競争力を擴充強化すること。三、經濟戦にうち勝つこと。四、
思想戦にうち勝つこと。

以上の四つの條件を、翼賛政治によつて具體化することが、大政翼賛に奉ずるわれらの義務だと信
じます。あらゆる兵器がすぐれ、戦備が十二分に整へられてゐるとともに、國民の戦時生活に絶對に
必要なものは、あくまでこれを確保し、物資と財力とをおろそかにせぬのみか進んで「人の力」を尙
び、國民の總力を大戦必勝と高度國防國家建設とにふり注ぐやうに、帝國議會の權能を働かすことが
奉勅殉國の翼賛政治であります

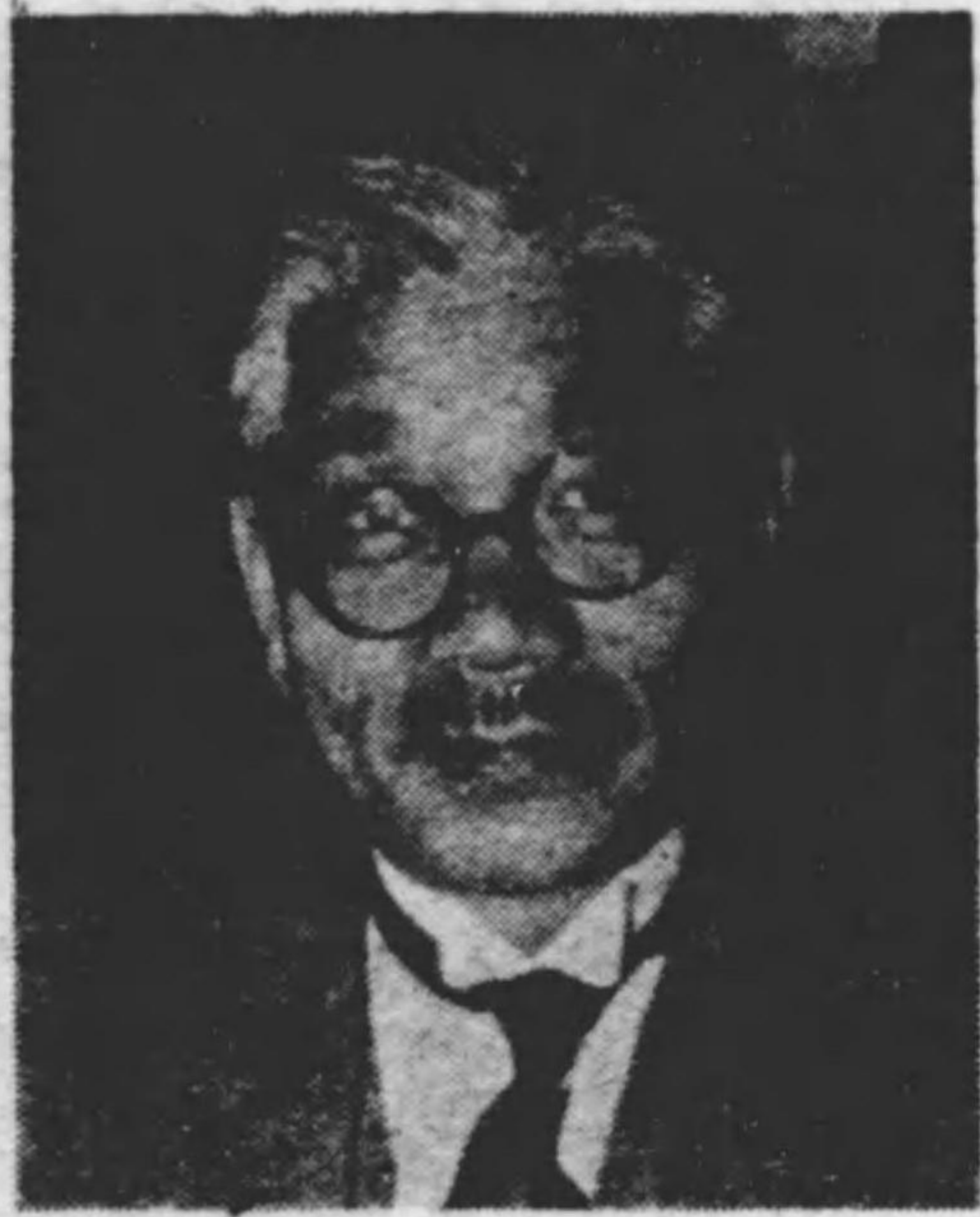
翼賛議員銘鑑（つノ部）

二五五

鹿兒島縣第一區選出
正五位勳三等會社々長

津崎 尙武

荏原區小山町六
電三田五六八



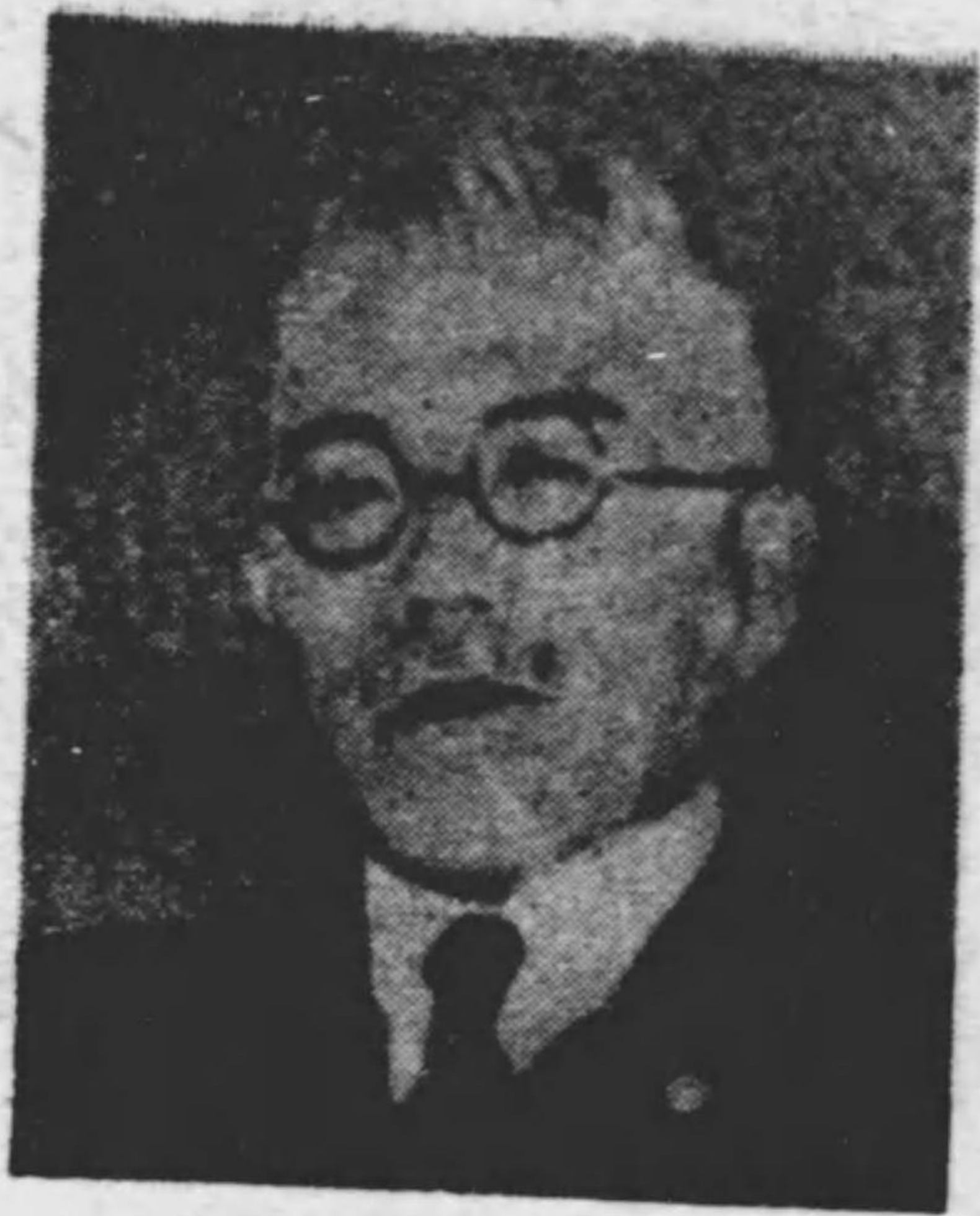
略歴 明治十五年五月鹿兒島縣肝屬郡小根占村ニ生ル、東京帝國大學法科卒業○文官高等試験ニ合格、長野縣警視、更級郡長同縣理事官、同縣視學官、紐育土地建物、東亞産業各重役、海外協會中央會副會長、滿洲移住協會理事、人口食糧問題調査會等各種委員被仰付、厚生省政務次官、米國支那ヲ視察ス、翼政會評議員、政調厚生、内務兼務委員ニ指命サル○當選七回(14 15 16 17 18 20 21)

政見 世界の根本的平和と人類の福祉を招來し世界の新文明を創設することが日本及日本人に課せられたる重大使命であります大東亞戰爭は此の目的達成の手段でありまして先づ此の戦に勝ち抜かねばなりません、惟ふに政治は國民生活の全部であります、政治はあたかも一部特權階級者の仕事の様に思はれたのは全く過去の考へ方であり、國家の立場はどうなつてゐるか、國家の動向はどうなつて行くべきかを良く見極め國民の總意をその方向に振り向け國民をして悦んで各自の職務に働かしめ相協力して國運の進展に寄與せしめることが政治の要諦であります、政治を良くすることは畢竟、此處に歸着するのであります、我國は立憲政治が布かれて五十餘年其間政治種々の變遷があつたが政治の根本には少しの變化はなく、即ち萬世一系の、天皇陛下統治の下憲法の規定に則り國民の選舉による議員をして政治に參與せしめ政治を運行せられてゐるのであります

福岡縣第二區選出
從五位勳四等 前八幡市長

圖師 兼 貳

八幡市大字槻田八九七
電八幡二七〇
神田區淡路町二ノ三二
關根屋旅館神田一八〇〇



略歴 明治十年宮崎縣ニ生ル、東京ニ於テ政治、法律、經濟ノ諸學科ヲ修ム○文官高等試験ニ合格ス、滿洲ヲ視察ス、農商務省ニ奉職シ大正九年病氣ノタメ退官ス、數年間農商務省屬託八幡市長タリ、翼政會評議員、政調内務、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

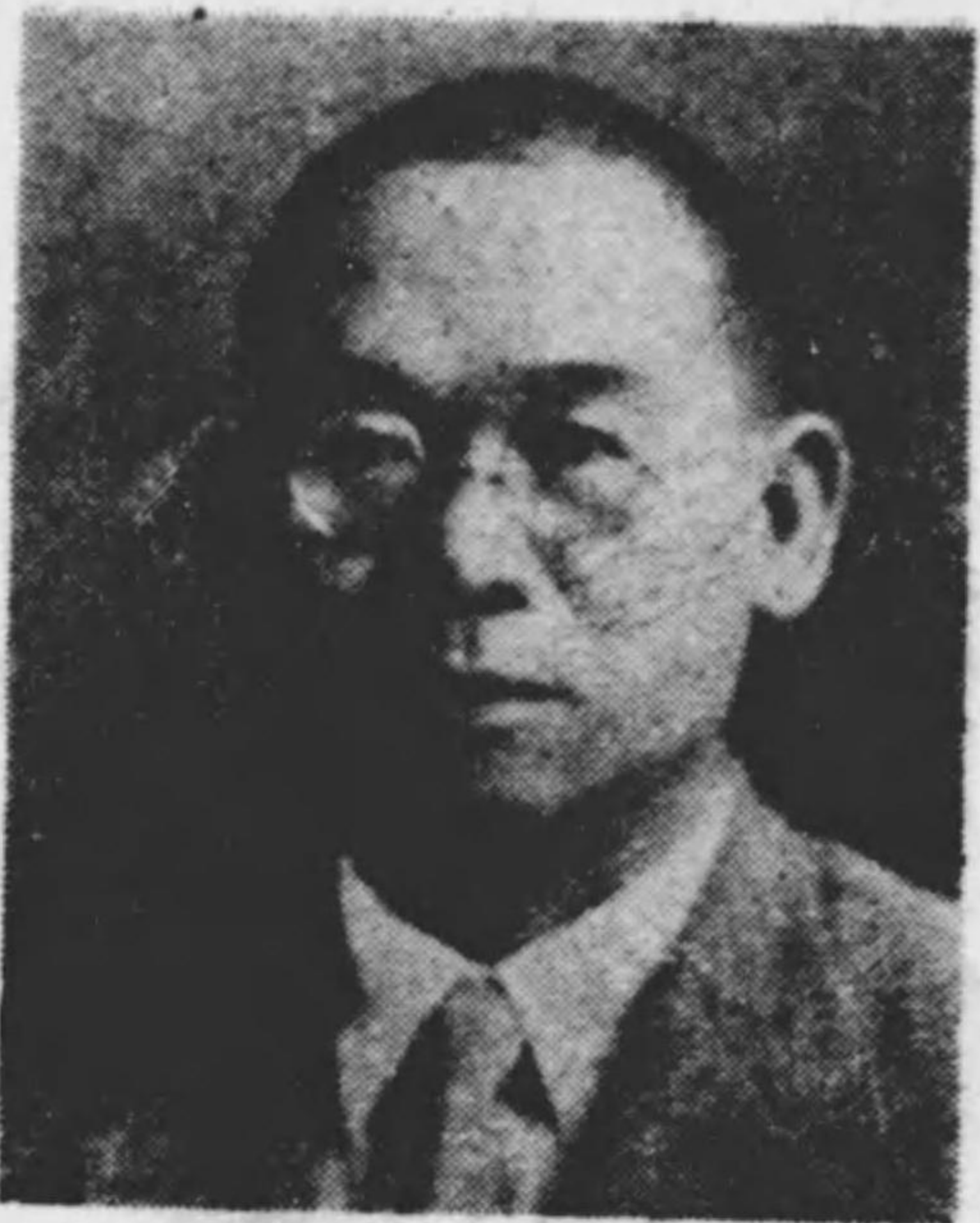
政見 政見を一貫するものは軍と政治の完全一致不可分であり、これを基礎とする國防國家體制の確立に歸一致します、かくして國防産業の確立、中小商工業者の再編成、重要農産物の計畫的増産、教育の振興擴充、地方自治の擴充など速かに整備するを必要とします、更に南方經營に關してはあらゆる創意と工夫を集注して資源の開發、經濟再建の工作、民族の鍊成指導等一つとして政治力の強化を前提とせぬものはないのであります、これ等の諸政策は翼賛議會に結集される國民の正しき總意によつて決せられるのであります、要するに、政治の國防化を何よりも必要とし、軍政の一致不可分の原則に基づき議會の國防的性格を確立し聖業の前途に必要と認めらるる政策を強行して大政翼賛し奉ることは我等に課せられたる銃後の責任なりと確く信じます米英を撃滅して東亞十億の民を指導し有終の美を修めるまで報國の誠を捧げねばなりません。

翼賛議員銘鑑(つノ部)

岡山縣第二區選出
畜産組合長

土屋源市

岡山縣阿哲郡新見町大字
高尾二四二三
電新見五七
神田區淡路町二ノ三二關
根屋旅館電神田一八〇〇



二五八

略歴 明治二十一年岡山縣阿哲郡美穀村ニ生ル、岡山縣高松農學校獸醫科卒業ス○岡山縣會議員ニ當選スルコト三回、同縣會議長ニ選ハル、阿哲郡畜産組合長、同家畜保險組合副組合長岡山縣畜産組合聯合會副會長、阿哲郡商業組合長、新見町産業組合長、阿哲郡畜産會社專務取締役、農林省一般農林水産物價形成専門委員會委員、農林省委員被仰付、翼政會政調農林、商工兼務委員ニ指名サル○當選一回(21)

政見 勝つて兜の緒を締めてこの三千年來の大和民族の歴史と八紘一宇の大義をかゝげ、虐げられた東洋十億の民族を解放するは勿論のこと廣く世界人類のため道義に基く新秩序を建設し、皇道を宣布し正義日本の眞の姿を顯現することは皇國民に課せられたる一大使命である。

するとも微動だもせぬ國防國家體制を樹立しなげばならぬと思ふ。

就中政治について言へば國民の創意と民意を國政の上に遺憾なく反映せしめ、政府と緊密に連絡して諸施策の誤りなきを期すべきであると思ふ。

廣島縣第三區選出
勳四等 農業

土屋寛

尾道市栗原町三五八〇
下谷區上野櫻木町一
牛尾方 電根岸三八一〇



略歴 明治十三年十二月廣島縣御調郡栗原村ニ生ル、尾道商業學校卒業○御調郡役所書記、栗原村長、同町長、郡農會長、廣島縣農會評議員、同副會長、帝國農會議員、數回廣島縣會議員ニ當選ス、自作農維持委員會委員被仰付、元尾道市長、翼政會政調農林委員ニ指命サル○當選四回(17 19 20 21)

政見 八紘爲宇の家族的國家觀 すでに大東亞共榮圈の確立は半ば成つた今日わが日本帝國は寒帶、亞寒帶、濕帶、亞熱帶熱帶に亘つて豊富なる資源を有し有世における有數の持てる國となつたのである、此の巨大なる資源を料理するには日本國民たるものをもつと氣宇度量を宏壯にして八紘爲宇の家族的國家觀に基き、大いに經綸を行はねばなりません、同時に足元を踏み固めて直面してゐる國難を克服して行かねばなりません、それには全國民が一致協力して恰も明治維新と同じ様な昭和維新を斷行せねばなりません。大東亞戰爭を完遂して昭和維新を斷行するためには國民は政府を支持して一億一心となつて此の戰爭を勝利によつて終末せしめねばなりません。政治も經濟も文化も一切戰爭を勝ち抜くと云ふ一點に凝結しなければなりません、不磨の大典たる憲法に依據する帝國議會はいよいよその本領を發揮して翼賛議會體制を確立して議會の眞使命を發揮せねばなりません。

翼賛議員銘鑑(つノ部)

二五九

翼賛議員銘鑑(つノ部)

二六〇

滋賀縣選出
正五位勳三等會社重役

堤 康次郎

目黒區上目黒八ノ二九八
電澁谷一二〇四



略歴 明治二十二年滋賀縣愛知郡八木莊村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業「日露財政比較論」ノ著書アリ○拓務政務次官、樺太拓殖調査、雪害對策調査會、臨時電力調査會、統制等外多數各種委員會委員被仰付、拓務省委員タリ、大東亞省委員被仰付、翼政會政調大東亞委員ニ指命サル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

政見 皇軍は至仁至愛の大御心を奉じて北邊の守りを固め支那大陸を制し南海の波濤を越へ、熱帯の曠野を進み今や世界の歴史は此戰勝を蝶つがひとして大きく轉換して居るのである、此戰は我國自衛の爲の戰であり東亞十億生靈解放の爲の戰である。世界二十億平和の爲の義戰であり、何が何でも勝ち抜かねばならぬと同時に更に戦後の建設が日本國民に課せられたる大なる責任であります。戦争が済んでも我が國の食糧は自給自足せねばなりません。然し將來共榮圈十億の人間に製品を供給せねばならぬ。工業が忙しくなると南方の安い食料を輸入して、内地は農業を捨て、工業化した方がよいと云ふ議論が起つて來ると思ふ、然し若し之を實行したなら大變です。英國の轍を踏む事になります。英國が百年前初めて食糧を植民地に仰ぎ内地を工業化さす方針をとつた結果農村が追々荒廢した事が英吉利の弱味であります。英吉利は農村を失つたのみならず實質剛健の國民性を失ひ、今日没落の端を開いたのであります。

島根縣第二區選出
從六位 地主

恒松 於菟 二一

島根縣安濃郡大田町大字
大田一六三 電大田三〇
淀橋區西落合一ノ二五二



略歴 明治二十三年島根縣ニ生ル、明治大學卒業○島根縣農會會長、島根縣養蠶組合聯合會長、同畜産組合聯合會長、産業組合支會長、島根縣購買販賣信用組合聯合會長、大政翼賛會島根縣支部、翼賛壯年團支部各顧問、山陰合同銀行取締役、農林省委員被仰付、蠶糸委員會、農業協力會議各委員、日本蠶糸統制會社監事、翼政會政調農林、文部兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 翼賛政治體制の整備強化——國民の純正なる政治思想の涵養、清新にして強力なる翼賛議會の確立により翼賛政治體制を整備強化すべきこと

國民思想の陶冶——八紘爲宇の精神を内容とする、皇道世界觀を闡明にし自由主義個人主義の外來思想を排除して公益優先の理念に基く國民思想の高揚を期すること

均衡化物資配給の適正圓滑化等により國民生活を安定せしめること

社會的施設の徹底——應召軍人遺家族に對する援護事業の徹底、國民貯蓄の増強と公債の消化、戰時生活の刷新、人的資源の培養と國民保健體位の向上、産業の配分と農村人口の適正なる分布、國民皆勞主義の普及等の社會的施設を徹底せしめること。

福岡縣第三區選出
大牟田市會議長

鶴 惣 市

大牟田市曙町
日本橋區吳服橋二ノ一七
龍名館電日本橋一七七



略歴 明治二十七年二月大牟田市ニ生ル、商店員ヨリ獨立シテ米穀商ヲ經營ス、大牟田市會議員同參事會員、同市會議長、福岡縣會議員、同參事會員ニ選ハル、臨時財政調査常設、臨時港灣調査、臨時小學校建築、所得調査委員等各種委員被命、商工省委員被仰付、鶴惣商店代表社員、翼政會政調商工、内務兼務委員ニ指命サル○當選三回(192021)

政見 大東亞戰爭が武力戰に並行する高度の經濟戰爭であることは言ふ迄もない、殊に長期に亘る消耗戰が近代戰の特色であるから「必ず勝つ」ためには強大なる資源を確保すると共に國內生産力の増強を圖らねばならぬ、今次の作戰はその構想の雄大なる點とその行動の果敢なる事は人類史上に比を見ないもので従つて此の大作戰の尠大なる需要を充たし戰鬪力をいよゝゝ増強して行くための統後國民の責務は重大であることは言を俟たない。次に大東亞戰爭が思想戰であるとすると自覺を持たねばならぬ、吾々は共產思想が武力戰にも増して恐るべきことを體驗したのであるが一日も早く知に懇へ情意に示す大文化戰、大思想戰を展開して日本の眞意を亞細亞十億の民衆に理解せしめ且つ吾が肇國の崇高無比なる理念を大東亞共榮圈の住民に徹底し、東亞を共產主義の魔手から防衛しなければならぬ、この苛烈深刻なる戰火の洗禮によつて生れ出する皇道政治の神髓は實に此處に在る。

岩手縣第三區選出
從三位勳四等著述業

鶴 見 祐 輔

麻布區櫻田町三八
電赤坂二五二五



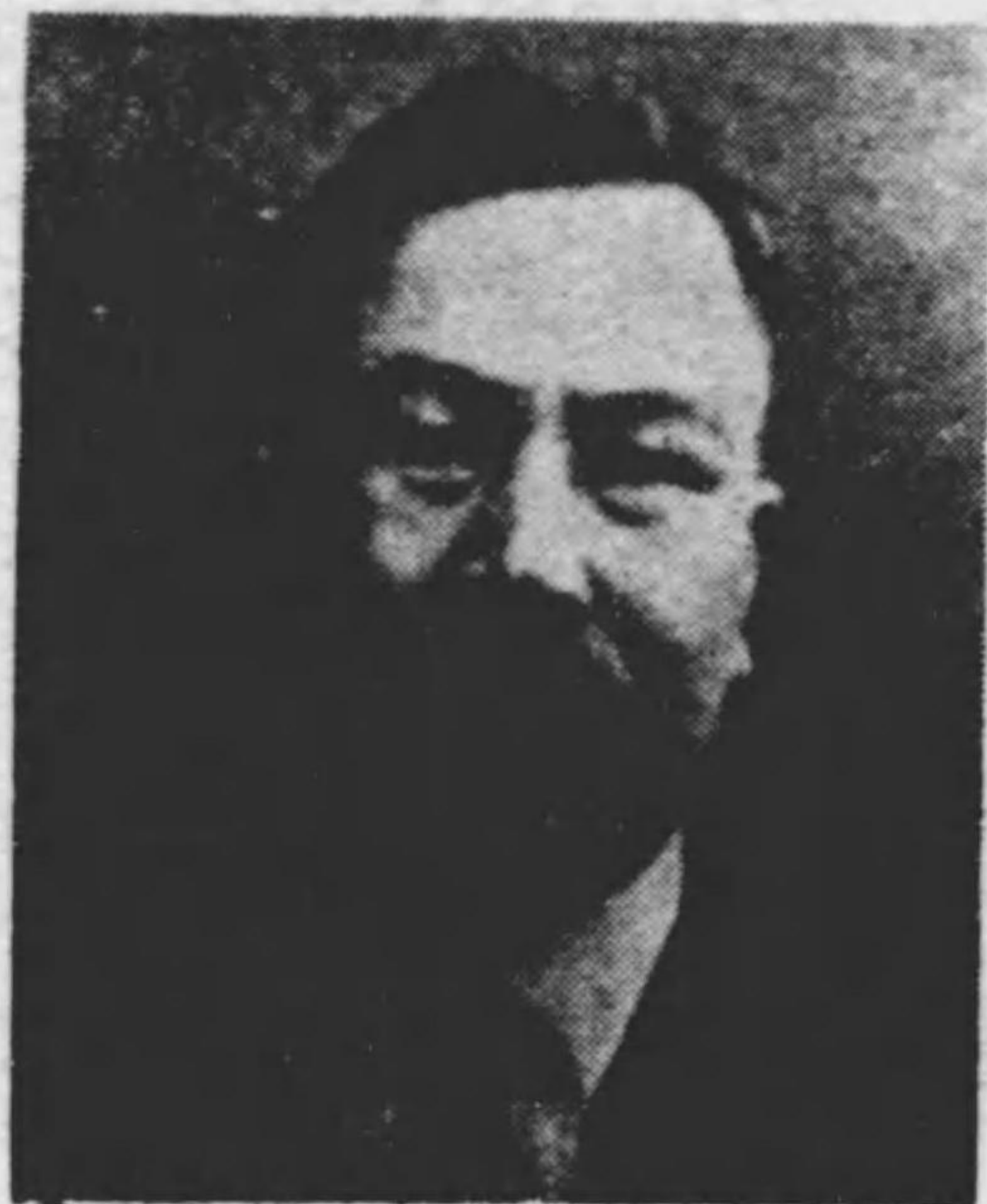
略歴 明治十八年一月群馬縣多野郡新町ニ生ル、東京帝國大學法科卒業邦文、英文ノ著書多數アリ○文官高等試驗合格、拓殖局屬ヨリ歷任シテ鐵道監察官ニ補セラル、在官中海外出張七回、國際鐵道、國際海員等ノ各會議ニ帝國政府代表、排日移民法實施ニ際シ米國各大ノ招聘ヲ渡米百數十回同法ノ非ヲ痛論ス又同國ニ六度講演旅行シ七百回ニ亘リ日本ノ國情紹介ニ努ム第一回太平洋會議(布哇)以來五回日本代表トシテ出席、外務省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、外務、内閣兼務委員ニ指命サル○當選四回(16192021)

政見 今日はまだ戰爭の序幕であり、本當の目的を達するためには、我々は米英兩國を徹底的に撃滅せねばならない、それは能く長期の戰爭に堪え、且つ山のやうな困難に打勝つて、そして大東亞共榮圈を作り上げなければならぬ、この大東亞共榮圈ができ上つたならば日本人は支那、南洋は勿論、濠洲、印度にも自由に行けるやうになつて、日本人一人々々は、今日の十倍も、百倍もの仕事ができるであらう。以上の大事業を達成いたしますためにはどうしても國內政治體制を、搖ぎなきものとせねばならぬ、即ち舉國一致、大政を翼賛し奉ることが出来るやうな仕組にせねばならない、それには國內に派閥があつてはならず、今こそ我々は世界に類例なき日本の欽定憲法の御精神に従つて、舉國一致の翼賛議會を作らなければなりません。

北海道第四區選出
正五位勳三等 辯護士

手代木 隆吉

中野區鷹宮一ノ一四五
電中野五四四〇
北海道有珠郡伊達町



略歴 明治十七年一月北海道有珠郡伊達町ニ生ル、中央大學法科卒業○小學校長、又司法官試補ヲ命セラル、後辭シテ辯護士トナリ、其業務ニ従事ス、又民政社常務理事、拓務參與官ニ被任、阿片委員會、臺灣拓殖株式會社設立、神社制度調査會各委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、大東亞委員ニ指命サル○當選六回(15 17 18 19 20 21)

政見 戦時に於て爲政者の最も心すべきことは、銃後援護を擴充強化し、之が完璧を期し、以て出征將兵をして後顧の憂ひを絶對に無からしむることであり、また外に對して大きい力を用ふる時には、國內に於ける社會事業や、厚生施設を擴充強化して、國民生活に不安なからしむる事が必要であります。皇國は、長くも、

上、御一人を親として戴き奉り、下億兆臣民悉く 陛下の赤子として、眞に肉親の家庭に於けるが如き、温く和やかな政治の行はるる國柄であります、而して衆議院議員たるものは、尊き大御心を奉戴して、よく社會の隅々に至るまで目を通し、一人でも其の所を得ざる者なきやう、充分世話をしなくてはならぬ義務を負ふものであると信じます。

鹿兒島選第二區選出
正五位勳三等 農業

寺田 市正

品川區大井坂下町二七九
二電大森五六六〇
川内市五代町七一二



略歴 明治九年四月鹿兒島縣薩摩郡水引村ニ生ル、明治大學法科卒業○時事新報記者、自由通信社副社長、航空機製造事業委員會委員被仰付、滿洲派遣軍ヲ慰問ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲上海ニ派遣セラル拓務政務次官タリ、翼政會政調大東亞委員ニ指命サル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

政見 日本は明治維新以來開國進取の積極方針に依り西洋文明の輸入に狂奔し百般の文物制度を改革し遂に模倣追従の結果現實暴露の悲哀を感ずるに至つた、物質を中心とする西洋文明は結局人類の自由思想、個人思想に立脚せる民主主義功利主義資本主義でありその絢爛と發展したる後には對立抗争を生じ相剋摩擦となり遂に階級の軋轢、鬭争を起し共產主義社會主義の發生となり萬邦無比の國體の本義を没却せんとする暴逆を生ずるに至つたのである。此處において日本及日本人は内省内察して翻然と日本固有の精神文化、道義日本の發揚に自覺したのである、彼の西洋物質文明を調攝して茲に精神と物質とを渾然融和一體化して世界の新文化を創設するは實に日本及日本人の天與の一大使命で現在世界の如何なる人類民族も到底爲し能はざる處である、斯く發憤自覺したる日本は從來の態度を一變して新文化の樹立に對し猛然として積極的建設的に自主獨往邁進して來たのである此れが發展して大東亞戰爭となつたのである。

翼賛議員銘鑑(とノ部)

二六六

鹿兒島縣第三區選出
從四位勳三等(旭) 農學博士

東 郷 實

麻布區弁町八
電赤坂四七七六



略歴 明治十四年鹿兒島縣贈叡郡財部町ニ生ル、札幌農學校
本科卒業後伯林大學ニ學フ、臺灣總督府技師、同總督府官房調
査課長、同臨時國勢調査部調査課長、同中央研究所技師、等ヲ
歴任、東京商科大学、拓殖大學講師、逓信參與官、文部政務次
官被任、米穀調査會、文政審議會、教育審議會等十數種ノ委員
被仰付、日本殖民論外著書多數、屢々歐米へ差遣セラル、翼政
會評議員、農林、大東亞兼務委員ニ指命サル○當選七回(15 16
17 18 19 20 21)

政見 白扇型の植民政策の提唱 今日大東亞戦争の展開され
るまでに日本に占領された諸地域は我等の祖先が三百年の長き
に亘り雄飛した槍舞臺であつたがその發展の方法が單に武斷的
又は商業的であり全く農業を無視し且つ女を抜きにした男ばか
りの植民であつた結果この民族的偉業も鎖國と共に惜しくも全
滅の悲運を見たのである、此等の史實から見て日本を扇の「要」とする「白扇型の植民政策」を主張
とし此の白扇の「要」は指導者たる日本であつて此の「要」である日本を増強して東亞の政治的、經
濟的、文化的建設は出發しなければならぬと思ふ「要」を増強するには豊富なる南方各種資源を開發
し高度國防國家の完成と國民生活の安定を期する東亞政策の確立に努めねばならぬ、此の場合勿論國
内農業や各種産業の發展を輕視してはならない。

北海道第五區選出
正五位會社重役

東 條 貞

目黒區三田町一九一
電大崎一六二〇



略歴 明治十八年二月松山市ニ生ル、「網走築港調査書」「北
見之林業」ノ著書アリ○室蘭タイムス記者、北海中央新聞記者
北見實業新聞記者、日刊網走新聞ヲ創刊經營ス、網走町會議員
北海道會議員、同參事會員ニ選ハル、又拓務大臣秘書官、逓信
參與官ニ任セラル、電氣通信委員會、電力審議會、船舶管理委
員會、造船事業委員會、海事審議會、航空機製造事業委員會、
航空事業調査會各委員、逓信省委員被仰付、翼政會事務局參與
政調逓信、商工兼務委員ニ指命サル○當選四回(17 19 20 21)

政見 南方諸民族の政治、文化、經濟の再編成即ち英米蘭依
存の組織を改編し、之れを指導して其の向上發展を遂げしめぬ
ばならぬ、殊に其經濟産業の部面に於て、生産を助長し、需要
物資を供給して遣るといふことは、戰時下に於ては頗る困難な
重荷であるが、之れを爲さねば共榮の意義がない、そこで戦争
遂行と共榮團建設の爲には、計畫經濟の確立、産業の再編成、消費規正、物價公定、配給制度等の複
雜困難な諸問題が生じて來る。しかし此等は官民相互の時局認識と實情理解に依つて是正せねばなら
ぬ。

翼賛議員銘鑑(とノ部)

二六七

翼賛議員銘鑑(とノ部)

埼玉縣第一區選出

遠山暉男

埼玉縣川口市北町二ノ一
三九六 電川口二九三〇



二六八

略歴 明治二十六年九月埼玉縣ニ生ル。埼玉師範學校卒業。○
鑄物業、元小學校長、埼玉縣會議長、川口市長、大政翼賛會埼
玉縣常務委員、翼政會政調商工、文部兼務委員ニ指命サル、○
當選一回(21)

政見 現在農村には勞力と肥料其他の資材が不足し、商人は
資材が不足して勞力が餘り、工業方面も亦資材と勞力が不足し
て居ます、萬一農業方面の民力が衰へたなら、それを戦力に
重大なる影響を及す事に成る故政府は一段と農村民力の増強の
爲に補助金交附、農産品の適正價の改訂、資材の増配、農村
勞力の確保、農村文化の指導に、努力を拂はれたい、次に商業
方面は統制強化の必要上の爲に轉廢業を必然的に行はねばなら
なくなり、東條首相は先日轉廢業者は銃後の傷兵なりと
同情を寄せられたが實際之を扱ふ者は其親心を以て親切に指導
し、其の助成す可きものには速に補助を行ひ、一日も早く所期の目的を達成する様努力しなければ
なりません。生産に従ふ工業界も資材と勞力の關係から其能力を充分に發揮し得ない者があることは事
實である、茲に熟考すべきは公平にして且合理的なる統制配給の實施である、資材勞力の配給問題、
戦時犠牲の問題等今後更に改善を要する點を諒しとしない。

愛知縣第三區選出
正四位勳二等會社重役

富田愛次郎

荏原區小山町七ノ四九八
電荏原五二五八



略歴

明治十八年五月愛知縣中島郡祖父江町ニ生ル、京都帝
學大學法學科卒業。○内務省社會局勞働部長、社會部長、中央職
業紹介事務局局長、數次歐米ニ失業、住宅問題等ノ調査ヲ又南米ニ
移殖民問題研究ノタメ出張、又政府代表トシテ瑞西壽府ニ開催
ノ國際勞働會議ニ列席、三重、廣島各縣知事、恩賜財團軍人援
護會設立ニ當リ理事長ニ就任、厚生省委員被仰付、翼政會事務
局參與、政調厚生、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見

今日の政治の目標は大東亞戰の完遂とその建設にある
から産業の擴充も、教育文化の刷新も、税制も、經濟の諸政策
も皆この線に副ふて行はれなければならないことは論のない所
であります。大東亞戰の進行につれ統制經濟は益々強化されて
行くことも自然の勢であります。この大戦を完遂するため國
民は困苦缺乏に堪える覺悟は充分に出來て居ります。然し乍ら
これが爲に國民の獨創心の躍動や、能率を減退せしめ國民に明日への希望を失はしめるやうの事があ
つてはなりません。殊に經濟團體や中小商工業の再編成に當りまして失業者、轉業者は國家躍進のた
めの犠牲であつて、國家總力戰に於ける一負傷者であるから單なる冷き救済でなく眞に温き親心を以
て之が對策に遺憾のないやう致さなければなりません。尙食糧増産政策の樹立につき肥料配給の圓滑
化の如き喫緊の要務なるを痛感するものであります。

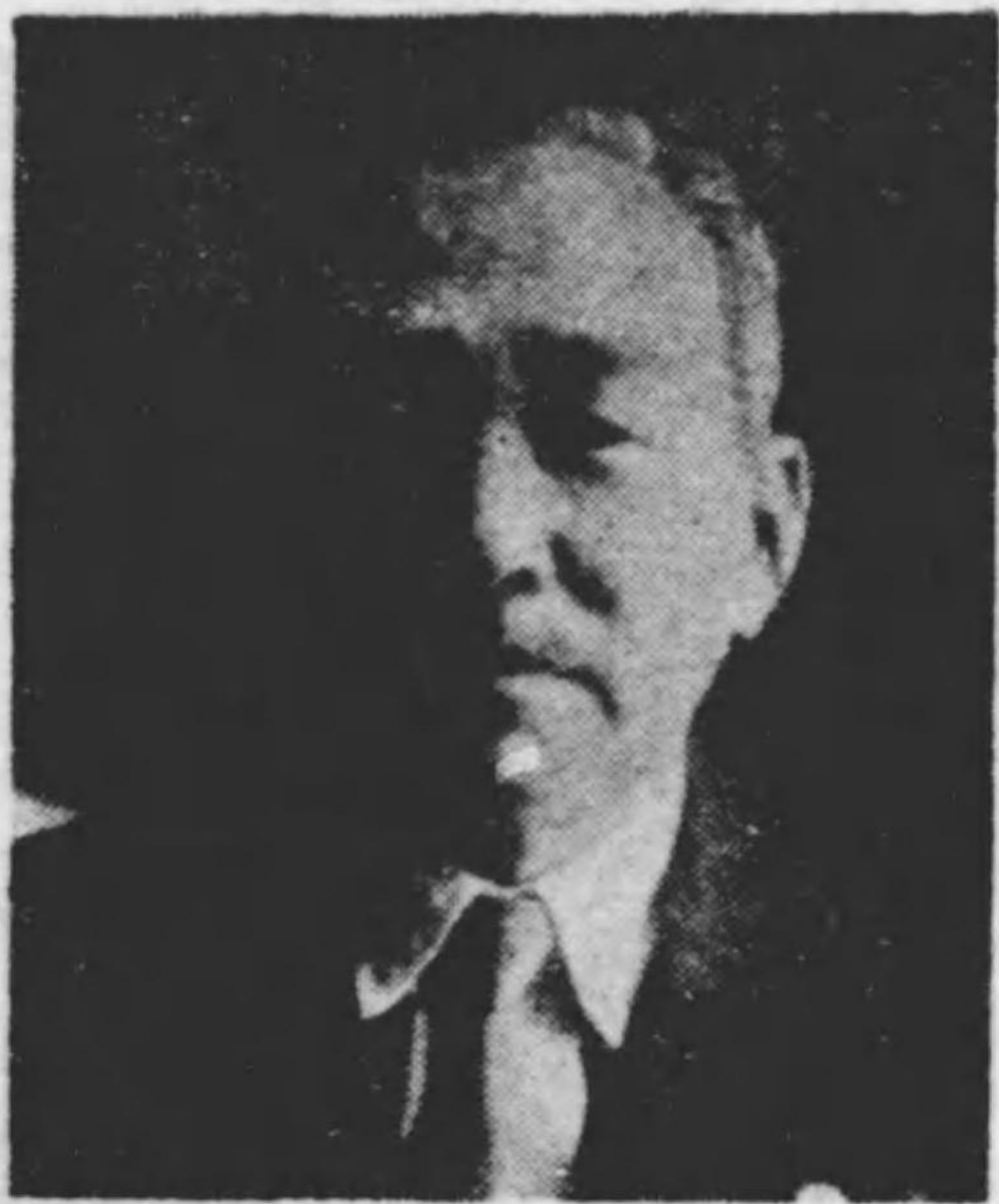
翼賛議員銘鑑(とノ部)

二六九

鳥取縣選出
從四位勳三等

豊田 收

滋谷區原宿三ノ二七一
電青山二三五八



略歴 明治十五年十一月鳥取縣東伯郡由良町ニ生ル、東京帝國大學獨法科卒業後英國牛津大學ニ學フ○文官高等試験ニ合格鐵道院ニ入り鐵道監察官ニ果進ス、青山學院講師、鳥取縣育英中學校長、中央大學講師、鐵道事業視察ノタメ歐米、各國亞弗利加ニ留學ス、大藏參與官、鐵道會議議員、國有財産調査會委員等各種委員ヲ被仰付、滿洲國視察中支ノ皇軍慰問、大政翼賛會調査委員、內閣企畫院委員被仰付、翼政會政調、內閣、大藏兼務委員ニ指命サル○當選六回（16 17 18 19 20 21）

政見 聖戰完遂上必要なる問題 一、戰時生産力の維持増強 二、重要國防産業の生産擴充、三、各種生産の増産、充流、配給消費等機構の再編成、四、戰時食糧對策の整備、五、中小商工業者の整理統合、六、石油政策の確立、七、東亞共榮圈内の交通運輸問題、八、人口増加勞力増強對策、九、南方資源の開發並に之が敵性國家に對する流出防止、十、對華僑問題、十一、南方民族の同化政策、十二、出征家族並に遺家族に對する各種援護事業の充實普及、十三、貯蓄及公債購入の獎勵、十四、教育の刷新、國民體位の向上、以上の政策を實施するためには國民の非常なる犠牲と努力を必要とするのである、國民も亦目前の不自由や窮乏をも忍ばねばならず、至高至大の聖業を達成し奉るためには最後の血の一滴をも進んで國家に捧ぐべきである。

茨城縣第一區選出
正五位勳三等 著述業

豊田 豊吉

中野區上高田一ノ三七
電中野五一四六



略歴 明治二十三年二月茨城縣北相馬郡東父間村ニ生ル、早稲大學商科卒業「對支懸案ノ真相」ノ著アリ○ラサ島燐礦株式會社員、中華企業株式會社參事、國家總動員審議會委員被仰付第三十回列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス、又派遣軍等慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラレ、東京市助役タリ、大藏省委員被仰付、翼政會政調大藏委員ニ指命サル○當選四回（18 19 20 21）

政見、今や日本はこれから南方圈の豊富なる大資源がわが手中に歸しまして、日本の將來の生産擴充に資する所が極めて大になります。ただ然し當面のところ、廣大なる作戰區域になつて居りますから、船腹の不足は一時的には止むを得ない現象であり、又勞働力の不足も已むなき現下の態勢であります。これには國內の經濟體制を益々整備強化して企業の整理合同を行ひ、無駄を除き合理化を實行し、其よつて生ずる資材も、勞力も、努めて造船能力に全力を注がねばなりません。中小商工業の再編成に當つては、我國獨特の強味である中小商工業の有する社會性を充分認識して、國策の線に副ひつゝ家族産業としての健全なる發達を圖らねばなりません。在來の教育が歐米思潮に多分なる影響を受けてゐたことは争ふことは出来な、然し今後は翻然として日本本來の姿に歸り、八紘一字の大見識に基きアジアの盟主たる指導を涵養せねばならない。

翼賛議員銘鑑（なノ部）

二七二

神奈川縣第一區選出

中 助 松
横濱市保土ヶ谷區月見臺
二三九電神奈川二二六一



る意氣と熱意とを傾けて、大東亞共榮圈の基礎確立に挺身することを誓ふものであります。

略歴 明治大學政治經濟科卒業○神奈川縣會議員當選、同縣會副議長ニ舉ケラル、翼政會政調幹事、厚生、商工兼務員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 南方建設大東亞共榮圈確立これこそはまさに我々に課せられた實に偉大なる使命であります。私は飽くまで此の使命達成に邁進する覺悟であります。然しながら申上ぐるまでもなく南方建設は、南方の爲めのみならず、何處までも帝國と南方との共榮的建設であらねばならぬのであります。従つて之が爲めには南方と内地との高度の政治的連絡を必要とするこ

と、是亦申上ぐるまでもないところであります。聖戰に對する臣民翼賛の至誠を憲法的に動員して、議會の政治力を更新し、高度國防國家體制を確立する爲めの清新強力なる翼賛政治體制を整へんとする今次總選舉の根本理念を體し漲

兵庫縣第一區選出
正五位勳三等 辯護士

中 井 一 夫

牛込區市ヶ谷左内町八
電牛込三三八〇



略歴 明治二十三年大阪市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○神戸地方裁判所判事、兵庫縣會議員當選二回、兵庫縣及神戸市囑託、第七十五議會懲罰委員長、内務參與官、内務省土木會議員、大政翼賛會議會局副部長、同中央協力會議員、同兵庫縣支部顧問、内務省委員被仰付、翼政會政調内務、商工兼務委員ニ指命サル○當選五回（17 18 19 20 21）

政見「勝ちぬくぞ」此一語こそは我等の鐵石心であります。米英を倒さずんば日本が倒れる、日本が倒れて何處に日本人があり得るか、我等は勝たねばならぬ。

必勝の信念、これぞ戰時國民生活總ての根本であります。然しながら戰爭は一の力を以て十の仕事爲さねばならぬものであります。是處に無理ができ不自由が生じます。

をせねばならず、國民は又如何なる困苦にも堪え忍び、一切を君國に捧げて惜しまないのであります。國民の赤誠と此の困苦、之れを調和して國民の總力を戰勝の一點に集結することが、即ち「必勝の政治」であると、私は信じます。

翼賛議員銘鑑（なノ部）

二七三

熊本縣第二區選出
正七位 農業

中 川 亮 作

熊本縣天草郡手野村大字
井手二六四電城河原三
世田谷區羽根木町一六六
二 中井國臣方



略歴 明治十八年三月熊本縣天草郡手野村ニ生ル、東京帝國大學卒業○熊本縣購買聯合會長、多額納稅者、大政翼賛會縣支部顧問、農林省委員被仰付、翼政會政調農林委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 時局と議會 昭和十五年夏以來國民組織の再編成が朝野を通じて絶叫された、これは支那事變が長期化することを覺悟せねばならず、必然的に高度國防國家の建設が強く要請された結果であると考へる。國民組織の再編成は所謂新體制と言ふ言葉をもつて政治、經濟、文化の凡ゆる生活部面に向つて嵐の如く、潮の如く強く主張されたのであるがこれは近衛公によつて大政翼賛會が設立され組織として現實化されたのである。然るに大政翼賛會は政治結社でなく公事結社であるため實際運動においては相當の効果を挙げたのであるが遺憾乍ら政治力を缺いてゐるために政治上の活動力が弱かつた憲法上において實際的に政治力を持つてゐる議會は残念乍ら何等の創意を持つ積極的活動を有することなく政黨的意識で譯もなく論議行動に終始してゐたのである。斯くの如き議會の態度では今日の時局に斷じて適應は困難であつたのである、政治の第一線に立つ議會は國民の眞率熾烈なる報國の熱心に副ふべく積極的活動を展開して政治力を遺憾なく發揮せねばならぬと思ふ。

茨城縣第二區選出
正五位勳三等

中 井 川 浩

牛込區余丁町九六
電四谷一八九〇



略歴 明治三十三年茨城縣那珂郡木崎町ニ生ル、日本大學及早稲大學ニ學フ○土浦町會議員、茨城縣會議員、拓務省、鐵道省各囑託、いばらき新聞取締役、財團法人茨城中學校理事、文部大臣秘書官、商工大臣秘書官ニ被任、皇軍慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラル、文部省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、陸軍、農林兼務委員○當選四回(18 19 21 21)

政見 大東亞戰爭は一面戰爭、一面建設の意義を持つ戰爭である。従つて大東亞建設の爲には戰爭と駢進して對外的對内的に凡ゆる施策が行はれねばならぬ、其對外策の第一は速に蔣政權を打倒して大陸政策を確立し日滿華を通ずる農商工等の綜合的經濟計畫を樹立すべきである。第二には亞細亞民族の歴史と傳統とを尊重して其獨立と繁榮とを期すべきである。第三は南方政策を樹立して國本培養の源泉たらしめねばならぬ。東亞共榮を建設する爲に、長期戦必勝の國內體制の整備強化が要請せられるのは當然である。其第一は高度國防國家の完成に在り政治も經濟も産業も教育も皆此線に沿ふて革新の體制を整へねばならぬ。第二は翼賛政治體制を確立して内閣、議會、行政機構が三位一體と成つて上意を下達し、下意を上達する天業翼賛の政道を実現すべきであり、第三は生産力の擴充策の實行と相俟つて軍需並に重要産業の統制強化と共に個人の獨創性發揮に努め資源の開発平和産業の振興に資與すべきである。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

富山縣第一區選出
農業

中川 寛治

富山縣下新川郡泊町三六
六電泊二
板橋區板橋町六ノ七五八
中川時次方



二七六

略歴 明治三十三年三月富山縣新川郡泊町ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○富山縣會議員ニ當選、副議長ニ選ハル、大政翼賛會富山縣支部常務委員、同理事同協力會議員ニ囑託セラレ、縣支部庶務部長ニ任セラレ、泊産業組合長、翼政會政調文部、厚生兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 第一 大東亞戰爭を完遂する爲國民の總力を結集し且つ國民をして各々其の所を得しめて其最大の能力を遺憾なく發揮せしめること

第二 議會をして對立的批判的の性格を脱却せしめ眞に翼賛的且協力的たらしむること

第三 大東亞皇化圈を建設し、進んで世界新秩序の確立を促進する爲、國民の創意と工夫を最高度に利用するは勿論、一切の自由主義個人主義等の米英的思想と行動を國內より一掃し皇國精神の昂揚を期し以て聖業達成に邁進すること

秋田縣第一區選出
會社々長

中川 重春

澁谷區金王町一六
電青山三七〇
秋田縣南秋田郡船川港町
船川字泉臺



略歴

明年二十三年六月秋田縣南秋田郡船川港町ニ生ル、早稻田大學卒業○樺太廳囑託、船川電氣株式會社常務取締役、船川港町青年團長、町會議員、郡會議員、縣會議員、船川町漁業組合長、中川合資會社代表社員、船川汽船會社社長、船川電氣株式會社社長、西比利亞、滿洲ヲ視察ス、第三十三回列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス、遞信省委員被仰付、翼政會政調遞信、鐵道兼務委員○當選三回(192021)

政見 苟くも臣子たる者は、虔んで、聖旨を奉體し以て征戰の目的を達成するに努め、如何なる長期戰となるにせよ、戦ひ通し勝ち抜かねばならぬ、第一線の北は酷寒風雪を凌ぎ、南は炎暑瘴熱を侵して、勇戰奮闘する將兵と呼應して、銃後に於ける戦争力の大擴充、強化をなして、國民の本分を盡すに挺身せねばなりません。翼賛政治の根本理念とは、これに外ならぬと信じます。これを具體化するには、先づ第一に國民が擧つて人力と財力と物資をば出来るだけ戰爭の大擴充、強化に集中し國民皆勞、貯蓄獎勵、物資節約等に努めて、その「生活基準の切下」を益々實踐せねばならない、武力戰、經濟戰、思想戰これに完全に打ち勝つ國民活力の培養、育成が、近代戰に決定的勢力を獲得するのであり、翼賛政治の具體化とは、その職分、職域、職場に於て、國民が必勝の信念に燃えて、十分なる奉公を致す事であると信じます。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

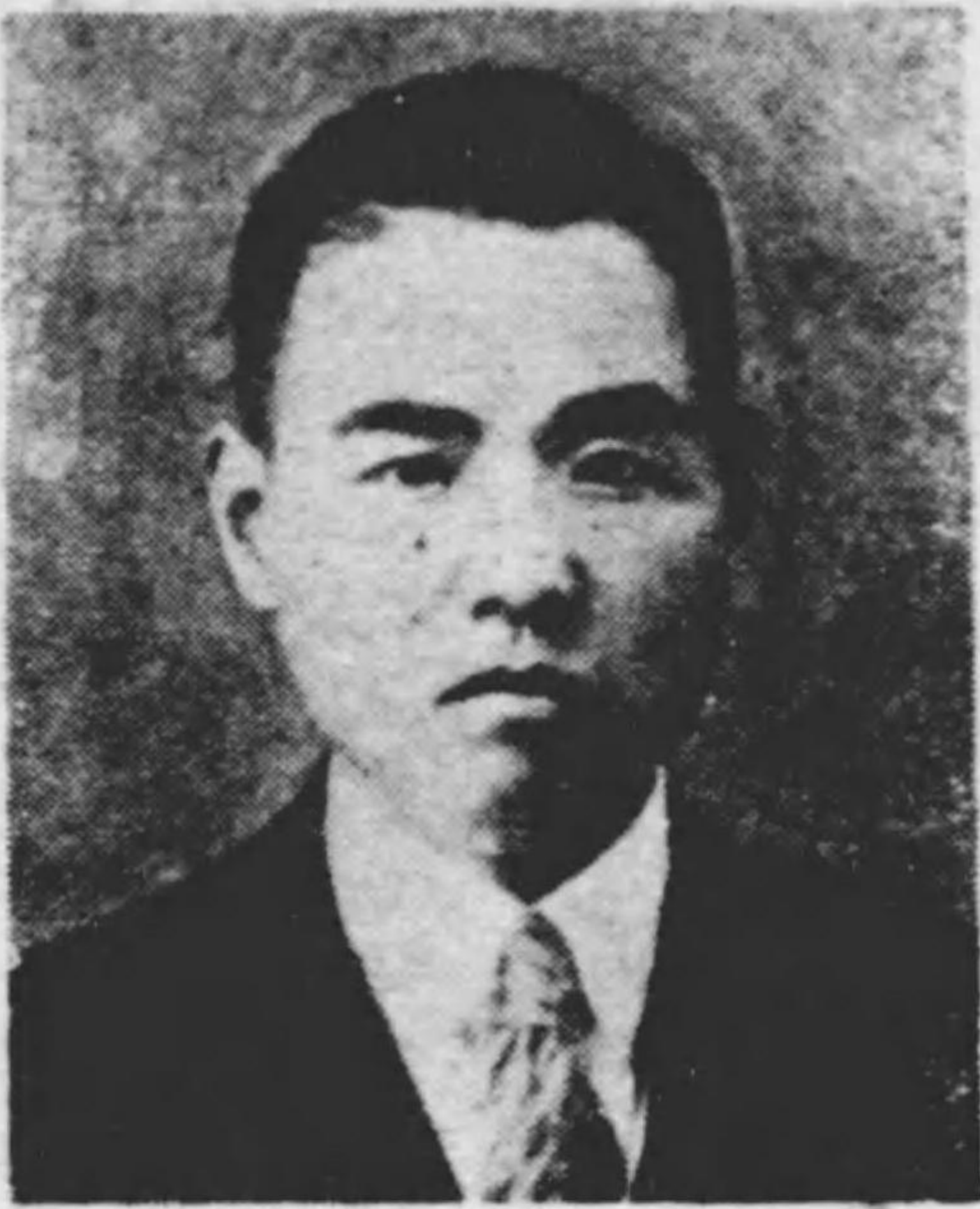
二七七

翼賛議員銘鑑(なノ部)

高知縣第二區選出
農業

中 越 義 幸

高知市小川町二
芝區田村町五ノ一
淺海旅館 電話一三六三



二七八

略歴 明治二十七年九月高知縣高岡郡樽原村ニ生ル、高知縣立農業學校ヲ卒業○村農會技手ヲ拜命、後ニ青年學校教員トナル、生地樽原村助役ヲ經テ樽原村々長ニ就任ス、縣會議員ニ當選引繼キ縣會議員ニ當選スルコト四回、昭和九年高岡郡畜産組合長ニ選ハル、大政翼賛會臨時中央協議會議員高知縣代表トナリ大政翼賛會最初ノ中央協力會議ニ列席ス、昭和十六年二月大政翼賛會高知縣支部組織部長ヲ命セラレ、縣下翼賛運動ニ挺身シ昭和十七年二月辭任ス、昭和十七年三月高知縣森林組合聯合會常務理事トナル、翼政會政調文部、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 大東亞戰爭を完遂するためには赤心報國の念あるのみであります、憂國の至情をもつて此の未曾有の大國難を打破して大東亞戰爭を勝ち抜かねばなりません。この五尺の體に激し來る土佐魂をもつて政治家としての大任を果し國民の期待に添はんことを神明に誓ふものであります、大東亞戰下における政治家の任務は實に重且つ大であること痛切に感ずるものであります、國民諸君と共に斷乎として米英打倒の最後まで戦ひ抜かん決心であります。

群馬縣第一區選出
正三位勳二等會社重役

中 島 知 久 平

麴町區四番町四ノ六
電九段二六八



細亞建設を企圖し、全力を是が達成に集結して參つたのは此根本理念即ち此世界觀に依るものであります。然しながら、卒直に云へば、大亞細亞建設は決して理想の全部ではなく、其第一段階に過ぎないのであつて、最後の目標は、更に豪壯雄渾たるべきことは、瞭かに我が世界觀の命する所でありす。我々は此際傳統を振起し、一致協力、聖業推進の指導勢力を樹立し、世界歴史轉換の大偉業達成に邁進し、祖先の遺烈を顯揚せんことを期さねばならないと思ふのであります。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

二七九

略歴 明治十七年一月群馬縣新田郡尾島町ニ生ル、海軍大學校(飛行機專科)卒業○海軍機關大尉ニ任セラレ、商工政務次官、鐵道大臣ニ任セラレ、瓦斯事業委員會、農林審議會、不當廉賣審查委員會、國産振興委員會、關稅調查委員會各委員被仰付翼政會顧問ヲ委囑サル○當選五回(17 18 19 20 21)

政見 今次の大東亞戰爭は、日本民族が神聖なる理念に基き神業達成のための戰爭であつて、直ちに崇高なる神聖戰爭と謂ふべきである。斯かる聖戰に參與し、一身を捧げて神業遂行に奉仕することは、眞に人生最高の光榮であり、無上の幸福とする所である。是實に日本民族特有の世界觀である。我々は此世界觀を強く守り、強く實踐する限りに於て、神意を體現し、神業を翼賛し得るものであつて、即身即神の崇高なる感激と榮光とを擔ふことが出来るのである。私が各位と共に徹頭徹尾大亞

東京府第二區選出
從四位勳三等會社顧問
中 島 彌 團 次
本郷區向ヶ岡彌生町三
電小石川五四〇



略歴 明治十九年六月高知縣安藝郡野根村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試驗合格、青森縣屬、專賣局副參事、大藏、内務、内閣總理各大臣秘書官、鐵道參與官、大藏政務次官、關稅調查委員會、東北振興調查會、關稅調查委員會、國有財産調査會等各委員被仰付、露領シベリヤニ出張ヲ命セラレ鹽供給ノ狀況及取締方法等ヲ視察ス、大藏省委員被仰付、翼政會政調大藏、行政事務簡素化特別、商工兼務委員ニ指命サル
○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 大東亞戰の目的は肇國の理想の實現であります。八紘一宇の大精神に基いて大東亞共榮圈を確立すると共に世界の新秩序を建設し萬邦各民族各々其の所を得せしむるにあります。而して今後我國の使命は無限にして且偉大であります。大東亞圈内には十億の人口と無數の民族を抱擁して居ります。我國は彼等と共に大東亞經濟建設をなさねばなりません。其の基本方針とする所は(一)には大東亞經濟は大東亞を防衛し得るに十分なる軍備を擴充せねばなりません。(二)には大東亞經濟は自給自足を原則として各民族が物資、資金を綜合的に高率を發揮せしめ各々其の所を得せしむるにあります。(三)には資源の狀態、住民の傳統及能力を十分に考慮し産業、金融、交易、交通、運輸、通信を整備せねばなりません。我等は一億一心一切の相刻を捨て、此の世紀の大業の完遂に邁進せねばなりません。

長崎縣第一區選出
正四位勳三等

中 瀬 拙 夫

本郷區駒込神明町三〇八
電駒込一三二一



略歴 明治十七年六月長崎縣島原市ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨法科卒業○文官高等試驗ニ合格、臺灣總督府專賣局長臺北州知事、臺灣總督府殖産局長ヲ歴任ス、糖業視察ノタメ蘭領東印度ニ出張、山縣公佛印視察派遣ニ隨行ス、佛國政府ヨリ勳章ヲ贈ラル、食用糖蜜需給統制會長、日本糖業聯合會常務理事、拓務省囑託、アルコール輸送株式會社取締役、拓務省委員タリ、大東亞省委員被仰付、翼政會政調大東亞委員ニ指命サル
○當選一回(21)

政見 日本國民は 皇室を中心とし奉り 御稜威の下協心戮力して各々この本分を盡すことに依つて初めて國家的興隆と民族的發展を期し得るものであります。即ち大にしては軍事、政治、經濟、教育等各般の領域小にしては一個人の日常生活の範圍に至るまで、同百の行動、施設に至るまで盡く皆如上の原理にその根據を置くべきであると信じます。これは日本の歴史の證明する處であります。多年我國に對して敵對行動を執り來れる仇敵に對しては斷乎として之を排撃し永くこの禍根を絶つべく徹底的に膺懲せんことを期せねばなりません此のために必要なる政策を支持、強化、擴充し一方には日本精神を昂揚致しますと同時に一面科學思想の普及を忘れてはならない。科學が今次戰爭の一つの勝因であることを注意したいと思ひます。

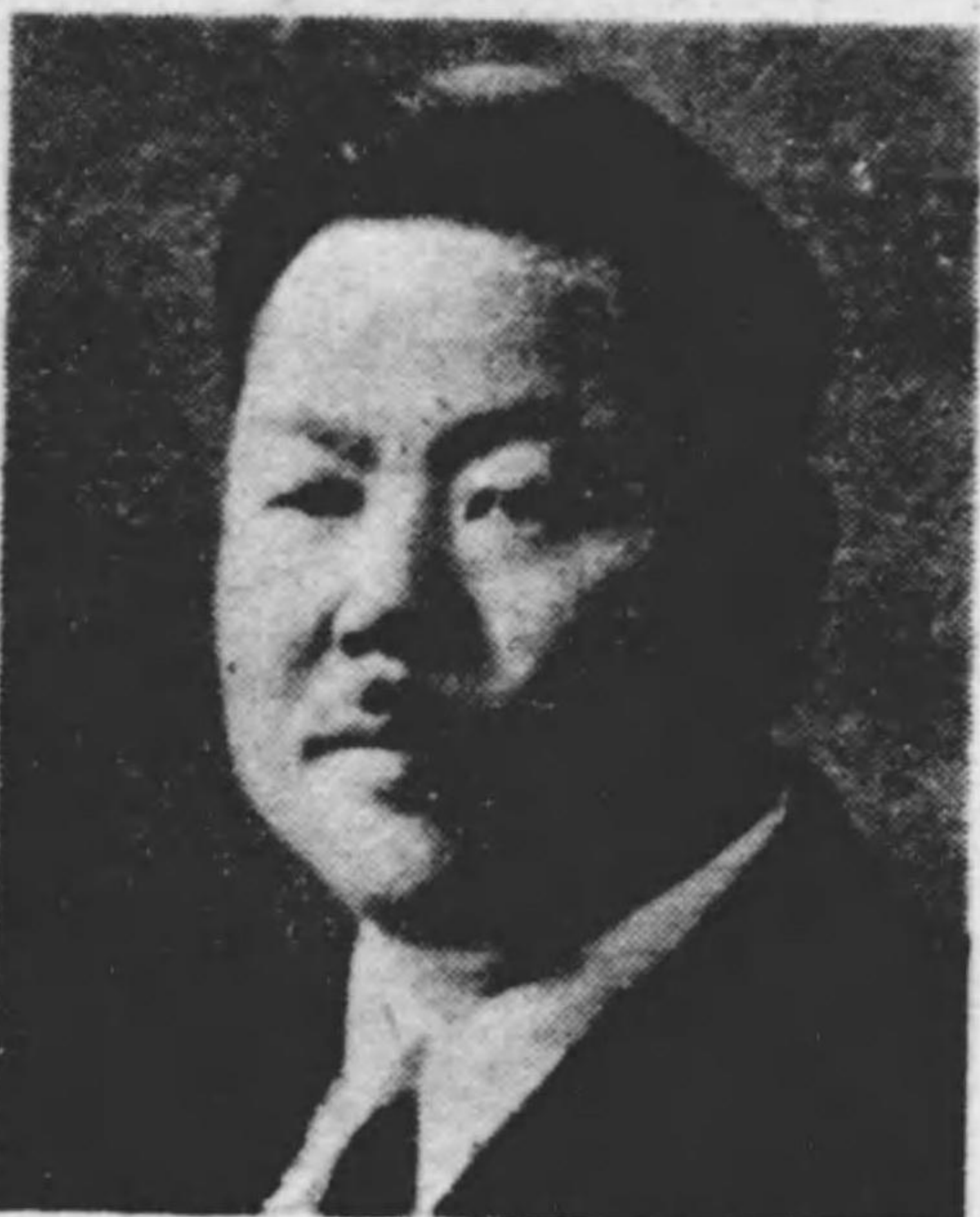
翼賛議員銘鑑(なノ部)

二八二

和歌山縣第一區選出
法政大學教授

中 谷 武 世

世田ヶ谷區代田町一ノ七八三
電世田ヶ谷三〇二九



略歴 明治三十一年和歌山縣海草郡西脇野村ニ生ル、東京帝國大學法學部政治學科卒業○歩兵六十一聯隊ニ入隊陸軍歩兵少尉任官、法政大學講師、同大學教授、陸軍經理學校講師、大亞細亞協會常任理事、興亞院囑託、興亞委員會常任幹事、汪精衛氏ノ新國民政府樹立ニ當リ國民使節トシテ阿部大使ニ隨行、大政翼賛會調査委員、大日本興亞同盟常務理事、内閣興亞院委員タリ、大東亞省委員被仰付、翼政會政調理事ニ指命サル○當選一回(21)

政見 凡そ國家が興亡を賭して大戦争を遂行する場合に國內體制に於て當然に具備すべき絶對的要件として次のことが要請されます。一は國民思想の統一、即ち思想國防の徹底であります。二は經濟統制の強化、積極的計畫經濟の遂行であります。

日本國民の愛國心と盡忠奉公の精神を信じて疑ひませぬが、大東亞戦争の長期化、深刻化と共に益々固有の民族精神を作興振起し、外來の不純なる唯物思想、功利思想を根絶しなければならぬと思ふのであります。戦時に民心の虚を覗ふ共產主義、社會主義の思想に對する警戒はもとより、英米的個人主義、自由主義の思想人生觀はなほ我が國民の各層に多分に根を残して居りますから、之を速かに清掃純化して、強健無比なる國民思想を建設しなければならぬのであります。

福井縣選出
勳四等(旭)農業

中 西 敏 憲

目黒區中目黒三ノ九七六
電大崎四三〇九



略歴 明治二十七年三月福井縣南條郡山村ニ生ル、東京帝國大學英法科卒業○高等文官試験ニ合格、南滿洲鐵道株式會社入社理事ニ進ミ退職ス、滿洲ノ實業界教育界ニ功勞アリ、歐米留學ス、昭和十六年二月松岡外相ニ隨行シ、獨逸、伊太利ヲ視察ス、滿洲、獨逸、伊太利ヨリ勳章授與サル、大日本興亞同盟協議員、商工省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調理事、連絡委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 此度びの大東亞戦争は、我が大和民族の抱く大理想を實現せんとするものでありますから如何に、此の戦ひが長期化する共、あくまで戦ひ抜かねばならぬ聖戦であります、此の歴史的大決戦を勝利によつて完遂して民族理想たる大東亞共榮圈を確立するためには、内に外に爲さねばならぬ仕事は極めて多いのであります、要するにこの仕事の中で一番大切なことは先づ國內體制において強い新しい、政治力を結集しこれが根幹となつて諸般の政治を遂行しなければならぬと信じます、一億一心となつて國民の總力があらゆる部門において充分に發揮される體制、即ち翼賛體制を確立せねばならぬのであります。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

二八三

翼賛議員銘鑑（なノ部）

二八四

愛知縣第一區選出
半田市名譽市長

中 埜 半 左 衛 門

愛知縣半田市字中村九
電半田五七
麴町區丸ノ内一丸ノ内
テル 丸ノ内二二六一ホ



國家の建設と言ひ結局肇國の大理想顯現の道程にすぎないのである大東亞戰爭の完遂、共榮圈の確立も亦然りである。而して大東亞戰爭は正にこれからであるから全國民は必勝の信念を火と燃やし第一線將兵の心を心として思想戦にも經濟戦にも勝ち抜かねばならない、官民一致、一體協力の實をあげて聖業達成に至誠を盡して大御心にそひ聖恩の萬分の一に應へ奉らなければならぬ。

略歴 明治二十一年二月半田市中村町ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業後歐米ニ留學ス○東京朝日新聞記者、東方時論社ヲ起シ社長兼主筆トナル、多數ノ著書アリ、大藏省參與官、逓信政務次官、預金部資金運用委員會、人口食糧問題調査會其他各種委員被仰付、北米、支那ヲ視察ス、東方會總裁、大政翼賛會總務タリ、最近東方會ヲ東方同志會ト改組改稱シ總裁タリ、翼政會評議員、外務委員ニ任命サル○當選八回（14 15 16 17 18 19 20 21）

政見 翼賛政治會の成立は我國本來の政治に向つて立歸ることであり、眞に慶賀にたへない次第である。然しながら、その成果に到つては將來尙大いに努力せねばならぬと思ふ。此の翼賛議會の運営に就ては遠大なる構想と眞に雄渾なる氣宇をもつて當らねばならない、從來の政黨が政權を目標として争つたのは過去の夢であり、我等代議士は一地方一職域に拘泥せず國家本位に舉國的國民運動の基礎の上に立つて八紘爲宇の肇國の大理想實現を期せねばならぬ、翼賛議會の確立と言ひ、高度國防

福岡縣第一區選出
正五位勳四等東方同志會總裁

中 野 正 剛

澁谷區代々木本町八〇八
電四谷一〇〇〇



略歴 明治十九年二月福岡市ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業後歐米ニ留學ス○東京朝日新聞記者、東方時論社ヲ起シ社長兼主筆トナル、多數ノ著書アリ、大藏省參與官、逓信政務次官、預金部資金運用委員會、人口食糧問題調査會其他各種委員被仰付、北米、支那ヲ視察ス、東方會總裁、大政翼賛會總務タリ、最近東方會ヲ東方同志會ト改組改稱シ總裁タリ、翼政會評議員、外務委員ニ任命サル○當選八回（14 15 16 17 18 19 20 21）

政見（東方會の政策）一、大東亞廣域經濟の確立……生産力の飛躍的擴充は大東亞戰必勝の絶對的要請である、これが爲には國家は原則として統制すれども經營せず企業合同に當りては機械的惡平等を排して適正規模統制を採用し事業人の創意と發奮を躍動せしむべし。

一、官吏制度の改革……行政は高邁なる政治指導の下に其の分を守り、官界の門戸を開放し學閥偏重の弊風を打破して民情に精通し經驗豐富なる民間有爲の人材を登用すべし、官吏は擔任せる事務につき責を任じその失態に關しては絶對の責任を執るべし、官吏の頻繁なる轉任を止め出来る限り同一部署に置き事務に練達すべし、官吏の責任の重要性に鑑み薄給者の待遇を改善しその途に安んぜしめ眞に 陛下の官吏として職責を全ふせしむべし。一、社會保險制度の擴充、農業再編成、配給機構の整備民族繁榮對策等を徹底せしむべし。

翼賛議員銘鑑（なノ部）

二八五

翼賛議員銘鑑(なノ部)

二八六

長野縣第三區選出
正五位、會社重役

中原 謹 司

麻布區竹谷町二ノ九
電三田一三七〇
長野縣下伊那郡瀧江村



略歴 明治二十二年二月長野縣下伊那郡龍江村ニ生ル。早稲田大學文科哲學科ニ學フ。局地ニ於ケル赤化思想ノ進撃ト攻勢防禦ニ等ノ著書アリ。南信電氣會社支配人、陸軍歩兵中尉被任。又信濃時事新聞主筆、長野縣會議員、帝國在郷軍人會下伊那聯合分會副會長、鮮滿並支那方面ヲ視察ス、拓務省委員タリ、大東亞省委員被仰付、翼政會政調幹事、海軍、文部兼務委員タリ。○當選三回(1920 21)

政見 第一線に於ては一元統帥の下に、一糸亂れず米英勢力の撃滅を遂行して居て呉れるのに、銃後に於て依然として米英思想が残存して居るのでは、斷じて此の聖戰の完遂にはなりません。況や米英の政治、經濟、文化が永く浸潤せる東亞諸民族の指導等は思ひもよらぬ事でありませす。奇襲して體當りを辭せざる少年航空兵、半歳黙々として死の訓練にいそしみ、從容莞爾として眞珠灣に玉碎した海軍九軍神を想ふ時、銃後吾等の心事と行動が同一民族であるかを疑はれる、前線の勇士のみが神であらうか、斷じて然らず、彼等勇士の血も、吾等の血も同じくこれ櫻色の大和民族の血潮であり、活潑新鮮なる新國民組織も、清新強力なる議會も、結局は戰爭完遂の覺悟に徹した全國民の思想的總動員に俟つの外ありません。かくて今や銃前銃後相呼應して、大日本帝國の歴史的使命を完成すべき絶好の時機だと信じます。

東京府第六區選出
從五位辯護士

中村 梅 吉

豊島區高田本町二ノ一四
八〇 電牛込一二二三



略歴

明治三十四年三月東京市ニ生ル、法政大學法律科卒業。○辯護士試験合格、東京府會議員、東京市會議員、同參事會員ニ選ハル、都市計畫東京地方委員、同常務委員、農林大臣秘書官、大藏大臣秘書官ニ任セラル、大政翼賛會各階代表臨時中央協力會議員及調査會委員ヲ委囑セラル、財團法人中村學園ヲ創立理事長トナル、東京高等無線學校長、司法省委員ニ任セラル。翼政會政調幹事、陸軍、農林委員ニ指命サル。○當選三回(1920 21)

政見

國內體制強化ノ中核タル政界人乃至議會人ハ、自他共ニ嚴肅ニ反省シツツ、新タナル體制ノ樹立ニ邁進セネバナラヌ。從ツテ政界及議會ノ態勢ハ、批判カラ建設ヘ、對立カラ協力ヘ。消極的協力カラ積極的協力ヘ、勇敢ニ移行シテ行政ノ綜合化ヲ徹底セシメテ潑刺タル國民ノ精氣ヲ昂揚セシメ、國民ガ悉ク強ク逞シク、御奉公ノ道ニ精進シ得ル態勢ノ完成ニ努ムル。報國ノ一念ニ燃ヘテ、樂シク、安ラケク、ヲ肝要ナリト信ズ、

翼賛議員銘鑑(なノ部)

二八七

翼賛議員銘鑑（なノ部）

京都府第一區選出
正五位勳三等

中村 三之丞

麻布區筈町二 電赤坂三
二一三
京都市下京區陵小路通大
宮西入坊門七八二



略歴 明治二十七年京都市ニ生ル、早稻田大學卒業○金融界ニ入り、大正十一年獨逸留學、後商相秘書官、藏相秘書官、昭和七年ジュネーブ列國議會同盟會議ニ派遣サレ歐洲ヲ視察ス、衆議院滿洲國視察派遣、大藏參與官、中支北支視察派遣、國家總動員審議會、國民貯蓄獎勵委員會各委員、大政翼賛會參與、「日本戰時財政經濟」ノ著及ヒ「近代都市政治論」ノ譯書アリ大藏省委員被仰付、翼政會政調大藏委員ニ指命サル○當選四回（18 19 20 21）

政見 帝國議會は、憲法上の機關であつて、大政を翼賛し奉ることは申すまでもありません。伊藤公「帝國憲法義解」の指摘する如く、議會は、併せて行政監視の任を負担するのであります。大政翼賛會は、議會政治の補充機關として、新時代の要求に副はんとするものであります。今や、十九世紀式議會政治は、清算されなければなりません。

新體制下に於ける議會政治家の進むべき道は、入つては帝國議會に在りて協賛の任を完ふし、出ては大政翼賛會と結合して行動するにありと存じます。政府、議會、大政翼賛會の三者協力態勢の確立と、これによる強靱なる政治力を發揚して國內體制を整備することこそ、刻下の要務であらねばなりません。

新潟縣第四區選出
新聞社長

中村 又七郎

新潟縣西頸城郡糸魚川大字押上六一九ノ一電糸魚川一六九 麴町區麴町三ノ七東屋旅館 電九段四八四七



略歴

明治十七年一月生ル早稻田大學政經科卒業○新潟縣會議員、同參事會員、新潟日報社長、翼政會政調農林、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 戰爭の遂行と大東亞共榮圈の建設とは不可分であります。破壊しながら建設をつづけて行かうといふには、何はさておいても皇道文化、即ち皇道主義に基づく日本文化の確立を期さねばなりません。否寧ろこの際日本皇道文化を創造することが必要なであります。日本は一日も早く雜然として玉石同架の觀ある日本文化を整理整頓し、一切の歐米的なものを清算して、純日本的な尊い姿に還し、しかもそれを極度に高揚する必要があるのであります。そしてそれには手始めとして先づ日本の内政を革新することを要します。どんなふうにも内政を革新するかといふ問題は、ここでは簡単に申し上げられません、しかし要は立遅れてゐる觀があるといはれる官界の新體制を速かに實現し時局即應の道を開くことが第一であります。

大東亞戰爭で國民の意氣は旺盛であり、早稲田大學卒業○金融界はよろしくこれを盛立て、明朗潤達、新しい世界觀の下に、大東亞建設に協力せしめることを要します。

翼賛議員銘鑑（なノ部）

翼賛議員銘鑑(なノ部)

二九〇

千葉縣第三區選出
會社社長

中村庸一郎

世田ヶ谷區松原町一ノ一
二五 電松澤二一〇



略歴 明治二十九年五月千葉縣安房郡瀧田村上堀ニ生ル、專修大學卒業○櫻護謨、櫻金屬工業、青島地所建物、羽田調帯、大日本セロファン、ストロング製作所、國產工具各株式會社社長、日本ゴムホース統制株式會社、日建工業株式會社各取締役、翼賛會東京市協力會議員、世田ヶ谷區翼賛壯年團顧問、國防衛生協會同區支部副會長、東京鋼球軸承製造工業組合理事、日本東部ゴム工業組合理事、翼政會政調陸軍委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 議會刷新の目標は、議會をしてその本然の姿に立還らしめ、政府も議會も共に 天皇の政府 陛下の議會として、大政翼賛の本義に徹することとでなければなりません。かくて議會は、政府側により以上の純正公明なる輔弼道の實踐を求めると共に、自らも亦その翼賛の本義を反省し、その職能を行ふに際しては、よく國民の要望を綜合代表し飽くまで國家理論の立場から、政府の諸施策に對して、眞に建設的、育成的なる鞭撻と協力の實を擧げるやうに致さなければならぬと信じてゐるのであります。今や遠く、前線將兵の勞苦を偲び、その偉大なる戦果に限りなき感謝の念を捧げつつ「内なる戦」に於て、微力ではありますが、最善の努力を竭させてもらはうと固く決意してゐる次第であります。

沖繩縣選出
正五位辯護士

仲井間宗一

麹町區平河町二ノ六ノ八
電九段三九三〇



略歴 明治二十四年三月沖繩縣國頭郡名護町ニ生ル、日本大學法學部専門部ニ學フ○辯護士試験ニ合格、辯護士ヲ開業其業務ニ従事ス、那覇辯護士會々長、翼政會政調文部委員ニ指命サル○當選四回(17 19 20 21)

翼賛議員銘鑑(なノ部)

二九一

翼賛議員銘鑑（なノ部）

二九二

福島縣第二區選出
從七位農業

仲 西 三 良

福島縣西白河郡矢吹町
電糸魚川一六九
下谷區西町一五 玉川旅館
九段四八四七



略歴 明治二十三年三月福島縣岩瀨郡鏡石村ニ生ル、京都帝

國大學法律科卒業○東京地方裁判所豫備檢事、札幌區裁判所檢事ニ被補、後矢吹信用組合理事、同町農會長、西白河郡農會議員、縣農會代議員、縣選舉肅正委員、矢吹町長、西白河郡農會長、縣農會議員、株式會社矢吹銀行副頭取タリ、人事、借地借家、戰事民事調停各委員、内閣委員被仰付、翼政會政調司法、内務兼務委員ニ指命サル○當選三回（192021）

政見 報國の至誠を以て時難克服に協力邁進し誓つて興亞大業達成を期し 上御聖慮に答ひ奉らん

一、不動の國策を支持し斷乎之が遂行を期す

二、舊來の觀念を一擲し、一路戰時即應の議會機能發揮に努力す

三、總力戰完壁を期せんが爲めに實情に副ふ國內體制の整備を期す

を期す

ロ 中小商業の整備

ハ 銃後援護

ホ 人口増殖の厚生施設

戰時下最も急を要し其完全を希ふ觀點の主點は
イ 食糧政策 農村の安定
ニ 教育刷新ト其普及
謹而 皇軍將兵に對し感謝の意を表し其武運長久を祈る。尊き英靈に對し敬弔の意を表す

石川縣第一區選出
正三位勳一等

永 井 柳 太 郎

澁谷區千駄ヶ谷三ノ五〇
七 電青山五七五一



略歴 明治十四年四月金澤市ニ生ル、早稻田大學政治科卒業

後同大學ヨリ英、獨ニ留學ス、牛津大學、マンチエスターカレッジ卒業「殖民原論」其他數種ノ著書アリ○早稻田大學教授、雜誌「新日本」ノ主筆、北陸毎日新聞社長、外務參與官、外務政務次官、拓務大臣歴任、各種多數ノ委員被仰付、遞信大臣、日本發送電株式會社設立委員長被仰付、歐米ニ遊ヒ戰時並戰後ノ國情ヲ研究ス、大政翼賛會興亞局長、翼政會常任總務、政調内閣、外務兼務委員○當選八回（14 15 16 17 18 19 20 21）

政見 私の過去二十年間最も眞劍に、且最も熱心に、主張し奉りましたことは、肇國の大理想に基く國家内外の大改革であります、即ち内に於ては、一君萬民の大義に則つて政治、

經濟、教育、生活の全機構を再建し、農村都會を通じて、苟くも正道に勤勞する者は、一人たりとも、飢ゆることなく、苟く

も 陛下の赤子たる者は一人たりとも日本國民たるに必要な教育を受け得ざるものなき新日本を實現し、以て全國民をして其の全能力を發揮するを得せしめ、如何なる外國の壓迫にも對抗し得る國家を建設すると同時に外に於ては過去數世紀に亘つてアジアを侵略し、アジア民族を搾取して、其の富強を誇りつゝある帝國主義國家群を打倒し、新興アジア建設の大業を實現せざるべからずと云ふことであります。

翼賛議員銘鑑（なノ部）

二九三

翼賛議員銘鑑（なノ部）

二九四

鹿兒島縣第三區選出
從七位勳三等農業

永田良吉

蒲田區女塚四ノ一九五
電蒲田二一五〇
鹿兒島縣鹿屋市永野田一四二



略歴 明治十九年九月鹿兒島縣肝屬郡大始良村ニ生ル、中學卒業○陸軍砲兵中尉被任、大始良村會議員、同助役、同村長、同農會長、縣會議員、同參事會員、縣養蠶聯合會長、肝屬那養蠶聯合會長、骨粉肥料製造、製粉業、大隅嶺山ヲ經營、大隅鹿野町飛行場開設、帝國飛行協會評議員、數度歐米南洋ヲ視察ス、遞信省委員被仰付、翼政會政調海軍委員ニ指命サル○當選六回（16 17 18 19 20 21）

政見 一、生産力擴充と國民の政治力強化一、食糧政策と農山漁村の生活安定一、加工配給問題と中小商工業一、銃後援護と厚生施設一、教育の刷新とその普及等であります、武士が戰場で花と散ると同様議員は議政壇上の花と散ると同じ心で奉公せねばなりません。大東亞戦争の本質とその前途について一言すれば今日の時局において苟しくも政治に參與し國民の指導者たらんとするものは今次大東亞戦争の本質を正しく認識し徹底せる戦争觀を確立把握すべきであると思ひます。今次大東亞戦争は過去における戦争の如く國と國とが領土を争つて勢力を競ふと言ふが如き單純小規模なものにあらずして米英二大強國と之に寄生追隨する舊勢力を全面的に覆滅して世界に新しき秩序を建設すると言ふ崇高なる目的を持つものであります、従つて米英の武力と戦力を根底より破碎すると同時に彼等の思想を克的し世界に八紘一字の大理想を打樹ねばなりません。

廣島縣第二區選出
會社重役

永野護

濹谷區鉢山町四五 電濹
谷六九二



略歴 明治二十三年九月廣島縣ニ生ル、東京帝國大學獨法科卒業○故濹澤榮一氏に隨行シ渡米シテ實業界ニ入り、三興株式會社理事、廣島土地建物、大野鑛業、連壽鑛業各社長、日窒硫黃、朝鮮砂金、山叶商會、大宮瓦斯、立川瓦斯、上信鑛業、三盛鑛業、東洋金屬工業、函館船渠、伊豆興業、南武鐵道各重役大藏省委員被仰付、翼政會政調理事、行政事務簡素化特別委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 今や政黨の執權と政權争奪とは國體の本義に背戻し、皇謨翼賛の軌道に逸脱するものであることが朝野に反省せられ一切既成政黨は解消して翼賛政治會等の結成を見るに至つた。日本國家は曠古の大聖戰を遂行し敵米英を懾伏せしめるには尙長期戦争を避け難しとなし、一切の消費を嚴に規正し物資の配給を統制しつつ、國民も亦堅忍持久と臥薪嘗膽の熱意をもつて協力し、毫も倦怠するの色なく、一億一心の心をもつて増産に精進してゐるのである、是を要するに國是の恢弘は、肇國の淵源に味到して雄大なる經綸を行ひ、大義四隣に布く道義國家の眞姿を發揮するにある、日本精神の發揚 惟神の皇道宣揚をもつて世界人類の康寧と福祉とを圖るのが我が國是恢弘の眞諦である。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

廣島縣第三區選出
正五位農業

永山 忠則

神田區多町二ノ一 電話
田四一八一
廣島縣比婆郡數信村大字
板橋電庄原五三二四ノ乙



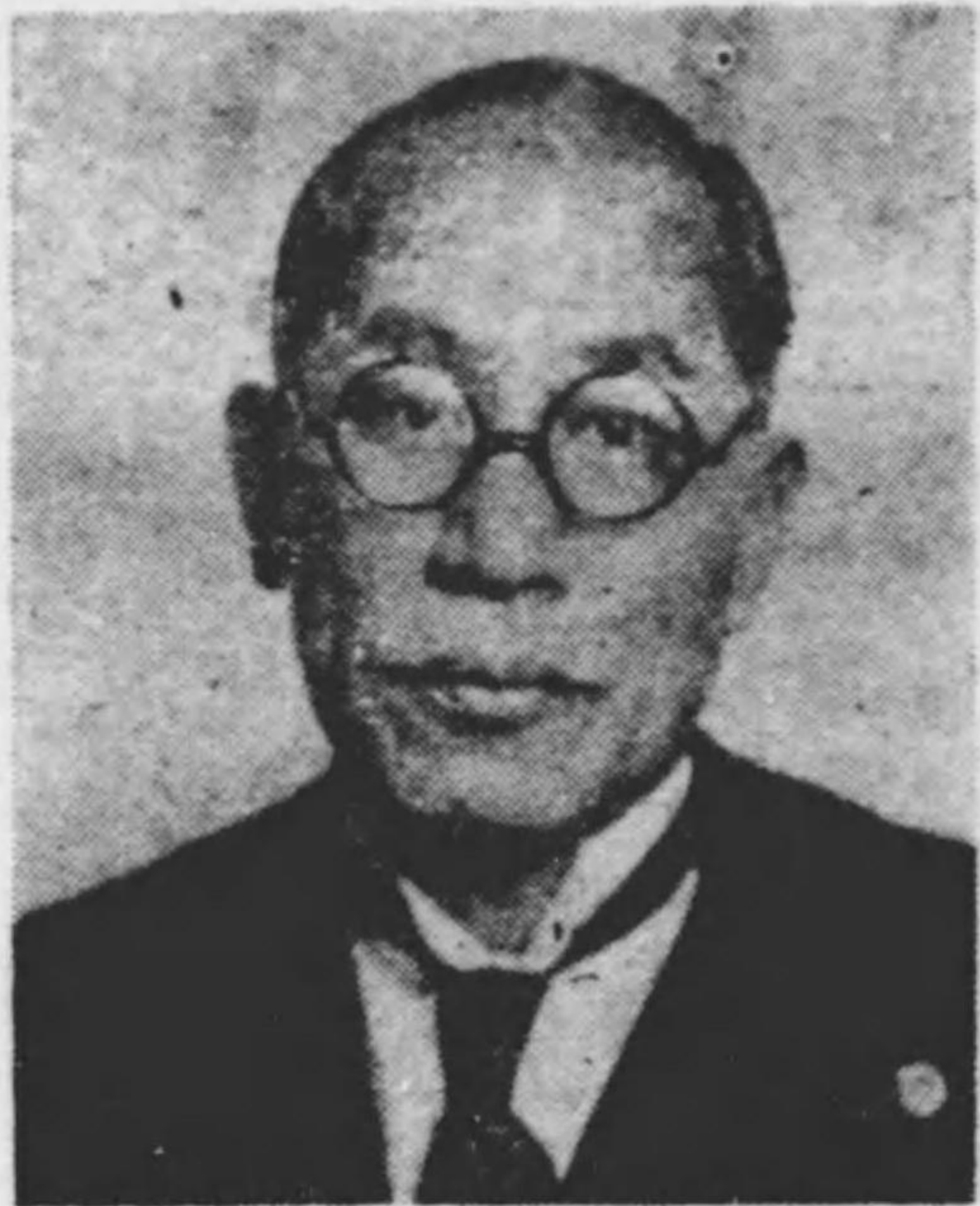
略歴 明治三十年十月廣島縣比婆郡數信村ニ生ル、中央大學豫科卒業○小學校訓導、廣島縣格致學院長、縣會議員、現ニ數信村長タリ、厚生參與官、大日本同志會、日本革新農村協議會、東亞建設同盟ニ參畫、大政翼賛會連絡部副部長、數信村農會長、同産業組合理事、紺綬褒章下賜サル、内閣情報局委員被仰付、翼政會事務局參與、政調幹事、厚生委員○當選三回(1920 21)

政見 國民は中央と地方との區別なく此の時局を正視して誤れる舊來の思想をすて、新たなる體制を確立し、國家悠久の生成化育に向つて、精進しなければならぬ、就中、中央における政治の革新こそは、此の新しき體制確立を促進の基軸をなすものであつて聖戰貫徹運動の垂範的責任も寧ろ中央政界に在りと言はねばならぬ、中央の政治が清新強力であるなればこの舉國的愛國心も十分に發動出來るのである。即ち政治は文化經濟産業を綜合調節して、國家最高の哲理を創造するのであつて實に國家最高の道德である故に政治は舊來の如く地方利益や職域の利益を目標とする團體個人主義的の鬭争は許されないのであつて國會議員たるものも地方代表や職能代表的存在より蟬脱して政治の本分に専念奉公するものでなくてはならぬ、従つて衆議院選舉法改正の重點は大選舉區別を採り小數專任制を採り選舉公營強化と進まねばならぬと思ふ。

三重縣第二區選出
辯護士

長井 源

淀橋區柏木一ノ七〇
電淀橋一七〇五
松阪市松阪殿町



略歴 明治二十七年八月三重縣飯南郡粥見町ニ生ル、明治大學法學部法律學科卒業○高等試驗司法科合格、辯護士ヲ開業シソノ業務ニ従事ス、松阪市會議員、三度三重縣會議員ニ選ハレ縣會副議長ニ舉ケラル、大政翼賛會三重縣支部顧問、翼政會政調幹事、遞信、文部兼務委員ニ指命サル○當選三回(1920 21)

政見 持たざる國日本が、支那事變以來五年よく戦時の財政に堪へ得たる根基は、我國民の質素にして、勤勉なる生活にある、米英なみの物質と享樂とを以てしたならば、我財政は一日にして潰ゆる。のみならず、聖にして難なるこの大建設事業の根底をなす犠牲的精神も、この質素と勤勉の生活が母胎である、縱令物資が多少豊かにならうとも、吾々はこの生活態度を持してこそ、如何なる長期戦にも堪へ得るのである、吾々は此の意味に於て、新生活運動を提唱昂揚するものである。

此際吾々が特に強調しなければならぬ事は、道義の國日本の自覺喚起である、大東亞戦争は道義の戦争である、道義を以てするに服せざるものがあらうか、各國間の體制も道義を中心とし、これを實踐する事にすべての政策を向けねばならぬ、世界指導の原理はこの外にない、私は、今斯く考へてゐるのである。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

翼賛議員銘鑑(なノ部)

新潟縣第一區選出
正八位農業

長 沼 權 一

新潟縣西蒲原郡道上村大字阿間五一三
麴町區九段坂下軍人會館
電九段四一〇一



心國家に御奉公申上げ戦時下の重要施策の遂行實現に努力渾身の勇氣を振起して必ず英米打倒の最後の勝利に向つて突進して行かねばなりません、國民の總力結集と活用とは聖業達成に重大なる役割を持つものでありませう。

二九八

略歴 明治二十年新潟縣ニ生ル、新潟中學卒業〇一年志願兵トナリ陸軍少尉ニ任セラル、在郷軍人會西蒲原郡聯合分會副長同分會長、軍人援護會新潟支部理事、西蒲原郡道上村長、新潟縣翼賛壯年團副團長、大政翼賛會新潟縣支部常務委員、陸海軍大臣ヨリ功勞者トシテ表彰サレ、司法功勞者トシテ司法大臣ヨリ表彰ヲ受ク、翼政會政調厚生、陸軍兼務委員ニ指命サル〇當選一回(21)

政見 大東亞戰爭の開始以來日本國民は米英國民が敗戦に苦しみつゝあるに際し陽春花鳥を樂しみ安居樂業して聖戰に參與し得ることは日本國民の幸福と光榮を感ずる次第であります。英米勢力を過少評價することは此際禁物であると思ひます。百千の試鍊を経た英國民は粘強力と豊富な資源と工業力を持つ米國とが悲鳴をあげるまでには尙相當の長期を要し彼等の反撃力も輕視する譯には行きませぬから日本國民たるものは一意專

東京府第二區選出
大日本興亞同盟職員

長 野 高 一

下谷區御徒町一ノ六一
電下谷三三二〇



略歴 明治二十六年三月愛媛縣越智郡清水村ニ生ル〇下谷區會議員、東京市會議員、同府會議員ニ選ハル、政治、經濟及社會事情調査ノ爲歐洲各國ヲ歴遊ス、「燃料國策論」「没落過程ノ小賣業」「港灣視察記」等數種ノ著書アリ、大日本興亞同盟主事、鐵道省委員被仰付、翼政會政調内務、商工兼務委員ニ指命サル〇當選三回(19 20 21)

政見 回顧すれば一昨年七月二十三日、私共民政黨所屬の同志四十數名が、政權新體制の確立と、翼賛議會建設の急務を提唱し黨を解消してその實現を計らんとしたるも、不幸總裁と意見を異にし、遂に涙を揮つて連袂脱黨するに至つたのであるが爾來今日迄總ゆる障害を排し、荆棘の途を切り抜いて初志の貫徹に挺身微力を致して参りましたが、茲に漸く私共の主張が容れられてこの大東亞戰爭の眞只中に意義ある翼賛選舉が行はれるに到りました事は私として轉た感慨に堪えざるものがあります。斯くして我國體の本義に徹し、然も強力なる政治指導力を有する翼賛議會の建設を見んか、次に殘されたる問題は官界新體制の確立之れであります。我國が振古未曾有の聖業を完遂するには、國民の意氣と政府の氣持がピッタリと合致するに非ざれば到底その効果は擧るものではない。政府一切の施設が十分國民に理解され、國民の心からなる協力に依つてのみ始めて其目的は達せられるのであります。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

二九九

翼賛議員銘鑑(なノ部)

福岡縣第三區選出
辯護士

橋 渡
麻布區永坂町一 電赤坂
四〇〇三



略歴 明治三十五年三月福岡縣三井郡國分村ニ生ル、辯護士
試験ニ合格、佛國リヨン大學ニ學フ〇ヘীগ國際聯盟協會軍備
縮少委員、英、獨、伊、露ヲ視察歸朝ス、佛國ソルボンヌ大學
ニ入ル、東京市ノ佛貨公債訴訟事件ニ活躍ス、支那事變解決ノ
爲北支ニ於テ政治、經濟工作ニ従事ス、大藏省委員被仰付、翼
政會事務局參與、政調連絡、内閣、外務兼務委員ニ指命サル、
○當選一回(21)

政見 私は今迄の議會人が餘りにも言ふべきことを言はず、
却つて言ふべからざることを言ひ有史以來未だ嘗てなき大國難
を前に、其の生命たる政治力を喪失してゐるさまが、我國に如
何に恐るべき結果をもたらすかを心痛するものであります。

私は東亞の政治的推進力たる日本の議會に失はれたる政治力
を取り返し行政執行者たる官僚を指導監督し以て政治と行政と
の融合統一を實現して大東亞建設の礎石たらしめんとするものであります。

即ち議員の職責は何でも政府に迎合することでもなく、是は
是とし、非は非として、正しく明るく大政に協力翼賛することであり
強く正しく代表する議會人たらしんとする者であります。

千葉縣第一區選出
公吏

成 島 勇

千葉縣東葛飾郡富勢村
神田區駿河臺一ノ一佐藤
生活館 電神田四〇六八



略歴 明治二十四年五月千葉縣東葛飾郡富勢村ニ生ル、東北
帝國大學農科大學卒業〇臺灣製糖株式會社社員、富勢村會議員、
千葉縣會議員、富勢村長、大日本消防協會千葉縣代議員、千葉
縣販賣購買利用組合特別議員タリ、千葉縣農會副會長、農林省
委員被仰付、翼政會政調幹事、農林、大東亞兼務委員ニ指命サ
ル〇當選二回(20 21)

政見 日本國土計畫の急速なる樹立を強調する。南方資源開
發の成否こそは實に帝國興廢の路で聖戰完遂の鍵又こゝにある
日本の地理的概念が一大飛躍を遂げた今日に於ては、何より
も先づ日本國土計畫の樹立が緊急を要する。而して戦力資源の
確保及軍需工業の立地問題は最も重大であるが、こゝに注目す
べきは、南方諸邦が何れも農業國であるために農業部門に對す
る影響の特に深刻なることである。

(一) 廣域經濟の一環たる立場に於て日本の農業はどうあら
ねばならないか(二) 指導國家としての日本の農業はどうあら
計畫に於ける農業再編成の重點であると信ずる。惟ふに大東亞戦争の新段階に於ける農林行政は、戦
時食糧の確保を初め農産物増強に關する諸施策に於て緊急を要するもの極めて多いのであるから私は
今後も全生命を此の部門に奉仕して敢闘する覺悟である。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

翼賛議員銘鑑(なノ部)

北海道第五區選出
辯護士

南 雲 正 朔

淀橋區諏訪町一八七
電牛込四五六七
鋼路市浦見町五ノ二
電浦見一〇五三



三〇二

略歴 明治三十六年一月群馬縣勢多郡横野村ニ生ル、中央大
學法學部卒業○高等試験司法科並行政科試験ニ合格、東京市ニ
於テ辯護士ヲ開業ス、後北海道ニ移住シ其業務ニ従事ス、商工
省委員被仰付、翼政會政調幹事、司法、商工兼務委員ニ指命サ
ル○當選三回(1921)

政見 近來切符制度施行等の爲め餘りに「物」に捉はれ過ぎ
て率いては危険思想の忍び寄ることなきやを怖れるのであるが
大東亞の盟主たる日本人として官民共精神的にゆとりある態度
であり度、特に青少年諸君は大國民的教養を積む必要あること
を痛感する。同時に教育方面に於ては科學の振興教育の機會均
等等が緊急である。

政治に經濟に生活に凡ゆる部面に亘る根本的態度として私は
獨善を排撃する。一億國民は全部 陛下の赤子である名譽ある
日本人であると言ふことを信じ合つてこそ、如何なる困難にも
打ち克つて國內體制を整備し大東亞を樂土となし世界の平和を招來することが出来る確信する。幸
にも前途に赫々たる希望を持つ我々はお互に獨善を排し、共に苦しみ共に楽しみ一億總進軍し度いも
のである。

鹿兒島縣第一區選出
農業

南 郷 武 夫

鹿兒島縣日置郡東市來町
伊作田七七九
京橋區横町二鍛冶橋ホテ
ル電京橋二六七五



略歴

明治十七年三月鹿兒島縣日置郡東市來町伊作田ニ生ル
早大中退。昭和六年以來鹿兒島縣會議員當選、東市來町長、大
政翼賛會鹿兒島縣支部常務タリ、翼政會政調内務、農林兼務委
員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 日本は世界の強國として誇れる英米兩國を始めとし
之に追従する國家群を相手として、乾坤一擲の聖戰に國運を賭
して戦つてゐるがこの戦域は支那、南洋諸群島、濠洲に及び海
洋は太平洋の兩大洋を制して遙かに米國西岸地域に戦慄の砲
火を浴せ、南はパナマより南米沿岸に對し北はカナダ沿岸、ア
ラスカ、アリユウシアンに對して強力なる壓力を加へてゐるの
である。此の實に有史以來何處にも見ることの出来なかつた大
事業である大東亞戰爭を完全なる勝利に歸せしむるは將兵と國
民が渾然と一體となつて更らに長期に亘る勇奮努力を忘れては
ならないのである、一億國民總進軍の心構へを以て戦争遂行の
ために邁進すべき非常時態にあるのであるから最近四、五年の間に國の内外の情勢は全く一變して來
たが勿論之等の變革は戦争目的達成の爲めのものに外ならない、一億國民は此の公道に従つて進軍を
開始したのであるから、聖戰最後の目的達成に身命を捧げねばならぬ。

翼賛議員銘鑑(なノ部)

三〇三

翼賛議員銘鑑（なノ部）

北海道第四區選出
從五位辯護士

南條 徳 男

麻布區筈町一五五 電赤
坂一九六〇



略歴 明治二十八年七月北海道室蘭市ニ生ル、東京帝國大學
獨法科卒業○辯護士ヲ開業ス、鐵道大臣秘書官、大政翼賛會北
海道支部參與、大東文化學院幹事長、財團法人東北藥學專門學
校理事、支那事變ニ際シ滿、支方面皇軍ヲ慰問ス、南洋委任統
治領ニ帝國海軍將兵ヲ慰問シ現地ヲ視察ス、膽振蓄産組合長、
鐵道省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調大東亞委員ニ指命
サル○當選二回（1921）

政見

一、萬邦無比の皇室の尊嚴を維持し國體の精華を發揚するを
以て凡て政策の根幹とす
一、義に於ては君臣、情に於ては父子、の關係たる一君萬民
の大家族制度の社會組織を益々強靱にして之が運用を適正
ならしむること、

一、國家社會主義、又は統制經濟主義の如き新體制の美名に隠れ惡平等觀の思想を流布する赤化思
想を徹底的に撲滅すること
一、政治、經濟、文化の全部面を通じて國家主義又は一體主義の指導原理に基きて國民生活の再編
成を實現し政府と表裏一體の關係に立ちて上意を下達し、下情を上通せしめ、軍官民一體、天業
を翼賛し奉る舉國協力體制の確立を促進以て健全なる大政翼賛の最高使命を達成せしむこと。

大阪府第四區選出
病院經營

西尾 末 廣

芝區南佐久間町一ノ五五
電芝三五八
大阪市住吉區墨江中一



略歴

明治二十四年香川縣香川郡女木島ニ生ル○大正三年勞
働運動ニ加入シテ以來昭和十六年マテ、實に三十年近ク労働運
動ニ盡瘁ス、二回ニ亘リ國際労働會議ニ出席シ、獨、伊、佛、
英、露、米各國ヲ視察ス、新生支那視察ノタメ衆議院ヨリ派遣
サル、北支ノ皇軍ヲ慰問ス、翼政會政調遞信、厚生兼務委員ニ
指命サル○當選五回（1718192021）

政見

- 一、御國の爲には血を流せ
- 二、仕事の爲めには汗を流せ
- 三、人の爲めには涙を流せ

これが私の根本的政策であります、即ち御國の爲めには血を
流せ、とは總力戰の今日、國民の總てが前線將兵と同じ氣構へ
にて、國家の爲めには一切を捧げて大東亞戰爭完遂に邁進する
ことであります。仕事の爲には汗を流せとは、現下我國の至上
命令たる高度國防國家完成の絶對條件たる、勤勞國家體制の確立を意味するものであります。即ち、
國民皆勞、労働尊重の精神の下に、全國民が前線將兵の心を心とし、その生活を生活として、銃後生
産力の擴充の爲めに、最善の努力を盡さなくてはなりません。人の爲には涙を流せ、とは官吏も政治
家も涙ある親心を以て最善を盡すべしと云ふのであります。

翼賛議員銘鑑（ニノ部）

翼賛議員銘鑑(にノ部)

三〇六

山形縣第一區選出
勳三等、新聞社長

西 方 利 馬

赤坂區臺町二四 電赤坂
四八八〇



は翼賛議會の補強的體制でなければならぬ従つて政府と翼賛會とは表裏一體關係に立つべきであり、唇齒輔車の關係に立つべきものである而して政府と表裏の關係にある翼賛會の職分は行政翼賛であり、議會と表裏の關係にある翼政會の職分は政治翼賛でなければならぬ、翼賛會と翼政會と二本建てにする以上は双方の分野をかくして明確にせなければならぬ。

山口縣第一區選出
著述業

西 川 貞 一

目黒區中根町一六一
電住原七〇七三
下關市大坪町向山
電下關二六九〇



略歴 明治三十五年二月廣島縣高田郡向原村ニ生ル○關門日

日新聞社入社社會部長、政治部長、編輯局長、關門日報社友トナル、農林省囑託、大政翼賛會議會局理事、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノタメ上海、臺灣へ派遣サル、「日本精神之展開と農村問題」一國體の本義と皇道財政ノ著アリ。大藏省委員被仰付翼政會政調理事ニ任命サル○當選三回(1924)

政見 日本の政治は廣く汎く臣民をして 陛下の御仁慈に浴せしむることなくてはならぬ世界人類悉く 陛下の赤子たることを自覺し忠良なる臣民となり全世界の山川草木悉く陛下に仕へまつるに到りてこそ、世界は眞に救はれるのである全人類が幸福になれるのであると私は確信してゐる國內においての外國模倣の悪い思想は漸次消えさりて日本精神に輝き國體の眞髓が現れて來つゝある、かくて國內はよくなり、目ざましく改善されつゝありこの勢ひは國內のみではなく世界に伸びつ

ゝあるのである、滿洲事變によつて滿洲國は生れ、滿洲國民が皇恩に感佩し、支那事變以來支那四億の民が、大東亞戰爭により東亞十億の民が徐々に目ざめつゝある、現在の世界戦は世界維新であり、世界が大きく纏まる前兆である全世界は皇國の道義を中心としてまとめ、八紘爲宇の大理想は具現されると信ずる次第である。

翼賛議員銘鑑(にノ部)

三〇七

翼賛議員鑑銘(にノ部)

山口縣第二區選出
正五位勳三等農業者

西村 茂生
芝區白金猿町七三 電高
輪三一三一



略歴 明治十八年二月山口縣玖珂郡岩國町ニ生ル、水産講習所養殖科卒業後動物學ヲ專攻ス。○水力電氣事業ヲ經營、岩國町會議員、玖珂郡會議員、縣會議員、同副議長、海軍參與官、陸軍政務次官、岩國市長、縣生産調査會委員、岩國消防組頭、縣消防常議員、翼政會政調陸軍、文部兼務委員ニ指命サル。○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 政治は現實に即應するものであるが一定の尺度がなくはならぬ、その尺度は此の大東亞戰爭に於て將兵諸士の生死一如の如き行動に依つて國民は明瞭に教訓を受けた。曰く

「天皇歸一」絕對觀、三魂全通が唯一の尺度で右の尺度を現行の日本の諸制度に當てて見ると獨り統帥系統の諸掟は皇國精神に則つた獨特のものであるが他の諸制度は悉く多少なりとも英米の毒素を吸つてゐるものである事深く認識せねばならぬ、英米の思想や諸法規を研究されたものは毒素を吸収してゐるがためか我々が感ずる様に今の諸制度を見て不愉快を感じないことを我々は遺憾に思ふ。大化の改新は從來の氏族政治を排し 天皇親政に還した又明治維新は徳川の武門政治を排撃して皇政復古したのである。此度の米英思想の排撃で始めて皇國中心の獨得文化が中心制度となるのであるから今回の大東亞戰爭こそ明治維新の完成の幕であると申してよい。

神奈川縣第二區選出
會社重役

野口 喜一

川崎市幸町一ノ二九三
電川崎三一〇六



略歴 明治二十八年四月川崎市ニ生ル、明治大學法科卒業。○川崎市學務委員、同市會議員、同參事會員、神奈川縣會議員、同參事會員ニ選ハル、都市計畫地方委員會委員ヲ命セラル、川崎乗合自動車株式會社監査役、直喜鐵工所、大東鐵工所、川崎食品市場各株式會社取締役タリ、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北滿ヘ派遣セラル、内閣企畫院委員被仰付、翼政會政調幹事、外務、商工兼務委員ニ指命サル。○當選二回(20 21)

政見 大東亞建設に即應する革新案件を披歴すれば次の如くである。

一、文教を刷新して日本精神を昂揚し日本的世界觀の闡明徹底を圖り、以て我國獨自の高度なる學術と文化とを創造すること。

二、青少年を國防的體制下に鍊成し、我が肇國以來の大精神を把握せしめ、以て氣宇宏大なる大日本國民を造り大東亞の指導者として遺憾なからしむること。

三、萬難を排して國土計畫の遂行を推進し東亞永遠の中心たる日本國土の修理育成に努むること、等であつて、皇國日本がいまや世界政治の主體たる現狀勢に鑑み、是非とも實現すべき方途なりと確く信じてをります。

翼賛議員鑑銘(のノ部)

翼賛議員鑑銘（のノ部）

三一〇

神奈川縣第二區選出
從五位新聞社長

野田 武夫

川崎市砂子二ノ五三
電川崎四七八〇



略歴 早稻田大學獨逸法學部卒業○東京朝日新聞社政治部記者、商工大臣秘書官、橫濱貿易新報社長、大政翼賛會神奈川縣支部參與、燃料國策研究會專務理事、大協石油株式會社專務取締役、商工省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調商工、陸軍兼務委員ニ指命サル○當選二回（1921）

政見 今や、如何なる國策も、一個人の創意を以つて生み出さるべきものではなく、國民全部が工夫を凝らすの秋であります。衆議院議員たる者、その工夫の中に優れたるを議會に於いて國策中へ具現するやう努力すべきは言ふまでもないところであります。

一つには、翼賛政治體制を議會に確立する事。二つに、大東亞戰爭完遂の爲國民總力の結集と、その活用に遺憾なきを期す事。三つには、大東亞共榮圈に新しき秩序を打ち建てるため國民の創意と工夫を採擇する事。四つには、斯くて官民一體の實を擧げ、自由主義、個人主義等の外來思想と行動を議會のみならず國內から一掃し、皇國精神を高揚し大政翼賛の誠を盡す事。これこそ、今度の總選舉によつて選ばれた「議員のつとめ」なりと確信致します。

愛知縣第三區選出
正八位勳六等功七級農業

野田 正昇

愛知縣丹羽郡大口村大字
大屋敷一三二
神田區錦町二丁目二荒旅
館 電神田一五六四



略歴 明治九年十二月愛知縣ニ生ル○陸軍少尉ニ被任、大政翼賛會愛知縣支部常務委員、愛知縣會議員、愛知縣町村會長、

翼政會政調内務、文部兼務委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 私等は東亞共榮圈の確立を期せねばならないと共に神國日本の大理想たる八紘を蔽ふて宇とすることにありするのであります。之を換言すれば世界人類の總てを救つてその處に安んぜしむることでありまして、その宏遠なる大理想を爲し遂げることは決して容易なる業ではないのであります。而してこの大事業完遂の爲には果敢の心、勇猛の力をかたむけ盡さなければなりませんと共に産業、經濟、思想、文化の建設工作は日を逐ふて益々積極的に進捗させなければなりません。舉國一致官民一體の絶對必要性は實に茲に存するのであります。上下一體官民一致の學國體制を整へて大政翼賛の大傘の下に馳せ參ずることとは正に今日に於ける國民の責務であると言ひましても決して過言ではないのであります。此際議會人の立場として、此未曾有の重大時局に臨み高度國防國家の建設に順應する國民總意の協力を圓滑に發揮する爲議會の權能を極力行使するに在りと信ずる次第であります。

翼賛議員鑑銘(のノ部)

宮崎縣選出

野村嘉久馬

宮崎縣西諸縣郡高原町大字西籠八三八
杉並區和泉九三一丸山莊丸山社助方



三二二

略歴 明治廿三年五月宮崎縣西諸縣郡高原町ニ生ル、東京農業大學卒業○屢々高原村會議員、同町長、宮崎縣會議員、同縣會議長、大政翼賛會縣支部常務委員、同協力會議員、同縣支部顧問、宮崎縣養蠶組合聯合會長、農林省委員被仰付、翼政會政調大東亞、内務兼務委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 一、高度國防國家の建設 戰は今後にあり、然かも皇國の隆替、東亞の興廢を此の一舉にかけた戰爭である、一億國民は鐵石の團結を以て勇躍躍起し國家の總力を結集して専ら聖戰遂行の完璧を期せねばならぬ、

一、肇國精神の發揚 大東亞共榮圈建設の雄渾なる構想と經綸は八紘一字の肇國の大精神に發する歴史的宏遠なる大使命に基くことを理解し認識して、國民は益々惟神の大道に遵ひ、臣道の實踐に勵み國體の精華を發揮して以て天業恢弘の大御心に副ひ奉らねばならぬ、

一、政治態勢の強化 特に翼賛議會を刷新強化することは、國論の統一、國民士氣の昂揚に不可缺の要件である、かくして議會を通じて戰時内閣に對する國民的支援の強化を圖り、政府、議會、國民の所謂三位一體たるの實を擧げねばならぬ。

愛媛縣第三區選出

野本吉兵衛

八幡濱市須賀之町一六三
電八幡濱三五六
日本橋區吳服橋二ノ一瀧
名館 電日本橋一一七七



略歴 明治三十一年八幡濱市ニ生ル、高千穂高等商業學校卒業○東京土地住宅會社社員、歸郷後方面、少年救護、人事調停各委員トシテ十數年間社會事業ニ従事功勞者トシテ中央、地方ヨリ十數回表彰サル、町會議員、市會議員、警防團副團長、八幡濱市助役、同市長、翼政會政調鐵道、商工兼務委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 日本が世界新秩序の指導的役割を果すためには内に政治經濟教育文化の國家國民生活全部門に亘る刷新を斷行し外に向つて強烈無比なる日本の戰爭意志を發現しなければならぬ大東亞戰爭を完遂し肇國の大理想をもつて世界を光被せしめんとする皇國の政治はもつともつと強力なものでなければならぬ政黨は一應解消してゐるけれども單なる舊勢力の離合集散では彌縫的妄動の譏りは免れないのであるから眞の翼賛政治、翼賛議會が確立されねばならぬ、翼賛議會成立に際し力強く實現を期すべき諸點は次の如きものである。

一、皇道精神のもと、一億國民の總力を結集して大東亞戰爭を完遂すること、一、南方大陸經營を誤らざること、一、國內經濟界の變革に依つて生ずる各種の事象特に中小商工業者の更生、農林經營の適正化を計ること、一、戰時生活運動の徹底と國民精神の振起作興、一、人口の地方分散運動、人口の増殖と體位の向上

翼賛議員鑑銘(のノ部)

三二三

翼賛議員銘鑑(のノ部)

三一四

滋賀縣選出
辯護士

信 正 義 雄

大津市材木町十九 電大
津三八
京橋區木挽町三丁目厚生
館 京橋八二八八



略歴 明治三十年八月大津市ニ生ル、關西大學卒業○辯護士
ヲ開業、大政翼賛會滋賀縣支部常務委員、同組織部長、縣會議
員、大津市會議員、同市會議長、翼政會政調司法、内閣兼務委
員ニ指命サル○當選一同(21)

政見 この新しい經濟體制の下において更らに強力に國民を
政治的に指導し、且つ動員する政治の態勢のみは、取り残され
て参つた憾みが存するのであります、加之、傳統、習慣、習俗
を異にした東亞十億の各民族をば、日本を盟主とする東亞共榮
圈建設のために協力せしめますやうに各民族を鍊成指導致さね
ばならないのであります、そのためには一日として我が國內
政治體制の立遅れを忽せに致すわけには参らないと存じます、
仍ち現下の時局において最も速かに實現せしめなければならぬ國
策は政治力の強化を圖ることでありと存じます、政治力の強化
とは申すまでもなく多年誤つて浸潤し來つた民主、自由、功利

主義的政治思想を一掃し、この誤れる思想を基調としたる諸弊害を萬般の事象(政治、經濟、教育、
文化、國民生活等)より変除し、
天皇の御親政を臣民が、まつろふ皇國独自の強力なる綜合的翼賛政治體制の確立に他ならないのであ
ります。

長崎縣第一區選出
辯護士

則 元 卯 太 郎

長崎市西山町一ノ三六八
神田區三崎町一ノ八
森田館 電神田三七四〇



略歴 明治二十四年十一月長崎市博多町ニ生ル、東京帝國大
學英法科卒業○辯護士ヲ開業ス、六度長崎市會議員、同縣會議
員ニ三回當選ス、長崎日々新聞社副社長、大政翼賛會長崎縣支
部顧問、司法省委員被仰付、翼政會政調司法委員ニ指命サル○
當選二回(20 21)

政見 政治力の結集 凡そ戦ひの要は敵の弱點を衝くにある
が故に、敵米英は物資の豊富なるを頼み軍備を急ぎつゝあり油
斷禁物であるが恐るべきは銃後の謀略であると思ふ、この謀略
を防ぐには完全なる銃後體制の整備が必要で國民政治力の結集
の要ある所以は此處にある、銃後體制の整備の條件として軍官
民の一致協力を始めとして、政治經濟文化等凡百の問題がある
が就中政治はその中心をなすものと考へる、従つて立法の府た
る帝國議會は最も重大なる職責を持つものであつて、議員たる
もの一死報國の赤誠を以て大政翼賛の理念に徹してその責任を
果さねばならぬと考へる、議會が形式的な自由主義的な思想に低迷してゐたのでは國民の政治力を結
集して産業經濟文化の再建の全きを期することは出来ない、不磨の大典たる帝國憲法に依據して國民
の政治力を結集する處は、帝國議會であつて大政翼賛運動の中核として翼賛議會は確立さるべきであ
る。

翼賛議員銘鑑 (はノ部)

三一六

長野縣第二區選出
從五位著述業

羽田武嗣郎

荏原區平塚町七ノ一〇六
三 電荏原七四二一



略歴 明治三十六年四月長野縣小縣郡和田村ニ生ル、東北帝國大學法文學部卒業○東京朝日新聞社政治部記者、鐵道大臣秘書官ニ任セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北滿ヘ派遣セラ、大政翼賛會副部長、鐵道省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調幹事、連絡、鐵道、文部兼務委員ニ指命サル、○當選二回(2021)

政見 議會が陛下の議會の構成員たるの光榮に感激し、清純なる同志結集による學國強力の政治力を形成し、堂々たる權威を保ち、烈々たる氣魄を以て、清新潑刺として、國家本位の本義に立ち、西洋流の議會運営の舊態を脱却し、政府が樹立したる政策を眞摯に検討し、皇國興隆の線に添ふ正しき民意を暢達し、一面に行政各部門を嚴正に監視し、行政運用の適正を期するならば、官界の空氣は刷新し、官民の摩擦はその跡を絶ち、一億一心、鐵血の團結となつて、大東亞戰爭の完遂は期し、渾身の努力を致し度いと考へてゐるのであります。

長崎縣第一區選出
辯護士

馬場元治

澁谷區幡ヶ谷笹塚町一二
〇二 電四谷七七三〇



略歴 明治三十五年十二月長崎縣南高來郡南申山村ニ生ル、東京帝國大學法科卒業○高等文官試驗合格、辯護士ヲ開業ス、長崎市會議員、縣會議員、大政翼賛會本部總務部副部長、選舉制度調査會委員、農林省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、内閣、商工兼務委員ニ指命サル○當選三回(192021)

一、國體觀念の徹底 政治家に課せられたる最高の使命は萬代不易の國體觀念を徹底し國民精神を昂揚するにある。一、軍備の飛躍的増強 大東亞全域を防衛するため陸海空軍の飛躍的増強の絶對的を痛感す。一、生産の擴充 近代戰は武器と莫大の物資を要するが故に萬難を排し生産擴充を強行すべし。一、消費の節約 南方物資を手に入れたるも消費の節約は尙強化されねばならぬ。一、國民生活の安定 農漁山村の生活安定と中小商工業者の轉廢業に遺憾なきを期したい。一、人口増加策 結婚獎勵、妊婦、幼兒の保護、體育獎勵、國民保健、衛生施設擴充により人口の量と質を良好すべし。一、南方對策 南方資源の開發には國家の統制下において個人の創意と勇猛心を重視すべし。一、海運政策の急施 南洋物資の輸送海洋作戰のため船舶の増建を強行すべし。一、教育制度 國體觀念、德育體育を重視し智育偏重を避け、教育者の待遇を改善し、科學技術教育を徹底すべし。一、遺家族の擁護 出征軍人の遺家族の擁護施設を強化し遺憾なきを期したい。

翼賛議員銘鑑 (はノ部)

三一七

翼賛議員銘鑑（はノ部）

石川縣第一區選出
正五位勳三等會社重役

著 本 太 吉

澁谷區長谷戸町四六
電話澁谷七一五



も、強靱且つ堅牢な組織となし、國民の士氣活力をいやが上にも昂揚しなければならぬと考へて居ります。殊に、議會は國民活力の沸る坩堝であり、大きな通風路であります。國民政治力の結集のためには議會の翼賛體制の確立が必須の要件であつて、議會に國民の意思が正しく反映して始めて、政治は強化され、外交、産業、經濟、文化等の諸部面を推進することができ、高度國防國家體制の整備がなし得られるのであります。

略歴 明治二十五年七月金澤市ニ生ル、日本大學政治科ニ學
フ○中外商業新報社政治部記者、同支那、倫敦各特派員、萬朝
報社常務取締役兼營業並ニ編輯局長、同社専務取締役兼主筆、
又囑託少年保護司、日本大學講師、財團法人輔成會囑託、少年
保護協會幹事、日本大學秘書タリ、度量衡制度調査會、國民貯
蓄獎勵委員會各委員、外務省委員被仰付、翼政會政調外務委員
ニ任命サル○當選五回（16 18 19 20 21）

政見 いまや、米英中心の世界史の機軸は、一轉して新たな
世界歴史が日本民族の手によつて綴られつつあります。今後前
途にいかなる困難があらうとも、私達はこの戦ひに勝ち抜き、
大東亞共榮圈確立の英雄的大事業を完遂しなければなりません。
私は議會に於ける職域において、政府を助け、長期持久、
必勝の國內體制を確立し、戦時國民生活のあらゆる部面に於て

福岡縣第四區選出
從五位勳三等功四級

橋 本 欣 五 郎

大森區馬込町東一ノ一四
三七 電大森七一三〇



略歴 明治二十五年二月門司市ニ生ル、陸軍大學卒業○參謀
本部員、土耳其在勤帝國大使館付武官、滿州事變ニ參劄シテ偉
勳ヲ樹ツ、陸軍大佐、政治結社大日本青年黨黨首、日支事變ニ
出征支那戰線ニ活躍シ功ニ依リ賜功四級金鷄勳章、大政翼賛會
常任總務、大日本青年黨ヲ改組改稱シテ大日本赤誠會長トナル
翼賛政治會總務、翼政會政調陸軍委員、議院協議會協議員ニ指
命サル○當選一回（21）

政見 六年前より高度國防國家建設のため實施して來た主張
は次の如き四大綱領であつた即ち一、 天皇歸一の國民組織に
依る政治を行ふ一、 經濟の總力を發揮するため經濟の根幹を統
制し金を價値の基準とせず、資源技術勞力を價値の根源として
一大増産を行ふ一、 民族各々其の處を得せしむる八紘一宇の外
政を行ふ四、 軍備の主體を無敵空軍とし飛行機を日本刀の如く
なし、内政については既成政黨の打破、日獨伊樞軸の強化、米英打倒を主張した更らに大東亞戰爭を
完遂するには、米英依存の舊套的勢力を政治の中樞から一掃すること、出征軍人遺家族を優遇し南方
進出を一部に壟斷せしめざることを、官僚の覺醒と其の新體制を確立すること、天皇歸一の國民組織を
作り政治力を國民の中に作ることを、國民に希望を與へ經濟統制の運用を圓滿にし適正なる中小商工業
者の整理統合を行ひ且つ食糧増産を基調とする農村對策を樹立する等の諸政策を實施すべきである。

翼賛議員銘鑑（はノ部）

翼賛議員銘鑑(はノ部)

東京府第一區選出
從六位

橋本祐幸

四谷區荒木町二七 電四
谷四九五八



三三〇

略歴 明治二十三年福岡市ニ生ル、東京帝國大學文學科社會學專攻○高等文官試験合格、向島、四谷警察署長、警視廳監察官、東京市會議員、日本萬國博覽會外國招請委員、東京市第二助役、同第一助役、大政翼賛會本部參與、同府市常務委員、翼政會政調内務委員ニ指命サル○當選二回(1921)

政見 世界の強豪米英を相手とし、國運を賭して闘ふ此の戰爭に完勝を期する爲には、舉國愈々必勝の信念を固むると同時に、國民の總力を戰爭目的完遂に集結せしむる事が必要であります。而して之れが對策としては、何を措いても高度國防國家を建設する事でありませぬ。其れには先づ政治、經濟、文化等の總ゆる體制を戰爭遂行に適應する様に刷新整備し、且つ其の強化を圖らねばなりません。就中焦眉の急は、國內政治の刷新と政治の強化であります。從來の自由主義的個人主義的色彩を政大政翼賛に透徹したる皇道政治の新理念を確立せねばなりません。而して此の議會と政府と渾然一體となりて協力する時、強力なる政治が発生するのであります。

東京府第二區選出
正三位勳一等(旭)辯護士

鳩山一郎

小石川區音羽町七ノ一〇
電牛込三二四



略歴 明治十六年一月東京市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○辯護士ヲ開業、東京市會議員、同副議長、同議長、内閣書記官長、臨時法制審議會、中央統計委員會、鐵道會議、對支文化事業調査會、文政審議會、米穀委員會等ノ委員及議員被仰付、再度文部大臣ニ被任、第三十三回列國議會同盟會議ニ參列ス、翼政會評議員、政調文部委員ニ指命サル○當選十回(12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 近時、立法府は行政府に押され勝であります。議員にして迎合を本分とするかの如き者さへあり、行政監視の尊い職能は捨て、省みられざるやの風があります。これは憂ふべき現象であります。人誰か過なからんや、政府も亦、人間が集つて組織して居る以上、たとへ戦争完遂の目標には一致して居つても、その方法手段に於て錯誤は有り勝ちであります。官僚政治の弊といはれるものは、間々これでありませぬ。議員に人誰か過なからんや、誤つて改むるに憚る勿れと言ひますから、自分の面子にとらはれるやうなことは避けねばならぬ筈であります。なかなかさうは行かない。そこで、議會の職能たる行政監視の任が用をなすのであります。そして、その責任今日はもつとも重大な時であります。もしも、議員が時局に便乗し徒らに迎合するを以て能事終れりとなすならば、むしろ笑ふべき事でもあります。

翼賛議員銘鑑(はノ部)

三三一

翼賛議員銘鑑 (はノ部)

東京府第五區選出
辯護士

花 村 四 郎

中野區朝日ヶ丘二三
電中野二〇五七



三三二

略歴 明治二十四年八月長野縣ニ生ル、日本大學法科卒業○
辯護士ヲ開業ス、日本辯護士協會理事、東京辯護士會副會長、萬
朝報專務取締役兼主筆、東京市會議員、同參事會員、同府會議
員、司法省、東京辯護士會、日本大學ヨリ司法制度、自治行政
調査研究ノ爲歐米ニ特派、「陪審法通義」「東京市政ト其ノ刷
新」等ノ著書アリ、大政翼賛會東京支部役員、翼政會政調司法
委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 今次の大東亞戰は一面武力戰であり、一面建設戰であ
ることは周知の事實であります。此の長期に涉らんとする二面
戰爭に於て最も緊要なることは、これを完遂すべき人的資源の
確保強化であります。我が大和民族が其精強なる血液を捧げて
東亞十億民衆の指導向上を敢行せんとする爲めには先づ我民族
の強化を第一義とすべきであります。茲に於て、國體精神の發
揚を計り、司法、行政の振作による國民生活の確保、教育行政の擴充による國民鍊成の徹底、科學技
能の發達、厚生行政の躍進による國民體位の向上、並びに人口の増加が更に一段の飛躍を見るべきで
あります。斯くして國民精神の作興、體質強化、技能鍊成が達成せられ、此處に初めて文化建設も亦
飛躍すると同時に高度國防國家の完成を期し得られ深刻なる入學難、結婚難、轉業問題、求人難等が
今日猶眼前に在るを顧れば、本政策が實に喫緊の關心事たることを確信するのであります。

鹿兒島縣第二區選出
正六位會社重役

濱 田 尙 友

目黒區向原町二五五
電荏原七五一八



略歴

明治四十二年六月鹿兒島縣始良郡國分町ニ生ル、早稲
田大學政治學科卒業○東京日日新聞記者、厚生大臣秘書官ニ任
セラル、有限會社興亞武道具製作所、同販賣會社重役、三州俱
樂部理事、早大鹿兒島縣人會長、文部省委員被仰付、翼政會政
調幹事、陸軍、外務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見

滿洲事變から支那事變に亘り内外幾多の國家的體驗を
通じて議會政治が國民の國防的、國家的意識から遊離背反する
事實を知り、國防政治體制確立の急務なる事とを痛感致しまし
た、殊に支那事變が大東亞戰爭に飛躍發展した今日これに應ず
る政治の國防化は切に急を要する問題であります、この數年來
議會の國防政治力は強化されたとは言へ尙完全ではないので議
會を更に完全なる國防性格のものたらしめねばなりません、換
言すれば議會から自由主義的論議の一切を拂拭し議會をして眞に大東亞戰完遂の國策を審議し翼賛す
るの府たらしめることとあります、今日如何なる國內問題と言へども直ちに東亞共榮圈の問題となる
のであります、占領地の資源を如何に開發して行くか、東亞の諸民族を如何にして御稜威の下に之の
堵に安んせしめるか、此等の問題の解決如何も如何に國防政治體制、翼賛政治が確立されるかと言ふ
こと、切離して考へることは不可能であらう。

翼賛議員銘鑑 (はノ部)

三三三

翼賛議員銘鑑（はノ部）

三重縣第二區選出
會社重役

濱地文平

宇治山田市大世古町
電山田一三三〇
麴町區永田町一ノ一九永
平俱樂部 銀座四四〇八



三二四

略歴 明治二十六年二月三重縣度會郡吉津村ニ生ル、歌集「つゆ草」ノ著書アリ○吉津村長、大湊町長トナル、又屢々三重縣會議員ニ選ハル、大政翼賛會三重縣支部顧問、農林省委員被仰付、翼政會政調幹事、大東亞、陸軍兼務委員ニ指命サル○當選二回（2021）

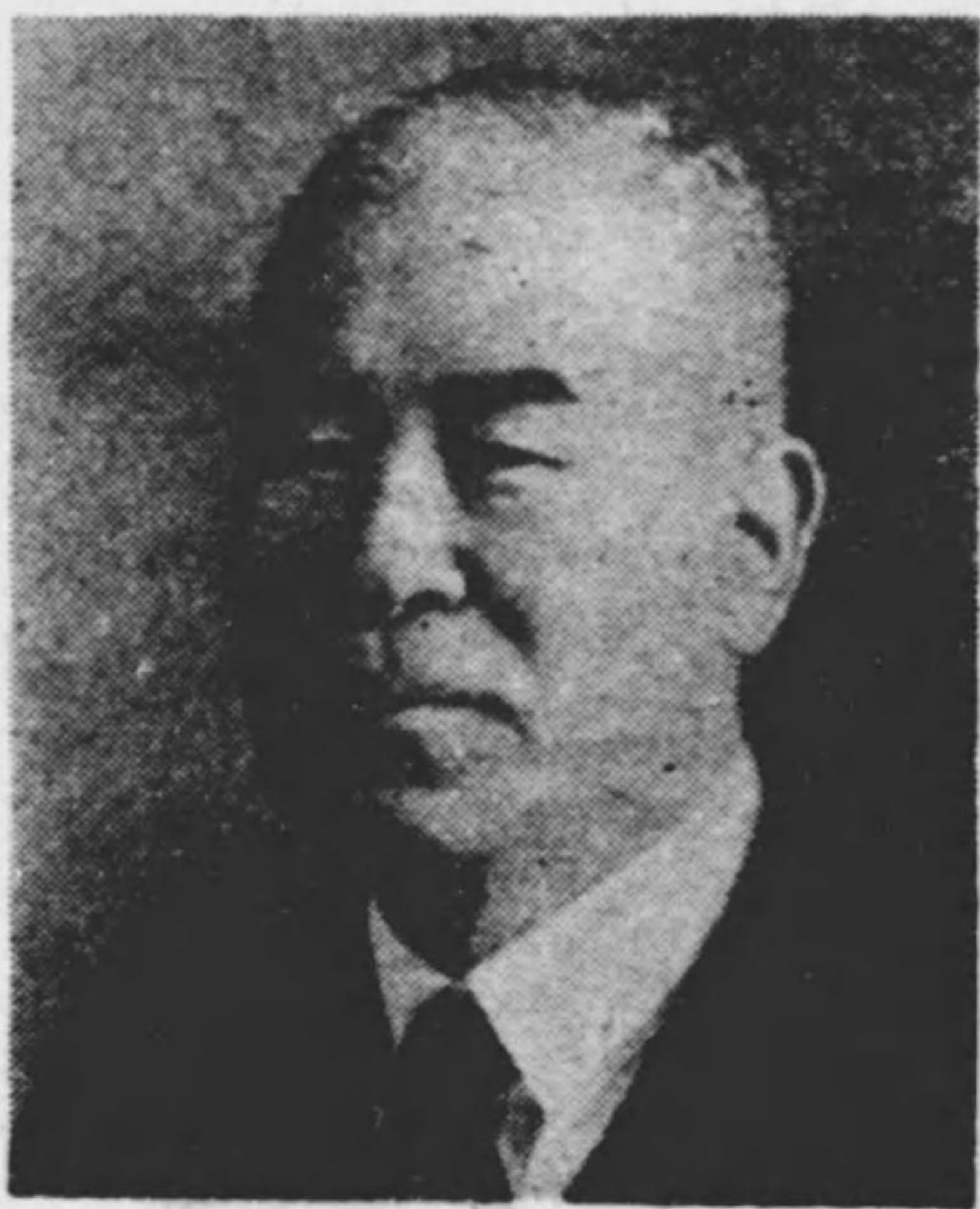
政見 今日、政治にたづさはる者として最も大切ことは、今度の大東亞戰爭に對し正しい見方と、はつきりした考をもつこととであります。思ふに、この大戰爭は過去に行はれた戰爭の如く、單に國と國とが領土を争ひ勢力を争ふと言ふが如きものではなく、米國英國などの勢力を根こそぎやつつけて、彼等のつくつた勝手な氣ままな強いものがちな世界をひつくりかへして新しい立派な世界をうちたてることとあります。

皇國の政治は上御一人を親として戴き奉り、下億兆臣悉く赤子として、眞に溫い政治の行はるる國柄であります。私は代議士として、よく社會のすみずみ迄も目を通し一人も其の所を得ざるものなきやう、充分にお世話することを念願としてゐます。重ねて申します。陛下の赤子たる國民が悉く楽しく安らげ、強くたくましく喜び勇んで御奉公出來ますやう渾身努力いたす考へであります。

兵庫縣第一區選出
正五位勳三等辯護士

濱野徹太郎

神戸市神戸區下山手通八
ノ一九 電元町一四六
赤坂區青山南町六ノ四五
松井方 青山一一五一



け思想戦をもつて對抗せんとしてゐる國民生活に安定を與へ緊張せる國民の意力によつて之を破らぬ。一、近時著るしく復雜擴大せる行政執行豫算運用に於ける官吏の心構へ。

翼賛議員銘鑑（はノ部）

三二五

略歴 明治十八年七月和歌山縣西牟婁郡田並村ニ生ル、小學校訓導、中央大學ニ學フ○辯護士試験ニ合格辯護士ヲ開業、神戸辯護士會長、司法參與官、日本軟式野球協會々長、選舉制度調査委員外各種委員ヲ被仰付、司法省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調司法、内務委員ニ指命○當選五回（1718192021）

政見 東亞の盟主たる日本はその實力をもつて廣大なる東亞全地域を防衛し以つて萬年安住の地域たらしめねばならぬ、そのためにはすべて高度國防國家體制の完整を第一議として國民の全精力を之に傾注せねばならぬ。一、優秀なる兵器、精強無比なる戦備の充實に備へて生産力を擴充せねばならぬ。一、戦時下最も必要なる食糧の確保と消費の規正を斷行すること。

一、國家興隆の基礎たる人口の増殖と厚生施設興亞教育の伸張
一、生産力の擴充と物質の重點的集中動員より招來する中小商工業者の轉失業に對するの親切なる對處。一、米英は武力に敗

翼賛議員銘鑑 (はノ部)

三二六

福岡縣第四區選出
辯護士

林 信 雄

小倉市紺屋町七ノ一九七
ノ一 電小倉四八八
荒川區南千住町林連方
電淺草八七七



略歴 明治三十二年福岡縣田川郡後藤寺町ニ生ル、明治大學卒業○辯護士試験合格、辯護士ヲ開業ス、福岡縣會議員、同縣參事會員、紀元二千六百年大祝典ニ御召ヲ辱ス、大政翼賛會協力會議員、縣知事ノ表彰ヲ受ク、小倉商工會議所、三井物産、常盤中學、勝山高女各顧問、北九州交通、愛國交通、泉鐵工所各社長、九州文化映畫協會理事長、縣旅客自動車事業組合理事長、大日本護國奉公聯盟々主、皇軍將兵慰安靜養所實行主幹、司法省委員被仰付、翼政會政調司法、大藏兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 一、現時各方面に亘り強力なる統制が行はれつつあるが各階層を通じて不安若しくは焦慮を與へざる心構にて事に當るべきである。一、統制經濟は過去の米英的な資本主義を是正するにあるが資本主義の長所は生かし短所を矯正し日本主義的資本主義たらしめねばならぬ。一、勞資問題も根本的に法規を改正し、雇傭關係的なる關係より一步を進め勞働者にも經營分配の決定について協議參加の機會を與ふべきである、一、農村生産品の價格が消費地たる都市で決定される分量がないこれは不合理の評を免れぬ。一、商品と言はず農村漁村の出荷と言はず適正價格の問題は重視すべきで之が解決しない限り特に物資の偏在を來し所謂「闇」は絶滅されぬ。

愛知縣第一區出
從四位勳三等會社重役

林 正 男

名古屋市昭和區櫻井町一
ノ五一 電瑞穂四一六
麴町區内幸町帝國ホテル
銀座三一五一



略歴 明治十三年六月佐賀縣ニ生ル、海軍機關學校卒業○軍艦吾妻乗艦日露戰役ニ從軍、果進シテ海軍少將ニ任セラル、此間各艦隊勤務、後雷ヶ浦海軍航空隊整備長兼教官、大同製鐵株式會社顧問、同本工業、高野精密工業、名古屋螺子製作所、中央發條、柴田鐵工所等顧問、太平洋製作所社長、大政翼賛會愛知縣支部參與、同組織部長翼政會政調海軍遞信兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 帝國は、米英其他を敵として戰を繼續しつつ、一面共榮圈内の諸國諸民族をして其生存將來を、よくよく保證してやらねばならぬ絶大なる責任と義務がある。是即ち肇國の理想であり、使命である。共榮圈内の諸國、諸民族安定に對し、夫れ夫れ政治、經濟、思想文化の廣大面に互り、日本の指導上の力を注がねばならぬ。之は、我等日本國民の大名譽であり、大特權であるが、同時に復た非常なる大難事業であることを、堅く固く覺悟を要する大問題である。我等大和民族は、此世界大轉換期に遭遇しつつある現在に於て、眞に己を空うし、深く深く内觀反省の徳を樹つることに努力し、以て肇國の神慮を究明體得し、舉國一層の忍苦と勇猛心を涵養し來り、以て大東亞戰爭の完遂を顯現し、以て皇謨を翼賛し、天壤無窮の皇運を扶翼し奉らんことを期せねばならぬのである。

翼賛議員銘鑑 (はノ部)

三二七

翼賛議員銘鑑（はノ部）

三二八

山口縣第一區選出
從七位勳六等(旭)會社重役
林 佳 介
下關市大字關後地村一〇
四一ノ一 電下關三二一
芝區琴平町一 朝陽館
芝三〇四四



に實行するのであります、百の文句は一つの實行に及びません、今日は超非常時でありますから、私共は 天皇陛下の赤子として各々の職分を全ふして奉公すべきであります。

略歴 明治三十三年七月下關市ニ生ル、東京帝國大學法學部卒業ス○陸軍歩兵中尉ニ任セラル大政翼賛會山口縣支部常務委員ヲ委囑サル、山口縣翼賛壯年團理事、同下關團長、同商工會議所副會頭、下關倉庫、山陽電氣、下關瓦斯、下關精密工業、百十銀行等各種會社ノ重役、支那事變ニ出征ス鐵道省委員被仰付翼政會政調商工、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 私は支那事變が始まると同時にお召を受けて出征し部隊旗手として杭州灣に敵前上陸し、苦闘數十日にして南京城に迫り軍旗を奉じて敵首都の入城式に参加すると言ふ武運に恵ぐされました、廣東城攻略戦にも参加して歸國致しました。

支那大陸三年の戦火の中から私は血と肉と魂とをもつて「千萬の軍なりとも言擧げず、取りて來ぬべき男の子とぞ思ふ」と言ふ先人の精神を學び取りました、今日の日本は不平や文句を並べたり、國策を非難すべき時ではありません、文句を言ふ前に實行するに及びません、今日は超非常時でありますから、私

兵庫縣第四區選出
正五位勳三等、辯護士

原 惣 兵 衛

大森區雪ヶ谷町六五
電荏原三九七七



略歴 明治二十四年兵庫縣赤穂郡上郡町ニ生ル、日本大學法律科卒業○東京市ニ辯護士開業、日本大學幹事兼學生監督、大正十年ヨリ同十二年迄獨逸ニ留學國家學研究ス、昭和九年スペインに於ける萬國議員會議參列、鐵道政務次官、昭和十六年衆議院南米視察團長、司法省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡鐵道委員ニ指命サル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 大東亞共榮圈の確立が半ば成つた今日、我が國は廣大なる地域に亘つて、豊富なる資源を有することになつたのである。この資源を獲得使用するには、我が國民は更に度量を大にして、八紘一宇の家族的國家觀及び世界觀に基き、大に經綸を行はなければならぬ。同時に、足もとを踏み固めて、今日直向してゐる困難を克服し世界永遠の平和を招來せねばならぬ、それには國民の一致協力あるのみ、例へば國內の經濟の整備強化の如きは、一つの經濟變革若しくは國民再組織で、結局日本が飛躍發展する爲の一つの道程に外ならぬ。國民生活を合理的に再編成して戦力を擴充強化する爲には、議會に於てこれらの革新を推進する國民政治力を結集すべきである。決して官僚だけの力では出來ない、軍官民が強固に協力して始めて具體化することが出来る。私が蹶起して議會に挺身奉公せんとする理由は一に茲に存するのである。

翼賛議員銘鑑（はノ部）

三二九

島根縣第一區選出
正五位勳三等(旭)辯護士

原 夫次郎

牛込區納戸町四〇 電牛
込三〇一〇



略歴 明治八年六月島根縣簸川郡檜山村ニ生ル、和佛法律學
校ニ學フ○廣島地方裁判所判事ニ被補、後東京地方裁判所檢事
ニ轉ス命ニヨリ渡歐シ五ヶ年間佛國「グループル」大學ニ學ヒ
巴里大學法科大學院ヲ卒業ス、佛國法學博士ノ學位ヲ受ク、東
京地方裁判所、東京控訴院各檢事、司法省參事官、三度司法大
臣秘書官、二度總理大臣秘書官、司法政務次官、コノ間警察講
習所、司獄官講習所大學講師、日佛協會評議員等、後辯護士ヲ
開業ス翼政會評議員、司法内務兼務委員ニ指命サル○當選八回
(14 15 16 17 18 19 20 21)

涵養に資するものたることを信じてゐる。

一、家族主義は日本における惟神の思想であり精神である、故に忠孝は臣民の大道であり、仁愛は君父の大徳である、この我が國固有の家族主義が外來の個人主義的思想に蹂躪されては國家社會は混亂するのである、大東亞戰を完遂すべきその途上にある我が國民は以上二つのことを深く心に銘記しておきたいものである。

鹿兒島縣第二區選出

原 口 純 允

四谷區本村町三三 電四
谷八〇〇七



略歴 明治三十一年二月鹿兒島縣伊佐郡菱刈町ニ生ル、東京帝國大學卒業後大陸ニ發展シ滿洲ニ在ルコト十七年、北支ニ四年合計二十一年ヲ大陸ヲ舞臺トシテ活躍ス、北支開發電業部次長タリ、大藏省委員被仰付、翼政會政調内閣委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 一、教育方面……A東亞民族に對する日本教育の普及徹底、B科學技術の振興、C實業教育の徹底的擴充(青年學校の改善も含む)二、經濟方面……大東亞共榮圈内の緻密なる綜合的計畫經濟の確立即重點主義に依る産業計畫の樹立。三、……東亞民族に對する指導原理の確立思想參謀本部の創設、特に第三の思想參謀本部の創設については昭和九年以來唱道して來た處であるが武力作戰に參謀本部の設けらる如く思想戰に備へるため思想參謀本部を設けることが絶対に必要である、これは總力戰において最も重大なる面は思想戰であるからである、あるが東亞共榮圈内の諸民族に對する思想戰の備へは果して如何になつてゐるのであらう。北支における中國共產黨や八路军の組織的な運動を見てゐると一刻も猶豫出來ぬと痛感する、科學的に組織的に諸民族を容易に指導し得る方法論的研究對策が最も緊急であると確信する次第だ。

翼賛議員銘鑑 (はノ部)

北海道第二區選出
正五位勳三等農業

坂東幸太郎

杉並區和田本町一〇五九
電中野七八五〇
旭川市六條通二丁目



三三三

- 第三 國民生活の確保
- 第五 北方圈諸問題の解決
- 第七 樞軸外交の強化

略歴 明治十四年四月香川縣大川郡相生村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業「旭川回顧談」「議會ノ内幕」ノ著書アリ○旭川區會議員、同學務委員、同商業會議所書記長、同市會議員同副議長、同議長ニ擧ケラル、小作調停、北海道拓殖計畫調査會各委員、旭川市青年聯盟團副理事長、旭川青年團長、旭川中央青年團名譽團長、嘗テ雜誌「旭川評論」ヲ發行ス翼政會政調鐵道、内務兼務委員ニ任命サル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

政見 第一の根本政治思想は、我國々體の本義の堅持と、純風美俗の維持であります故に美名を以てするも其結果に於て之れに反するものには斷然賛同しないものであります、斯る根本政治理念の下に於て、各種の政見を有する次第であります、之れを大別すれば次の通りであります。

- 第一 憲政の運用を圓滑にし、官民を通じ遵法精神の向上
- 第二 大東亞共榮圈の建設及高度國防の完成
- 第四 南方諸邦に對する適性政策
- 第六 經濟政策の再檢討
- 第八 英米派勢力の徹底的擊破

栃木縣第二區選出
從七位勳五等材木商

日下田武

栃木縣芳賀郡益子町大字
益子八九六 電益子一〇
本郷區駒込神明町四一〇
山忠三郎方 電駒込三八



して眞に聖戰完遂の國策を翼賛することであり、國內の國防國家體制確立に就いても今後は大東亞共榮圈全體の關係において考慮せねばならぬので、ここにも一方ならぬ工夫を要するは當然であり、併し諸種の工夫は一個人の創意を以つては、なし得ない。それには國民の全部が工夫をこらすべきであり、議員はその工夫の優れたるものを議會において國策中へ具現するやうに努力すべきである。

翼賛議員銘鑑 (ひノ部)

三三三

略歴 明治三十三年栃木縣芳賀郡益子町ニ生ル、早稻田大學政治經濟學部經濟科卒業○滿洲事變、支那事變ニ應召、主計中尉ニ被任、益子町長、大政翼賛會栃木縣支部常務委員翼政會政調商工委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 國民が滿洲事變、支那事變に亘り内外幾多の深刻なる國家的體驗を通じて議會政治は多々國民の國防的、國家的意識から遊離背反する事實を知り、國防的政治體制確立の急務なるを痛感しつゝあると信ずる、殊に聖戰は、これが完遂の必然的要求により、米英勢力絶滅の大東亞戰に飛躍發展した今日、これに應ずる政治の國防化は切に急を要する問題である。滿洲事變以來數々の困難の試鍊を経て、議會の國防政治力は強化されたとはいへ、尙完全ではない。従つて私は、議會を更に完全なる國防性格のものたらしめんと欲するのである。ここに議會の國防性格と申しますのは議會から自由主義的議論の悉くを掃除して眞に聖戰完遂の國策を翼賛することであり、國內の國防國家體制確立に就いても今後は大東亞共榮圈全體の關係において考慮せねばならぬので、ここにも一方ならぬ工夫を要するは當然であり、併し諸種の工夫は一個人の創意を以つては、なし得ない。それには國民の全部が工夫をこらすべきであり、議員はその工夫の優れたるものを議會において國策中へ具現するやうに努力すべきである。

廣島縣第二區選出
著述業

肥田琢司

麻布區宮村町四二 電赤
坂五九〇



略歴 明治二十二年二月廣島縣安藝郡海田市町ニ生ル、立志
上京シテ苦學ス〇千代田印刷社長、廣島毎夕新聞社長、自由評
論社長、東京商工會議所議員、吳英語學校顧問、東京アサノ兒
童劇學校顧問、日本鍼灸マツサーヂ師會總裁、液體燃料委員會
等各委員被仰付、支那事變ニ際シ北支那皇軍ヲ慰問ス、少壯時
代ヲ通シテ皇室中心主義ヲ奉シ左翼思想ノ撲滅ニ奮闘ス大政翼
賛會議會局審査部副部长、逓信省委員被仰付、翼政會政調大東
亞、陸軍兼務委員ニ指命サル〇當選四回(16 19 20 21)

政見 昭和十六年十二月八日午前十一時三十分米英に對し發
せられた宣戰の大詔を拜して國民ひとしく恐懼感激して一死聖
旨に應へ奉ることを決意したのであります、されば大詔が發せ
られまするや否や國論は歸決し御稜威の下、即日ハワイにて米
國太平洋艦隊を撃滅し、三日にしてマレー沖にて英國東洋艦隊
主力を撃沈したのであります、かくて米英の軍事的勢力を東亞より排除し、世界有史以來の未だ曾つ
て見ざる處の大戦果を擧げ、皇國は今や東亞における大黒様となり、又正義人道の守護に任ずる國家
として世界の王座につくに到つたのであります、大東亞戦争の第一線に、また銃後國民の上に益々身
をもつて古人の教訓を實踐すべきことは我等國民の義務であります。

愛知縣第二區選出
賣藥製造業

樋口善右衛門

淀橋區戸塚町三ノ一四六
電牛込三二七〇
愛知縣東春日井郡守山町



略歴 明治九年三月愛知縣東春日井郡守山町ニ生ル〇屢々守
山町會議員、愛知縣會議員ニ選ハル、支那事變ニ際シ皇軍慰問
ノ爲北支那へ派遣セラル翼政會政調農林委員ニ指命サル〇當選
二回(20 21)

政見 國家永遠の生命を養ふところ我國農業の世界に類ない
尊い本質と使命があるのであつて、日本の農業は御神勅を奉じ
て大君の爲に農業を營み、租先の靈にこたえ、子女を育て、き
たのであります。従つて農は國の基であるとして歴代の爲政者
も尊農を叫んで來たのであります、米英の外來思想が國內に
浸潤するに伴つて、農を輕蔑し農を厭ひ年々農家の減少を來し
國家將來の爲に憂慮すべき現象を來さんとしたのであります
が、今回の支那事變から大東亞戰と國家の總力をあげて戰ふに
及んで、農業の尊さ、有難さが國體明徴と共に再認識されるに
至つたことは慶びにたえません。農村からは戦争に必要な食糧
が生産されるのみならず、精兵が生れるのであつて兵農兩全の重要さが一層強調されるに至つたので
あり、此好機を逸せず國家も國民も肇國の精神に立ちかへつて大いに農業の振興を圖るべきであります。

翼賛議員銘鑑（ひノ部）

三三六

大阪府第一區選出
正五位勳三等辯護士

一 松 定 吉

四谷區仲町二ノ八 電四
谷七二二〇



略歴 明治八年大分縣西國東郡高田町ニ生ル、小學訓導トナ
リ明治法律學校ヲ卒業○判檢事登用試験ニ合格、司法官試補ニ
任セラル、累進シテ大審院檢事ニ補セラル辯護士ヲ開業ス、大
阪市會議員當選、巴里ニ開催ノ萬國議會同盟會議ニ日本議員團
長トシテ參列歐米各國ヲ視察ス、厚生政務次官、支那事變ニ際
シ皇軍ヲ慰問シ支那各地ヲ視察、翼政會政調司法、文部兼務委
員ニ指命サル○當選六回（16 17 18 19 20 21）

政見 政府に要望する五大政策（一）食糧問題の永久的解決
（二）轉失業者の徹底的救済（三）經濟統制のデコボコ整理
（四）封建的府縣プロック制の是正（五）時代に遅れし官界新
體制の確立

○興亞教育の大綱一、内外地教育機關の一元化二、在外邦人
子弟教育制度の樹立三、共榮圈住民教育制度の樹立四、共榮圈
留學生指導制度の樹立五、興亞教育鍊成所増設と興亞大學の設立六、教育者研究員の交流制度の研究
七、熱帯醫學研究所、民族研究機關の増設置八、共榮圈内における宗教政策の樹立九、興亞教育資金
制度の創設十、興亞教育審議會の組織以上の諸政策を實施するを要す。

神奈川縣第三區選出
正五位勳三等辯護士

平 川 松 太 郎

赤坂區青山南町三ノ五三
電青山二五〇〇
小田原市幸町一ノ一〇六



略歴 明治十年五月廣島縣雙三郡和田村ニ生ル、中央大學卒
業○辯護士試験ニ合格、辯護士ヲ開業ス、小田原商業學校長、
逓信大臣秘書官、逓信參與官ニ被任、政府貸付金處理、臨時電
力調査會、中央失業對策各委員會委員被仰付、樺太及亞港方面
ヲ視察ス、南洋視察議員團長トシテ同方面ヲ視察ス、翼政會評
議員、逓信委員ニ指命サル○當選七回（15 16 17 18 19 20 21）

政見 東亞共榮圈を建設する爲に、長期戰必勝の國內體制の
整備強化が要請せられる事は當然であります。其第一は高度國
防國家の完成であつて、政治も經濟も産業も教育も皆此の線に
沿つて革新されねばなりません。第二は翼賛政治體制を確立し
て内閣議會行政機構三位一體の下に上意を下達し下意を上達す
る、天業翼賛の政道を樹立すべきであります、第三は生産力擴
充政策の實行と相俟つて軍需茲に重要産業の統制を強化し、他
面個人の獨創性發揮に努めて資源の開發に、平和産業の振興に、資與すべきであり、第五に物價の調整と配給機構の整備改
善を行ふべきであり、第六には大東亞教育政策を樹立すべきであり、第五に物價の調整と配給機構の整備改
善が行はれなくてはなりません。斯くして國民各階層悉くが職域奉公、臣道實踐の實を擧げるならば
國運の發展期して俟つべきものある。

翼賛議員銘鑑（ひノ部）

三三七